



ATH-DSR9BT

取扱説明書
ワイヤレスヘッドホン

J
A

User Manual
Wireless Headphones

E
N

Manuel de l'utilisateur
Casque sans fil

F
R

Bedienungsanleitung
Kabellose Kopfhörer

D
E

Manuale dell'utente
Cuffie wireless

I
T

Manual de usuario
Auriculares inalámbricos

E
S

Manual do Usuário
Fones de Ouvido Sem Fio

P
T

Руководство пользователя
Беспроводные наушники

R
U

사용설명서
무선 헤드폰

K
O

用户手册
无线头戴式耳机

C
N

使用説明書
無線耳機

T
W

audio-technica

はじめに

お買い上げありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

安全上の注意

本製品は安全性に十分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

 危険	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。
 警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
 注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

本体について

警告

- **本製品を医療機器の近くで使用しない**
電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与える恐れがあります。医療機関の屋内では使用しないでください。
- **航空機内では航空会社の指示に従い適切に使用する**
電波が影響をおよぼし、誤作動による事故の原因となる恐れがあります。
- **自動ドアや火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない**
電波が影響をおよぼし、誤作動による事故の原因となる恐れがあります。
- **分解や改造はしない**
感電、故障や火災の原因になります。
- **強い衝撃を与えない**
感電、故障や火災の原因になります。
- **濡れた手で触れない**
感電やけがの原因になります。
- **異常（音、煙、臭いや発熱、損傷など）に気付いたら使用しない**
異常に気付いたらすぐに使用を中止して、お買い上げの販売店が当社サービスセンターに修理を依頼してください。
- **水をかけない**
感電、故障や火災の原因になります。
- **本製品に異物（燃えやすい物、金属、液体など）を入れない**
感電、故障や火災の原因になります。
- **布などで覆わない**
過熱による火災やけがの原因になります。
- **自動車、バイク、自転車など、乗り物の運転中は絶対に使用しない**
交通事故の原因となります。
- **周囲の音が聞こえないと危険な場所（踏切、駅のホーム、工事現場、車や自転車の通る道など）では使用しない**
事故の原因となります。

注意

- **大音量で耳を刺激しない**
耳をあまり刺激しない適度な音量でご使用ください。大音量で長時間聴くと聴力に悪影響を与えることがあります。
- **肌に異常を感じた場合は、使用しない**
すぐにご使用を中止してください。症状が回復しない場合は、医師の診断を受けてください。
- **ハウジングとアームの間に、指などを挟まない**
けがや事故の原因になります。

安全上の注意

充電式電池について

本製品は、充電式電池(リチウムポリマー電池)を内蔵しています。

⚠ 危険

- 電池の液が目に入ったときは目をこすらない
すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、医師の診察を受けてください。
- 電池の液が漏れたときは素手で液を触らない
・液が本製品の内部に残ると故障の原因になります。電池が液漏れを起こした場合は、当社サービスセンターまでご相談ください。
・万一、なめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で十分にうがいをし、医師の診察を受けてください。
・皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。皮膚に違和感がある場合は医師の診察を受けてください。
- 火の中に入れない、加熱、分解、改造しない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 釘を刺したりハンマーで叩いたり踏み付けたりしない
発熱、破損、発火の原因になります。
- 落下させたり強い衝撃を与えない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 水に濡らさない
発熱、破裂、発火の原因になります。
- 以下の場所で使用、放置、保管しない
■ 直射日光の当たる場所、高温多湿の場所 ■ 炎天下の車内
■ ストープなどの熱源の近く液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。
- 付属の USB 着脱コード以外で充電しない
故障や火災の原因になります。

⚠ 注意

- 機器を使用したあとは必ずスイッチを切る
液漏れの多くは、スイッチの切り忘れによる電池の消耗が原因です。

内蔵充電式電池の交換のしかた

本製品を充分に充電しても使用時間が短くなった場合は、内蔵充電式電池の寿命が考えられます。内蔵充電式電池の交換は、お客様ご自身で行わず、当社サービスセンターへご相談ください。

サービスセンター ☎ 0120-887-416
(携帯電話・PHS などのご利用は 03-6746-0212)

本製品を廃棄する場合 リサイクルのお願い



内蔵充電式電池はリサイクルできます。本製品を廃棄するにあたり、リサイクルにご協力いただける場合は本製品を下記宛先まで着払いにてお送りください。なお、電池を取り出したあとの本製品は返却いたしかねますので予めご了承ください。

送り先：〒915-0003
福井県越前市戸谷町 87-1
株式会社オーディオテクニカフクイ サービス課 宛
TEL：0778-25-6736

J
A

使用上の注意

- ご使用の際は接続機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 万一、接続機器のメモリーなどが消失しても、当社では一切責任を負いません。
- 交通機関や公共の場所では、他の人の迷惑にならないよう、音量にご注意ください。
- 接続する際は、必ず機器の音量を最小にしてください。
- 乾燥した場所では耳にビリビリと刺激を感じることがあります。これは人体や接続した機器に蓄積された静電気によるもので本製品の故障ではありません。
- 強い衝撃を与えないでください。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かないでください。また水がかからないようにしてください。
- 本製品は長い間使用すると、紫外線（特に直射日光）や摩擦により変色することがあります。
- 本製品に無理な力を加えた状態で放置しないでください。変形する恐れがあります。
- コードは必ず付属のコードをご使用ください。それ以外のコードは動作保証できません。
- 付属のコードを使用する際は、必ずプラグを持って抜き差ししてください。付属のコードを引っ張ると断線や事故の原因になります。
- 付属のコードを使用しないときは、必ず本製品からコードを外してください。
- 本製品を使用しないときは、付属しているケースやポーチなどに収納してください。
- 付属のコードを接続する際や接続した状態で、プラグ付近に力を加えると接続端子部分に負担がかかり、パソコン側およびプラグが破損する恐れがあります。
- 付属のコードの抜き差しは、必ずパソコンの電源を切ってから行ってください。パソコンの誤動作の原因になります。
- 本製品を接続中にパソコンが正常に動作しないなど、不具合が生じた場合は、パソコンの電源を切ってから、再度接続してください。その後、症状が改善しない場合は、当社サービスセンターへお問い合わせください。使用し続けると、接続しているパソコンが故障する恐れがあります。
- 本製品は、地上デジタル放送などの DRM（デジタル著作権管理）で保護された音声には対応しておりません。
- 本製品の機能にある受話は、携帯電話回線を使用した受話に限り有効です。それ以外（アプリなどを利用してパケット通信を介している電話）は、動作保証できません。
- 本製品の近くに電子機器や発信機（携帯電話など）があると本製品にノイズが入る場合があります。その場合は離して使用してください。
- テレビやラジオのアンテナ付近で使用すると、テレビやラジオにノイズが入る場合があります。その場合は離して使用してください。
- 内蔵充電式電池を保護するため、半年に 1 度は充電を行うようにしてください。放置しすぎると充電式電池の持続時間が短くなったり、充電しなくなったりする恐れがあります。
- タップコントロールの操作は 1 本の指で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもので操作すると、正しく動作しないだけでなく、タップコントロールが傷ついたり、破損の原因となる恐れがあります。
- 爪先でタップコントロールにタップ（タッチ）しないでください。爪が割れたりなどけがの原因となる恐れがあります。
- タップコントロールの操作で、タップを繰り返す時は、タップの度に指を指定位置から数ミリ程度離すようにしてください。十分に指定位置から指を離さないで、タップとして認識されない場合があります。
- タップしたときに動作しなかったり、意図しない動作をする場合は、タップしたときに他の指や手の一部、服の裾などが触れていないかをご確認ください。なお、手袋をしていたり、指先が乾燥している場合や、タップコントロールの表面が汚れていると、正しく動作しないことがあります。

Bluetooth製品について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から別の移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の電源をお切りください。そのうえで、当社お客様相談窓口にご連絡頂き、混信回避のための処置についてお問い合わせください。
3. その他、この機器から第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合やご不明な点がございましたら当社お客様相談窓口までお問い合わせください。

2.4FH1

この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。
変調方式として FH-SS 変調方式を採用し、干渉距離は 10m です。

本製品は日本の電波法の技術基準に適合しています。貼り付けられているラベルはその証明ラベルです。証明ラベルの貼り付けられた製品を総務省の許可なしに改造、または証明ラベルをはがして使用することはできません。これに違反すると法律により罰せられます。

ほかの機器との同時使用

Bluetooth搭載機器・無線LANを使用する機器・電子レンジなど、本製品と同一周波数帯（2.4GHz）の電波を使用する機器の影響によって音声途切れるなど電波干渉による障害が発生することがあります。同様に、本製品の電波がこれらの機器に影響を与える可能性もあるため、下記の点に注意してください。

- 本製品と同一周波数帯（2.4GHz）の電波を使用する機器を離して設置する。
- 病院内では使用しない。

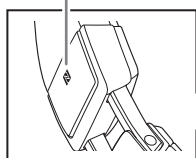
使用上の注意

本製品と接続する機器は、Bluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。Bluetooth標準規格に適合していても、特性や仕様によっては、本製品と接続できない場合や、操作方法や動作が異なる場合があります。

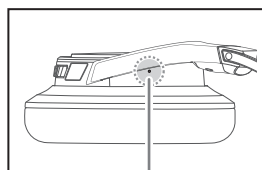
各部の名称と機能

Nマーク

NFCを使用するときに
タッチします。

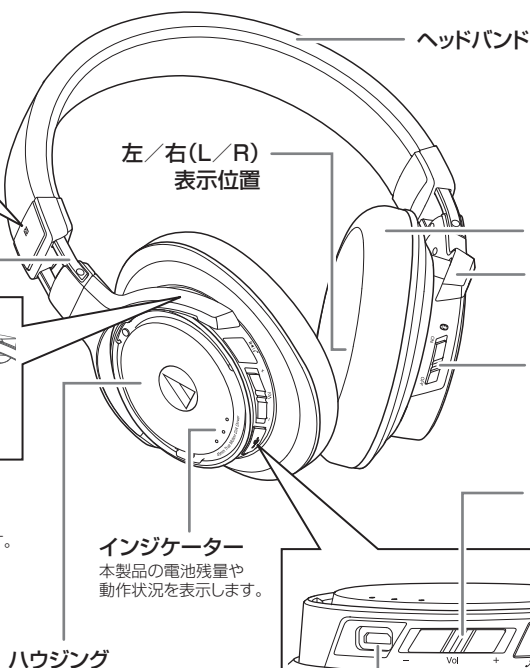


スライダー



リセットボタン

不具合が出た場合は
本製品をリセットします。



USBコネクタージャック*

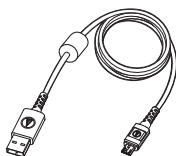
付属の専用USBコードを接続して
充電します。また、パソコンと接続時
には音楽や動画の音声を再生でき
ます。

*実際にはカバーが付いています。

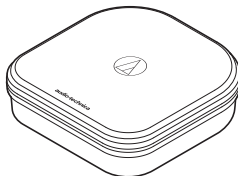
タップコントロール

音楽や動画などの再生、一時
停止や通話の操作などに使用
します。

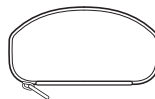
■ 付属品



• 専用USBコード(2.0m)



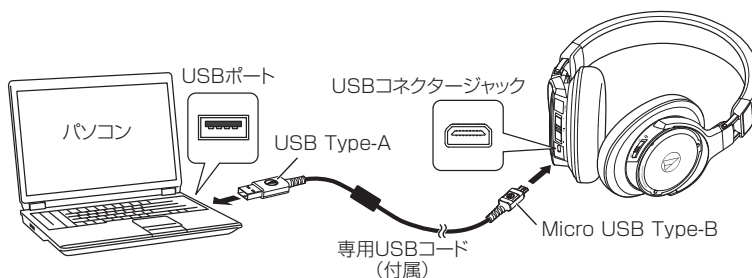
• ケース



• ポーチ(コード収納用)

充電のしかた

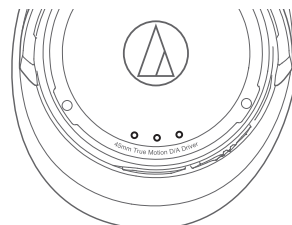
- ・初めてご使用になる場合は、充電を行ってください。
- ・充電式電池の残量が少なくなった場合、本製品のヘッドホンから「ビッピピッ」と音が鳴り、インジケーターが赤く点滅します。音が鳴った場合は、充電してください。
- ・満充電までに必要な充電時間は約4時間です。(使用条件により異なります)



1. 本製品のUSBコネクタージャックにあるカバーを外します。
2. 付属の専用USBコード(Micro USB Type-B側)を本製品のUSBコネクタージャックに接続します。
 - ・付属の専用USBコードは、本製品専用です。他製品に使用したときの動作保証はできません。
3. 付属の専用USBコード(USB Type-A側)をパソコンに接続して、充電を開始します。

充電時は、3つのインジケーターが下記のように点灯し、インジケーターの点灯は電池残量を表します。

電池(充電)状態	インジケーター ●赤色 ●白色 ●消灯		
	表示位置	表示パターン	
残量30%未満	● ● ●	点滅	
残量30～60%	● ● ●	真ん中のみ点滅	
残量60～100%	● ● ●	左のみ点滅	
充電完了	● ● ●	点灯	
充電異常	● ● ●	早い点滅	



- ・充電異常は電池の不具合によるものです。パソコンから取り外して、当社サービスセンターへお問い合わせください。
4. 充電完了後、専用USBコード(USB Type-A側)をパソコンから取り外します。
 5. 専用USBコード(Micro USB Type-B側)を本製品のUSBコネクタージャックから取り外し、カバーをしっかりと閉めます。

Bluetooth® 接続のしかた

ペアリングについて

本製品とBluetooth機器を接続する場合は、本製品とペアリング(登録)する必要があります。一度ペアリングをすれば、再びペアリングする必要はありません。

ただし、以下の場合は再度ペアリングが必要です。

- Bluetooth機器の接続履歴から削除された場合
- 本製品を修理に出した場合
- 9台以上のペアリングをした場合

(本製品は合計8台までペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあとに、新たな機器をペアリングすると、8台の中で接続した日時が最も古い機器のペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。)

J
A

ペアリングのしかた

- Bluetooth機器の取扱説明書も併せてお読みください。
- Bluetooth機器を本製品から1m以内に置いてペアリングを行ってください。
- 音を聴きながらペアリングを確認する場合は、本製品を装着してください。

1. 本製品の電源が切れている状態から電源スイッチをONにします。

- ペアリング(機器検索中)のインジケータ表示については「インジケータの表示について」(p.12)を参照してください。
- ペアリング開始を知らせる音が鳴ります。

2. 接続するBluetooth機器でペアリング操作を行い、本製品を検索します。

本製品を検索するとBluetooth機器に「ATH-DSR9BT」と表示されます。

- Bluetooth機器の使いかたは、機器の取扱説明書をお読みください。

3. 「ATH-DSR9BT」を選択し、接続する機器に登録します。

- 機器によっては、パスキーを要求される場合があります。その場合は、「0000」を入力してください。パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードと呼ばれる場合があります。
- 音が鳴るとペアリングが正常に行われ、ペアリングが完了します。



Bluetooth接続のしかた

NFC 機能を使用したペアリングについて

NFCとは、携帯電話やICタグなど、さまざまな機器間で近距離無線通信を行うための技術です。指定の場所に「タッチするだけ」で、簡単にデータ通信が可能となります。NFC機能を使用すると、本製品ではBluetooth機器とのペアリングができます。

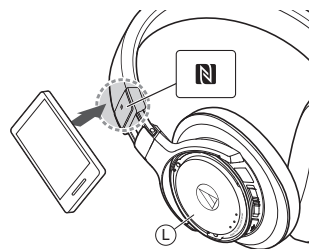
対応する機器 : NFC対応Bluetooth機器

対応するOS : Android OS

NFC対応Bluetooth機器とペアリングする

音を聴きながらペアリングを確認する場合は、本製品を装着してください。

1. ご使用のNFC対応Bluetooth機器のNFC機能を有効にします。
 - ご使用のNFC対応Bluetooth機器の取扱説明書もお読みください。
2. 本製品の電源が切れている状態から電源スイッチをONにします。
3. 本製品のNマークの上部箇所(右図を参照)を目印にNFC対応Bluetooth機器をタッチし、NFC対応Bluetooth機器側で接続を完了します。
 - NFC対応Bluetooth機器側のタッチする位置や接続の完了方法については、ご使用のNFC対応Bluetooth機器の取扱説明書をお読みください。
 - 音が鳴るとペアリングが正常に行われ、ペアリングが完了します。



接続を解除する

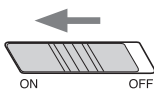
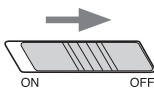
接続を解除するには、もう一度NFC対応Bluetooth機器を本製品にタッチします。

使いかた

本製品は、Bluetooth接続を行い音楽再生や着信を受けることができます。用途に合わせてご使用ください。
また、Bluetooth機器のアプリケーションなどの動作は保証できませんので、あらかじめご了承ください。

電源 ON / OFF

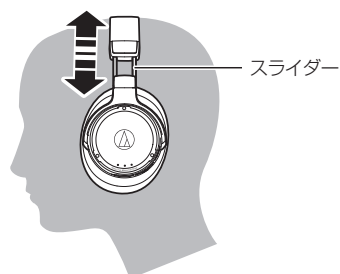
電源スイッチをON/OFFに動かします。

電源	電源スイッチ操作	インジケーター ● 赤色 ○ 白色 ● 消灯		
		表示位置	電池(充電)状態	表示パターン
ON*		  	電池残量が少ない	5秒おきに点滅
		  	残量30%未満	3秒点灯してから、ペアリングのインジケータ表示に切り替わります。
		  	残量30～60%	
		  	残量60～100%	
OFF*		  	3つのインジケータが点滅しながら左から右へ消灯します。	

* 本製品を装着している場合は、オン・オフが切り替わることを知らせる音が鳴ります。

装着のしかた

本製品の“L(左)”の表示側を左耳に、“R(右)”の表示側を右耳に装着し、イヤパッドが耳全体を覆うようにスライダーを上下にスライドさせ、ヘッドバンドを調整します。



使いかた

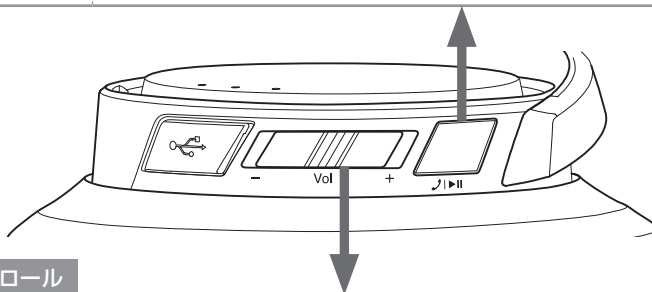
音楽を聴く

- 初めて接続をする場合は、本製品と接続する機器をBluetoothでペアリングを行うか、またはNFCでペアリングを行ってください。一度ペアリングを行った場合は、本製品の電源をONにして、Bluetooth機器のBluetooth接続をONにしてください。
- 接続したBluetooth機器の取扱説明書に従って、音楽を再生してください。

本製品では下記の操作ができます。

タップコントロール

タップ（タッチする）	音楽や動画などの再生、一時停止をします。*1
ダブルタップ（2回短押し）	電池残量を表示します。インジケータ表示は電源スイッチON時と同様です。（p.8）
ロングタップ（長押し） （約4秒）	接続機器によっては、音声認識機能（iOS機器に搭載しているSiriなど）が起動します。



ボリュームコントロール

	短くスライドさせる	音量が1段階大きくなります。*2
	長くスライドさせる（約2秒）	次の曲に送ります。*1
	短くスライドさせる	音量が1段階小さくなります。*2
	長くスライドさせる（約2秒）	前の曲に戻ります。*1

*1 一部のスマートフォンでは、音楽や動画の再生、一時停止、曲の送り／戻しなどの操作ができない場合があります。

*2 ボリュームコントロールをスライドするたびに音が鳴ります。音量が最大／最小になると低い音が鳴ります。

- 接続機器によっては、本製品と接続機器の音量調整がうまく連動しない場合があります。

使いかた

対応コーデックについて

本製品は、Qualcomm® aptX™ HD audio(以降aptX HD)/Qualcomm® aptX™ audio(以降aptX)/AAC/SBCコーデックに対応しています。ペアリングの際、接続するBluetooth機器により自動的にaptX HD/aptX/AAC/SBCコーデックのいずれかが選択されます。

再生コーデックごとにインジケータ表示も変化します。

再生コーデック	インジケータ ○白色 ●青色 ●紫色 ○消灯			
	表示位置		表示パターン	
aptX HD	●	●	●	3秒おきに点滅
aptX	●	●	○	
AAC	●	○	○	
SBC	○	○	○	

aptX HD再生時、環境によって音切れが起こる場合は、aptX HD非対応モードに切り換えることによって接続するコーデックが切り換わり、音切れを解消できる場合があります。接続されるコーデック(aptX、AAC、SBC)は接続機器によって異なります。

- **aptX HD非対応モードに切り換えるには**
 1. 電源OFFの状態で、ボリュームコントロールを「-」側にスライドしたまま、電源スイッチをON側にスライドする。
 2. 電源をONにする、またはタップコントロールをダブルタップすることで電池残量を表示する。
 - 右のインジケータが青色になっていることを確認してください。
- **通常(aptX HD対応)モードに戻す(切り換える)には**
 1. 電源OFFの状態で、ボリュームコントロールを「+」側にスライドしたまま、電源スイッチをON側にスライドする。
 2. 電源をONにする、またはタップコントロールをダブルタップすることで電池残量を表示する。
 - 右のインジケータが白色になっていること(通常のインジケータ表示)を確認してください。

使いかた

通話する

- Bluetooth機器に電話機能が搭載されている場合、本製品を使用して通話ができます。
- Bluetooth機器が着信すると、本製品から着信音が鳴ります。
- 音楽再生中に着信があった場合は、音楽が一時停止します。通話が終了すると、音楽再生が再開します。^{*1}

状況	動作	操作
着信時	タップコントロールをタップ	電話を受けます。
	タップコントロールをロングタップ(約2秒)	着信を拒否します。
通話中	タップコントロールをダブルタップ(2回短押し)	通話を終了します。
	タップコントロールをロングタップ(約2秒)	ロングタップ(約2秒)するたびに、Bluetooth接続している携帯電話での通話⇔本製品での通話に切り換わります。 ^{*2}
	ボリュームコントロールをスライド	通話音量(+/-)を変更します。

^{*1} 接続しているBluetooth機器によっては音楽再生が再開しない場合があります。

^{*2} 「ピッ」と音が鳴ったらタップコントロールから指を離してください。

- 一部のスマートフォンでは、上記通話時の操作ができない場合があります。

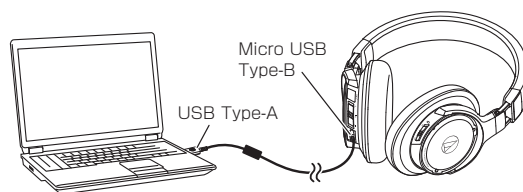
オートパワーオフ機能

本製品は、電源がONの状態、5分間機器と接続しない状態が続くと自動的にOFFになります。

USB接続で再生する

本製品はパソコンと接続すると、充電と同時にプレーヤーソフトにて96kHz/24bitまでの音源を再生できます。

- パソコンの取扱説明書も併せてお読みください。
- パソコンのハードウェア、ソフトウェアの構成によっては、テクニカルデータの「パソコン接続時の仕様」(p.15)に該当しているパソコンであっても、動作しない場合があります。



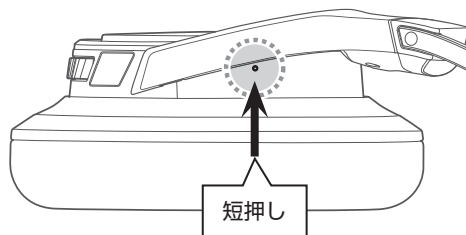
1. 本製品のUSBコネクタージャックに専用USBコード(Micro USB Type-B側)を接続します。
2. 専用USBコード(USB Type-A側)をパソコンのUSBポートへ接続します。
3. パソコンの電源を入れます。
4. パソコン上で使用設定を行います。
 - 接続したパソコンのOSに合わせて別紙の「セットアップマニュアル(パソコンの設定)」を参照し、パソコンの設定を行ってください。
5. 「装着のしかた」(p.8)を参照し、本製品を装着します。
6. 接続しているパソコンのプレーヤーソフトを再生します。
 - 本製品、パソコンまたはプレーヤーソフトの音量設定で好みの音量に調整してご使用ください。
 - パソコン接続時に本製品の電源スイッチおよびタップコントロールの操作はご使用できません。
 - パソコン接続時にヘッドセットとしてのご利用はできません。

使いかた

リセット機能

本製品が動作しないなど、不具合が生じた場合は本製品のリセットスイッチを短押しすることで症状が改善します。改善しない場合は、お手数ですが当社サービスセンターまでお問い合わせください。リセットしても、ペアリング設定や音量などは初期化されません。

- ・硬すぎる金属、先端が尖ったものを使用したり、強く押しすぎないでください。故障の原因になります。



J
A

インジケータ表示について

本製品のインジケータの点滅・点灯表示により、下記の動作状態を表しています。なお、USB接続時の電池(充電)状態を表すインジケータ表示は「充電のしかた」(p.5)を、対応コーデックごとのインジケータ表示は「音楽を聴く」の「対応コーデックについて」(p.10)を参照してください。

動作状態	インジケータ 〇 白色 ● 青色 ○ 消灯	
	表示位置	表示パターン
ペアリング(機器検索中)	○ ○ ○	右から左へ順番に点灯→すべて消灯→左から右へ順番に点灯→すべて消灯、を繰り返す。
接続待ち	○ ○ ○	3秒おきに点滅
接続中	○ ○ ○	右から左へ順番に点灯→3秒間すべて消灯→左から右へ順番に点灯→3秒間すべて消灯、を繰り返す。
着信中	● ○ ○	点滅
通話中	● ○ ○	3秒おきに点滅

お手入れのしかた

長くご使用いただくために各部のお手入れをお願いいたします。お手入れの際は、アルコール、シンナーなど溶剤類は使用しないでください。

- 本体は乾いた布で汚れを拭いてください。
- コードが汗などで汚れた場合は、使用後すぐに乾いた布で拭いてください。汚れたまま使用すると、コードが劣化して固くなり、故障の原因になります。
- コードのUSB端子が汚れた場合は、乾いた布で拭いてください。USB端子が汚れたまま使用すると、音とびや雑音が入る場合があります。
- イヤパッド、ヘッドバンドの汚れは乾いた布で拭いてください。イヤパッド、ヘッドバンドに汗または水が付着すると色落ちする場合があります。その際は乾いた布で拭き取り、陰干しすることをおすすめします。

- 長い間で使用にならない場合は、高温多湿を避け、風通しの良い場所に保管してください。
- イヤパッドは消耗品です。保存や使用により劣化しますので、お早めに交換してください。イヤパッドの交換や、そのほか修理については当社サービスセンターへお問い合わせください。

故障かな?と思ったら

問題	解決方法
電源が入らない。	・ 本製品を充電してください。
ペアリングができない	・ <i>Bluetooth</i>機器の通信方式がVer.2.1+EDR以上であることをご確認ください。 ・ 本製品と<i>Bluetooth</i>機器の距離を1m以内に近づけてください。 ・ <i>Bluetooth</i>機器のプロファイルを設定してください。設定方法は、<i>Bluetooth</i>機器の取扱説明書をお読みください。
音が出ない／音が小さい	・ 本製品と<i>Bluetooth</i>機器の電源を入れてください。 ・ 本製品と<i>Bluetooth</i>機器の音量を大きくしてください。 ・ HFP／HSP接続の場合は、A2DP接続に切り換えてください。 ・ 本製品と<i>Bluetooth</i>機器の間に障害物を無くし、距離を近づけてください。 ・ <i>Bluetooth</i>機器の音声出力先を<i>Bluetooth</i>接続に切り換えてください。
USB接続時に音が出ない／音が小さい	・ パソコンの音声出力が正しく設定されていることをご確認ください。 ・ 本製品、パソコンまたはプレーヤーソフトの音量を大きくしてください。
音が割れる／ノイズが出る／音が途切れる	・ 本製品と<i>Bluetooth</i>機器の音量を小さくしてください。 ・ 本製品から電子レンジ、無線LANなどの機器を離してください。 ・ 本製品からテレビ、ラジオやチューナー内蔵機器を離してください。これらの機器に影響を与える場合があります。 ・ <i>Bluetooth</i>機器のイコライザー設定をオフにしてください。 ・ 本製品と<i>Bluetooth</i>機器の間に障害物を無くし、距離を近づけてください。
aptX接続時に音が途切れる	・ <i>Bluetooth</i>機器の設定でaptXコーデックをオフにして接続してください。
相手の声が聞こえない／相手の声が小さい	・ 本製品と<i>Bluetooth</i>機器の電源を入れてください。 ・ 本製品と<i>Bluetooth</i>機器の音量を大きくしてください。 ・ A2DP接続の場合は、HFP／HSP接続に切り換えてください。 ・ <i>Bluetooth</i>機器の音声出力先を<i>Bluetooth</i>接続に切り換えてください。
NFCでペアリングができない	・ ご使用の機器がNFC対応<i>Bluetooth</i>機器かどうかご確認ください。 ・ ご使用のNFC対応<i>Bluetooth</i>機器のNFC機能を有効にしてください。 ・ NFC対応<i>Bluetooth</i>機器の正しい位置に本製品をタッチしてください。 ・ ご使用のNFC対応<i>Bluetooth</i>機器によっては、ワンタッチで本製品を接続するのに十分なNFC感度がない場合があります。その場合は、ご使用のNFC対応<i>Bluetooth</i>機器の取扱説明書をお読みください。 ・ ご使用のNFC対応<i>Bluetooth</i>機器によっては、NFCの通信に時間がかかる場合があります。接続が完了するまで、本製品とNFC対応<i>Bluetooth</i>機器をタッチし続けてください。 ・ NFCの接続を正常に行うために、NFC対応<i>Bluetooth</i>機器をケースから取り外してください。
タップコントロールが正しく動作しない	・ 爪の部分でタップしていないか、タップした指先が極端に乾燥していないかをご確認のうえ、正しく操作してください。
本製品の充電ができない	・ 付属の専用USBコードを確実に接続して充電してください。

- ・ *Bluetooth*機器の操作に関しては、機器により操作が違うため、お持ちの*Bluetooth*機器の取扱説明書をお読みください。
- ・ 不具合が解消されない場合は、本製品をリセットしてください。リセットは「使いかた」の「リセット機能」(p.12)を参照してください。

テクニカルデータ

ヘッドホン部

型式	密閉ダイナミック型
ドライバー	φ45mm
出力音圧レベル	97dB/mW
再生周波数帯域	5～45,000 Hz
インピーダンス	38Ω
入力端子	Micro USB Type-B

マイクロホン部

型式	エレクトレットコンデンサー型
指向性	全指向性
感度	-44dB(1V/Pa, at 1kHz)
周波数帯域	50～4,000Hz

Bluetooth接続時の仕様

通信方式	Bluetooth標準規格Ver.4.2準拠
出力	Bluetooth標準規格PowerClass2
最大通信距離	見通しの良い状態で10m以内
使用周波数帯域	2.4GHz帯(2.402GHz～2.480GHz)
変調方式	FHSS
対応Bluetoothプロファイル	A2DP, AVRCP, HFP, HSP
対応コーデック	Qualcomm® aptX™ HD audio, Qualcomm® aptX™ audio, AAC, SBC
対応コンテンツ保護	SCMS-T方式
対応サンプリング周波数	44.1kHz, 48kHz
対応ビット数	16bit, 24bit*
伝送帯域	20～20,000 Hz
	*aptX HD再生時の場合

パソコン接続時の仕様(動作環境)

パソコン	USB2.0に対応するUSBポートを標準装備
CPU	Intel Core2 CPU2.2GHz以上またはIntel同等のAMD CPU
RAM	32bit OS 2GB以上、64bit OS 4GB以上
対応OS	Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、Windows 10、 Mac OS X El Capitan(10.11) ・最新の情報は、製品ホームページをご確認ください。
対応サンプリング周波数	44.1kHz、48kHz、96kHz
対応ビット数	16bit、24bit
周波数特性	5～45,000Hz(24bit/96kHz再生時)

テクニカルデータ

その他

電源	DC3.7V リチウムポリマー電池(内蔵式)
充電時間	約4時間*
使用可能時間	連続通信(音楽再生時)：約15時間* 連続待ち受け：最大約1,000時間*
質量	約315g
使用温度範囲	5℃～40℃
付属品	・ 専用USBコード(2.0m、USB Type-A / Micro USB Type-B) ・ ケース ・ ポーチ(コード収納用)
交換品	・ イヤパッド HP-DSR9BT ・ コード ATH-DSR9BT/ATH-DSR7BT専用USBコード(2.0m)

* 使用条件により異なります。

改良などのため予告なく変更することがあります。

- ・ Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の所有であり、株式会社オーディオテクニカは、ライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。
- ・ “AAC” ロゴはドルビーラボラトリーズの商標です。
- ・ Qualcommは、米国およびその他の国で登録されているQualcomm Incorporatedの商標であり、許可を得て使用しています。
aptXは米国およびその他の国で登録されているQualcomm Technologies International, Ltd.の商標であり、許可を得て使用しています。
- ・ Nマークは、USAおよびその他の国における、NFC Forum, Inc.の商標または登録商標です。
- ・ Android™はGoogle Inc.の商標です。
- ・ iOSは、米国およびその他の国におけるCisco社の商標または登録商標です。
- ・ Siriは、Apple Inc.の商標です。

J
A

適合機種について

Bluetooth対応携帯電話の適合リストについては、当社ホームページまたはお客様相談窓口でご案内しています。

PCサイト
(お客様相談窓口)

www.audio-technica.co.jp/atj/support/

モバイルサイト

www.audio-technica.co.jp/i/

・ 右のQRコードからアクセスできます。



本製品は、各国の電波法の適合または認証を取得している国でのみ使用できます。
販売国以外では使用できません。

お問い合わせ

アフターサービスについて

本製品をご家庭用として、取扱説明や接続・注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間・規定により無料修理をさせていただきます。修理ができない製品の場合は、交換させていただきます。お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

お問い合わせ先（電話受付／平日 9:00～17:30）

製品の仕様・使いかたや修理・部品のご相談は、お買い上げのお店または当社窓口およびホームページのサポートまでお願いします。

- お客様相談窓口（製品の仕様・使いかた） ☎ 0120-773-417
(携帯電話・PHS などのご利用は 03-6746-0211)
FAX: 042-739-9120 Eメール: support@audio-technica.co.jp
- サービスセンター（修理・部品） ☎ 0120-887-416
(携帯電話・PHS などのご利用は 03-6746-0212)
FAX: 042-739-9120 Eメール: servicecenter@audio-technica.co.jp
- ホームページ（サポート） www.audio-technica.co.jp/atj/support/

Memo

J
A

Introduction

Thank you for purchasing this Audio-Technica product.
Before using the product, read through this user manual to ensure that you will use the product correctly.
Please keep this manual for future reference.

Safety precautions

Cautions for the product

- Do not use the product near medical equipment. Radio waves may affect cardiac pacemakers and medical electronic equipment. Do not use the product inside medical facilities.
- When using the product in aircraft, follow airline instructions.
- Do not use the product near automatic control devices such as automatic doors and fire alarms. Radio waves may affect electronic equipment and cause accidents due to malfunction.
- Do not disassemble, modify or attempt to repair the product to avoid electric shock, malfunction or fire.
- Do not subject the product to strong impact to avoid electric shock, malfunction or fire.
- Do not handle the product with wet hands to avoid electric shock or injury.
- Disconnect the product from a device if the product begins to malfunction, producing smoke, odor, heat, unwanted noise or showing other signs of damage. In such a case, contact your local Audio-Technica dealer.
- Do not allow the product to get wet to avoid electric shock or malfunction.
- Do not put foreign matter such as combustible materials, metal, or liquid in the product.
- Do not cover the product with a cloth to avoid fire or injury by overheating.
- Follow applicable laws regarding mobile phone and headphone use if using headphones while driving.
- Do not use the product in places where the inability to hear ambient sound presents a serious risk (such as at railroad crossings, train stations, and construction sites).
- To prevent damage to your hearing, do not raise the volume too high. Listening to loud sound for an extended period may cause temporary or permanent hearing loss.
- Discontinue use if skin irritation results from direct contact with the product.
- Be careful to avoid pinching yourself between the housing and the arm of product.

Cautions for rechargeable battery

The product is equipped with a rechargeable battery (lithium polymer battery).

- If battery fluid gets into eyes, do not rub them. Rinse thoroughly with clean water such as tap water and consult a doctor immediately.
- If battery fluid leaks, do not touch fluid with bare hands. If fluid remains inside the product, it may cause malfunction. If battery fluid leaks, contact your local Audio-Technica dealer.
 - If fluid gets in your mouth, gargle thoroughly with clean water such as tap water and consult a doctor immediately.
 - If your skin or clothing comes in contact with fluid, immediately wash the affected skin or clothing with water. If you experience skin irritation, consult a doctor.
- Never heat, disassemble or modify the battery, nor dispose of it in a fire to avoid leakage, generation of heat or explosion.
- Do not attempt to pierce with a nail, hit with a hammer or step on the battery to avoid generation of heat, damage or ignition.
- Do not drop the product or subject it to strong impact to avoid leakage, generation of heat or explosion.
- Do not get the battery wet to avoid generation of heat, explosion or ignition.
- Do not use, leave or store the battery in the following places:
 - Area exposed to direct sunlight or high temperatures and humidity
 - Inside of a car under the blazing sun
 - Near heat sources such as heat registersThere is a risk of leakage, generation of heat, explosion, and decreased performance.
- Charge only with the included USB cable to avoid malfunction or fire.
- After using the device, be sure to switch it off. Leakage often occurs due to battery drain that results from a failure to switch off device.
- The internal rechargeable battery of this product cannot be replaced by the user. The battery may have reached the end of its service life if the usage time becomes significantly shorter even after the battery has been fully charged. If this is the case, the battery needs to be repaired. Contact your local Audio-Technica dealer for repair details.
- When the product is disposed of, the built-in rechargeable battery needs to be discarded properly. Contact your local Audio-Technica dealer to learn how to properly dispose of the battery.

Safety precaution

For customers in the USA

FCC Notice

Warning

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Caution

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

RF Exposure Statement

This transmitter must not be co-located or operated in conjunction with any other antenna or transmitter used in other systems. This device complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment and meets the FCC radio frequency (RF) Exposure Guidelines. This equipment has very low levels of RF energy that is deemed to comply without testing of specific absorption rate (SAR).

For customers in Canada

IC statement

CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)

This device complies with INDUSTRY CANADA R.S.S. 247. Operation is subject to the following conditions: (1) This device may not cause harmful interference and (2) this device must accept any interference received, including interference which may cause undesired operation.

Under Industry Canada regulations, this radio transmitter may only operate using an antenna of a type and maximum (or lesser) gain approved for the transmitter by Industry Canada. To reduce potential radio interference to other users, the antenna type and its gain should be so chosen that the equivalent isotropically radiated power (e.i.r.p.) is not more than that necessary for successful communication.

This device complies with RSS-102 radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment.

E
N

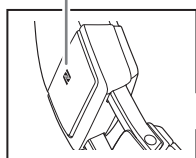
Notes on use

- Be sure to read the connected device's user manual before use.
- Audio-Technica will not be liable in any way for any loss of data in the unlikely event that such losses should occur while using the product.
- On public transportation or in other public places, keep the volume low so as not to disturb other people.
- Minimize the volume on your device before connecting the product.
- When using the product in a dry environment, you may feel a tingling sensation in your ears. This is caused by static electricity accumulated on your body, not by product malfunction.
- Do not subject the product to strong impact.
- Do not store the product in direct sunlight, near heating devices, or in hot, humid, or dusty places. Additionally, do not allow the product to get wet.
- When the product is used for a long time, the product may become discolored due to ultraviolet light (especially direct sunlight) and wear.
- Do not expose the product to excessive stress or pressure, which could result in deformation.
- Use only the included cable. Performance cannot be guaranteed when using another cable.
- Make sure to hold the plug when connecting and disconnecting the included cable. The included cable may become severed or an accident may occur if you pull on the cable itself.
- When you are not using the included cable, make sure to disconnect it from the product.
- When you are not using the product, store it in the included case/pouch.
- Do not apply excessive stress to the plug of the included cable when connecting or using the included cable. There is a risk of damage to the computer and the plug.
- Make sure to turn off the computer before connecting or disconnecting the included cable, otherwise there is a risk of computer malfunction.
- If the computer does not function properly or if any other problem is experienced while the product is connected to the computer, turn off the computer and reconnect the product. If the problem persists, please contact your local Audio-Technica dealer. Continuing to use the computer could cause damage to the computer.
- The product does not support audio that is protected by DRM (digital rights management), such as digital terrestrial broadcasts.
- This product can be used to talk on the phone only when using a mobile telephone network. Support for telephony apps that use a mobile data network is not guaranteed.
- If you use the product near an electronic device or transmitter (such as a mobile phone), noise may be heard. In this case, move the product away from the electronic device or transmitter.
- If you use the product near a TV or radio antenna, noise may be seen or heard in the television or radio signal. In this case, move the product away from the TV or radio antenna.
- To protect the built-in rechargeable battery, charge it at least once every 6 months. If too much time passes between charges, the life of the rechargeable battery may be reduced, or the rechargeable battery may no longer be able to be charged.
- Use a finger to operate the tap controller. Tapping or pressing the tap controller with a pen, pencil, or other pointed object may not produce the desired result, and may scratch or damage the controller.
- Do not tap the tap controller with the tip of a fingernail. There is a risk of cracking the fingernail and injury.
- When tapping the tap controller repeatedly, lift your finger a few millimeters away from the tap controller for each tap. If you do not lift your finger away from the tap controller between taps, the taps may not be recognized.
- If the tap controller does not respond to your taps or responds differently than expected, make sure another finger, a part of your hand, or a piece of clothing is not touching the tap controller. Additionally, the tap controller may not respond as expected when you are wearing gloves, when your fingertips are dry, or when the surface of the tap controller is dirty.

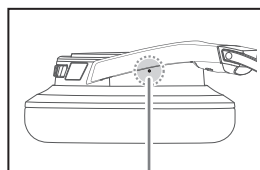
Part names and functions

N-Mark

Shows the location for detecting NFC.

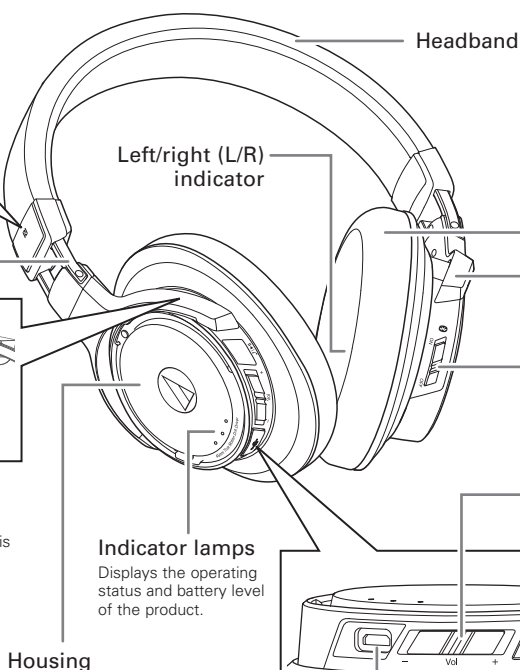


Slider



Reset button

Use this button to reset the product if it is malfunctioning.



USB connector jack*

Allows you to charge the product by connecting the product to a computer using the included USB cable. Additionally, it allows you to play audio when connected to a computer.

*It is equipped with a cover.

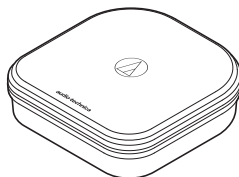
Tap controller

Allows you to play or pause music and videos, and perform phone call operations.

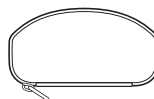
■ Included accessories



• USB cable (2.0 m [6.5'])



• Case

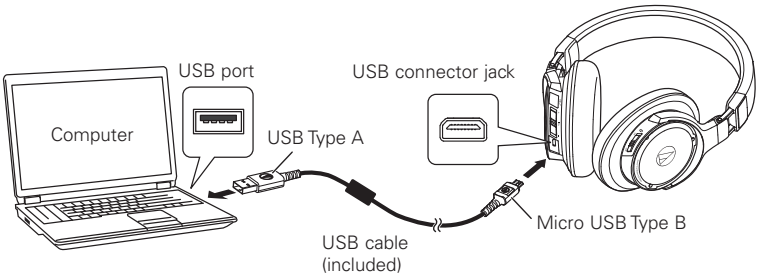


• Pouch (for storing cables)

EN

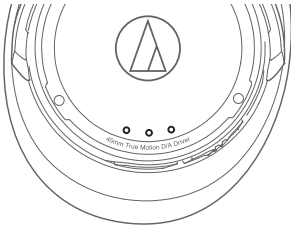
Charging the battery

- Fully charge the battery when using for the first time.
- When the rechargeable battery is running low, the product will sound 2 sets of 2 beeps through the headphones, and an indicator lamp will flash in red. When these beeps sound, charge the battery.
- It takes about 4 hours to charge the battery fully. (This time may vary depending on usage conditions.)



1. Open the USB connector jack cover.
2. Connect the included USB cable (micro USB Type B side) to the USB connector jack.
 - The included USB cable is designed for exclusive use with the product. The operation of this cable with other products cannot be guaranteed.
3. Connect the included USB cable (USB Type A side) to the computer to start charging.
During charging, the 3 indicator lamps light as follows to indicate the battery level.

Battery charge status	Indicator lamps ●Red ●White ●Off		
	Lamp display		Light pattern
Less than 30%	● ● ●		Flashes
30 to 60%	● ● ●		Only center lamp flashes
60 to 100%	● ● ●		Only left lamp flashes
Charging complete	● ● ●		Lights
Charging error	● ● ●		Flashes quickly



- Charging errors are caused by battery malfunction. Disconnect the product from the computer and then contact your local Audio-Technica dealer.
4. When charging is complete, disconnect the included USB cable (USB Type A side) from the computer.
 5. Disconnect the included USB cable (micro USB Type B side) from the USB connector jack and close the cover firmly.

Connecting via *Bluetooth*® wireless technology

About pairing

To connect the product to a *Bluetooth* device, the product needs to pair (register) with the device. Once they are paired, you do not need to pair them again.

However, you will need to pair again in the following cases:

- If the product is deleted from the *Bluetooth* device's connection history.
- If the product is sent out for repair.
- If the product is paired with 9 devices or more.

(The product can be paired with up to 8 devices. When you pair with a new device after pairing with 8 devices, pairing information for the device with the oldest connection date will be overwritten by the information for the new device.)

E
N

Pairing a *Bluetooth* device

- Read the user manual for the *Bluetooth* device.
 - Place the *Bluetooth* device within 1 m (3.3') of the product to perform pairing correctly.
 - To confirm the progress of the pairing process, wear the product while performing this procedure and listen for sound.
1. Starting with the product turned off, slide the power switch to the "ON" position.
 - For information about how the indicator lamps indicate pairing (searching for devices), refer to "Indicator lamp display" (p.12).
 - The product beeps when pairing begins.
 2. Use your *Bluetooth* device to begin the pairing process and search for the product.
When your *Bluetooth* device finds the product, "ATH-DSR9BT" will be displayed on the device.
 - For information about using your *Bluetooth* device, refer to the device's user manual.
 3. Select "ATH-DSR9BT" to pair the product and your *Bluetooth* device.
 - Some devices may ask for a passkey. In this case, enter "0000". The passkey may also be called a passcode, PIN code, PIN number, or password.
 - The product beeps when pairing is complete.



Connecting via *Bluetooth* wireless technology

Using NFC when pairing

NFC (Near Field Communication) is a technology that allows for short-range wireless communication between various devices, such as mobile phones and IC tags. It allows two devices to communicate when you simply touch them to each other. You can use NFC to pair your *Bluetooth* device with this product.

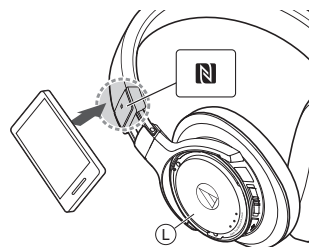
Compatible devices: NFC-compatible *Bluetooth* devices

Compatible OS: Android

Pairing an NFC-compatible *Bluetooth* device

To confirm the progress of the pairing process, wear the product while performing this procedure and listen for sound.

1. Turn on your NFC-compatible device's NFC feature.
 - Refer to your NFC-compatible device's user manual as necessary.
2. Starting with the product turned off, slide the power switch to the "ON" position.
3. Touch your NFC-compatible device to the N-Mark on the product (see figure at right), then use your NFC-compatible device to complete the pairing process.
 - For the location of your NFC-compatible device's NFC antenna, or how to end the connection between the product and your devices, refer to the device's user manual.
 - The product beeps when pairing is complete.



Disconnecting a device

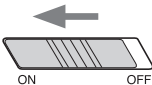
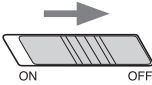
Touch your NFC-compatible *Bluetooth* device to the part just above the N-Mark on the product again to disconnect the product from your device.

Using the product

The product can use *Bluetooth* wireless technology to connect to your device and play music, receive phone calls, etc. Use the product for whichever of these purposes suits your needs.
Note that Audio-Technica cannot guarantee compatible operation with connected *Bluetooth* devices.

Power supply

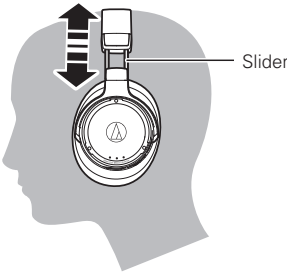
Slide the power switch to the "ON" or "OFF" position.

Power supply	Power switch operation	Indicator lamps ● Red ○ White ○ Off		
		Lamp display	Battery charge status	Light pattern
ON*			Battery level low	Flashes every 5 seconds
			Less than 30%	All 3 indicator lamps light for 3 seconds, then lamps light to indicate that the product is "pairing".
			30 to 60%	
			60 to 100%	
OFF*			While the 3 indicator lamps flash, each turns off in order from left to right.	

* If you are wearing the product, you will hear a beep to indicate when the product has turned on and off.

Wearing the product

Place the product with the side marked "L" over your left ear and "R" over your right ear, and adjust the headband length by sliding the adjustable slider so that the earpads cover your ears completely.



E
N

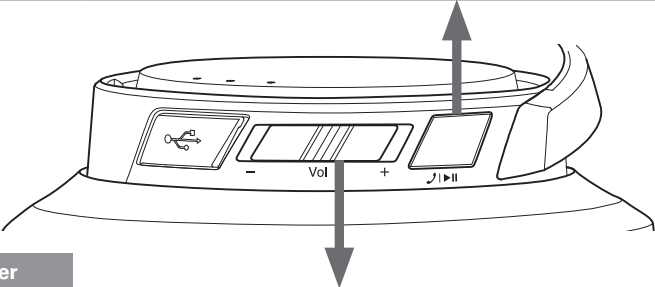
Using the product

Listening to audio

- To connect for the first time, pair the product and your device by using either the *Bluetooth* wireless technology or NFC. If you have already paired the product and your *Bluetooth* device, turn on the product and turn on your device's *Bluetooth* connection.
- Use your *Bluetooth* device to start playback, referring to the device's user manual as necessary.

You can perform the following operations using the product.

Tap controller	
Tap (1 short press)	Plays or pauses music and video playback.* ¹
Double-tap (2 short presses)	Displays battery level. The indicator lamps light the same way as when the power is turned on.(p.8)
Long tap (1 long press, lasting about 4 seconds)	Depending on the connected device, activates the device's speech recognition feature (such as Siri for compatible iOS devices).



Volume controller		
A diagram of the volume control area with a grey arrow pointing to the right above it. The area has a minus sign, 'Vol', and a plus sign.	Short slide	Increases the volume by 1 level.* ²
	Long slide (about 2 seconds)	Plays the next track.* ¹
A diagram of the volume control area with a grey arrow pointing to the left above it. The area has a minus sign, 'Vol', and a plus sign.	Short slide	Decreases the volume by 1 level.* ²
	Long slide (about 2 seconds)	Plays the previous track.* ¹

*¹ Some controls may not be available for music and video playback on some smartphones.

*² A beep is heard each time you slide the volume control. A low beep is heard when the volume is at the maximum or minimum level.

- The volume control of some devices may not work well together with the product.

Using the product

Compatible codecs

The product is compatible with Qualcomm® aptX™ HD audio (hereafter "aptX HD"), Qualcomm® aptX™ audio (hereafter "aptX"), AAC, and SBC codecs. The appropriate codec will be determined automatically by the *Bluetooth* device during the pairing process.

The indicator lamps also light to indicate the codec used for audio playback.

Playback codec	Indicator lamps  White  Blue  Purple  Off			
	Lamp display		Light pattern	
aptX HD				Flashes every 3 seconds
aptX				
AAC				
SBC				

If sound cuts out while listening to music using the aptX HD codec, you may be able to remedy the problem by switching to a mode incompatible with the aptX HD codec. The codec (aptX, AAC, SBC) used after switching is different depending on the connected device.

- **Switch to a mode incompatible with the aptX HD codec:**
 1. When the power is off, slide the power switch toward "ON" while holding the volume control slid toward "-".
 2. Display the battery level by sliding the power switch to "ON" or double-tapping the tap controller.
 - Confirm that the right indicator lamp lights in blue.
- **Switch to the normal mode (the mode compatible with the aptX HD codec):**
 1. When the power is off, slide the power switch toward "ON" while holding the volume control slid toward "+".
 2. Display the battery level by sliding the power switch to "ON" or double-tapping the tap controller.
 - Confirm that the right indicator lamp lights in white (normal indicator lamp display).

Using the product

Talking on the phone

- If your *Bluetooth* device supports telephone features, you can use the product to talk on the phone.
- When your *Bluetooth* device receives a phone call, the product sounds a ring tone.
- If a call is received while you are listening to music, music playback is paused. When you finish the call, music playback resumes. *1

When	Operation	Function
Receiving a call	Tap the tap controller	Answers the call.
	Long tap (about 2 seconds) the tap controller	Rejects the call.
Talking on a call	Double-tap the tap controller	Ends the call.
	Long tap (about 2 seconds) the tap controller	Each time you long tap (about 2 seconds) the tap controller, you switch the call to your <i>Bluetooth</i> device or to the product. *2
	Slide the volume controller	Adjusts the volume (+ or -) of the call.

*1 Depending on your *Bluetooth* device, music playback may not resume.

*2 When you hear a beep, release the tap controller.

- The phone call controls explained above may not be available on some smartphones.

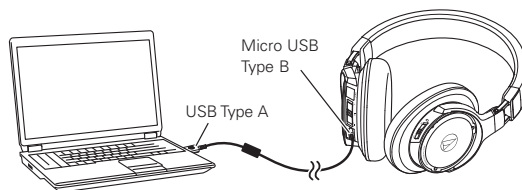
Auto power off function

The product automatically turns off after 5 minutes of not being connected to a device that has its power turned on.

Listening to music while using a USB connection

You can connect the product to a computer and listen to music at up to 96 kHz/24 bit from a music player program while charging the product.

- Read the user manual for the computer.
- Even if the computer meets the requirements listed in "Specifications for computer connection" (p.15), these features may not function properly depending on the computer's hardware and software.



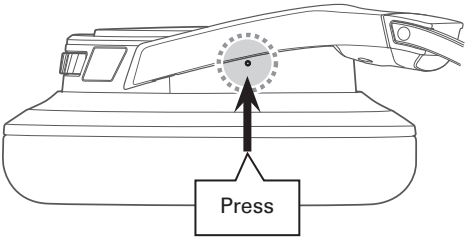
1. Connect the included USB cable (micro USB Type B side) to the product's USB connector jack.
2. Connect the included USB cable (USB Type A side) to the computer's USB port.
3. Turn on the computer.
4. Configure the computer as necessary.
 - Refer to the included "Setup Manual (Computer Settings)" and configure the connected computer according to its operating system.
5. Refer to "Wearing the product" (p.8) and place the product on your head.
6. Use your computer's music player program to start playing music.
 - Adjust the volume as needed using the product, your computer, or your music player program.
 - The product's power switch and tap controller are disabled while the product is connected to a computer.
 - The product cannot be used as a headset while it is connected to a computer.

Using the product

Reset function

If the product does not operate properly or if other malfunctions occur, pressing the reset button should resolve any problem you are experiencing. If the problem persists, please contact your local Audio-Technica dealer. Pressing the reset button does not change any of your settings (pairing information, volume setting, etc.).

- Do not use excessively hard metal tools or sharply pointed tools, nor press the reset button with excessive force. Doing so may result in malfunction.



EN

Indicator lamp display

The product's indicator lamps indicate the product's status as explained below. For information about how the indicator lamps indicate the battery (charging) status, see "Charging the battery" (p.5) . For information about how the indicator lamps indicate the codec, see "Compatible codecs" (p.10) in "Listening to audio".

Status	Indicator lamps ● White ● Blue ● Off	
	Lamp display	Light pattern
Pairing (searching for devices)	● ● ●	Each lamp turns on in order from right to left → All lamps turn off → Each lamp turns on in order from left to right → All lamps turn off → Pattern repeats
Waiting for connection	● ● ●	Flashes every 3 seconds
Connecting	● ● ●	Each lamp turns on in order from right to left → All lamps turn off for 3 seconds → Each lamp turns on in order from left to right → All lamps turn off for 3 seconds → Pattern repeats
Receiving a call	● ● ●	Flashes
Talking on a call	● ● ●	Flashes every 3 seconds

Cleaning

Get into the habit of regularly cleaning the product to ensure that it will last for a long time. Do not use alcohol, paint thinners or other solvents for cleaning purposes.

- To clean, wipe with a dry cloth.
- Wipe away perspiration and any other dirt from the cable with a dry cloth immediately after use. Failure to clean the cable may cause it to deteriorate and harden over time, resulting in malfunction.
- Wipe the cable's USB plug with a dry cloth if dirty. Failure to clean the USB plug may cause the sound to cut out and may cause noise.
- Wipe the earpads and headband with a dry cloth if dirty. Perspiration or water on the earpads or headband may cause discoloration. Wipe with a dry cloth and allow to dry in the shade.

- If the product will not be used for an extended period of time, store it in a well-ventilated place free from high temperatures and humidity.
- Earpads are consumable items. They will deteriorate over time due to use and storage, so replace them when necessary. For information about replacing earpads or other parts, or for information about other serviceable parts, contact your local Audio-Technica dealer.

Troubleshooting

Problem	Solution
Power is not supplied.	• Charge the product.
Unable to pair.	• Confirm that the <i>Bluetooth</i> device communicates using Ver. 2.1+EDR or higher. • Place the product and the <i>Bluetooth</i> device within 1 m (3.3') of each other. • Set the profiles for the <i>Bluetooth</i> device. For procedures on how to set profiles, refer to the <i>Bluetooth</i> device's user manual.
No sound is heard / Sound is faint.	• Turn on the power of the product and the <i>Bluetooth</i> device. • Turn up the volume of the product and the <i>Bluetooth</i> device. • If the <i>Bluetooth</i> device is set to the HFP/HSP connection, switch to the A2DP connection. • Remove obstacles between the product and the <i>Bluetooth</i> device and place them closer together. • Switch the output of the <i>Bluetooth</i> device to the <i>Bluetooth</i> connection.
No sound is heard during USB connection / Sound is faint.	• Make sure the computer's audio output settings are correct. • Turn up the volume of the product, your computer, or your music player program.
Sound is distorted / Noise is heard / Sound cuts out.	• Turn down the volume of the product and the <i>Bluetooth</i> device. • Keep microwaves and other devices such as wireless routers away from the product. • Keep TVs, radios, and devices with built-in tuners away from the product. These devices can also be affected by the product. • Turn off the equalizer settings of the <i>Bluetooth</i> device. • Remove obstacles between the product and the <i>Bluetooth</i> device and place them closer together.
Sound cuts out when using the aptX codec	• Adjust your <i>Bluetooth</i> device's settings to disable the aptX codec.
Cannot hear the voice of the caller / Voice of the caller is too quiet.	• Turn on the power of the product and the <i>Bluetooth</i> device. • Turn up the volume of the product and the <i>Bluetooth</i> device. • If the product is set to the A2DP connection, switch to the HFP/HSP connection. • Switch the output of the <i>Bluetooth</i> device to the <i>Bluetooth</i> connection.
Unable to pair using NFC.	• Make sure your device is an NFC-compatible <i>Bluetooth</i> device. • Turn on your NFC-compatible <i>Bluetooth</i> device's NFC feature. • Touch the product to the correct location of your NFC-compatible <i>Bluetooth</i> device. • Depending on the NFC-compatible <i>Bluetooth</i> device you are using, the NFC sensitivity may not be strong enough to connect to the product with just one touch. In this case, refer to the NFC-compatible <i>Bluetooth</i> device's user manual. • Depending on the NFC-compatible <i>Bluetooth</i> device you are using, it may take some time to communicate via NFC. Keep the product and your NFC-compatible <i>Bluetooth</i> device touching until the connection is completed. • Remove your NFC-compatible <i>Bluetooth</i> device from its case so that it can communicate via NFC.
The tap controller is not functioning properly.	• Make sure that you are not tapping with your fingernail and that the tip of your finger is not too dry, and then try again.
The product cannot be charged.	• Make sure the included USB cable is firmly connected and then try again.

- For details about how to operate your *Bluetooth* device, refer to the device's user manual.
- If the problem still remains, reset the product. To reset the product, refer to "Reset function" (p.12).

Specifications

Headphones

Type	Closed-back dynamic
Driver	45 mm
Sensitivity	97 dB/mW
Frequency response	5 to 45,000 Hz
Impedance	38 ohms
Input jack	Micro USB Type B

Microphone

Type	Electret condenser
Polar pattern	Omnidirectional
Sensitivity	-44 dB (1 V/Pa, at 1 kHz)
Frequency response	50 to 4,000 Hz

Specifications for *Bluetooth* connection

Communication system	<i>Bluetooth</i> version 4.2
Output	<i>Bluetooth</i> Specification Power Class 2
Maximum communication range	Line of sight - approx. 10 m (33')
Frequency band	2.4 GHz (2.402 GHz to 2.480 GHz)
Modulation method	FHSS
Supported <i>Bluetooth</i> profiles	A2DP, AVRCP, HFP, HSP
Supported codecs	Qualcomm® aptX™ HD audio, Qualcomm® aptX™ audio, AAC, SBC
Supported content protection method	SCMS-T
Supported sample rates	44.1 kHz, 48 kHz
Supported bit rates	16 bit, 24 bit*
Transmission band	20 to 20,000 Hz

*When using the aptX HD codec

Specifications for computer connection (operating environment)

Computer	Built-in USB port that supports USB 2.0
CPU	Intel Core 2 processor running at 2.2 GHz or faster, or an equivalent AMD processor
RAM	2 GB or more for 32-bit OS, 4 GB or more for 64-bit OS
Supported operating systems	Windows 7, Windows 8, Windows 8.1, Windows 10, Mac OS X El Capitan (10.11) •Visit our web site for the latest information about the product.
Supported sample rates	44.1 kHz, 48 kHz, 96 kHz
Supported bit rates	16 bit, 24 bit
Frequency response	5 to 45,000 Hz (during 24 bit, 96 kHz playback)

Specifications

Other

Power supply	DC 3.7 V lithium polymer battery
Charging time	Approx. 4 hours*
Operating time	Continuous transmission time (music playback): Approx. 15 hours* Continuous standby time: Approx. 1,000 hours*
Weight	Approx 315 g (11.1 oz)
Operating temperature	5°C to 40°C (41°F to 104°F)
Included accessories	• USB cable (2.0 m (6.5'), USB Type A, Micro USB Type B) • Case • Pouch (for storing cables)
Sold separately	• Earpads • USB cable

* The above figures depend on operating conditions.

For product improvement, the product is subject to modification without notice.

- The *Bluetooth®* word mark and logos are owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Audio-Technica Corporation is under license. All other trademarks are property of their respective owners.
- "AAC" logo is a trademark of Dolby Laboratories.
- Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries, used with permission. aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries, used with permission.
- The N-Mark is a trademark or registered trademark of NFC Forum, Inc. in the United States and in other countries.
- Android™ is a trademark of Google Inc.
- iOS is a trademark or registered trademark of Cisco in the U.S. and other countries.
- Siri is a trademark of Apple Inc.

E
N

Introduction

Nous vous remercions d'avoir choisi ce produit Audio-Technica.
Avant utilisation, merci de lire attentivement ce manuel pour vous assurer du bon usage du produit.
Veuillez conserver ce manuel pour consultation ultérieure.

Consignes de sécurité

Mises en garde concernant le produit

- N'utilisez pas le produit à proximité d'un équipement médical. Les ondes radio peuvent affecter les stimulateurs cardiaques et les appareils électroniques médicaux. N'utilisez pas le produit dans un établissement hospitalier.
- Si vous utilisez le produit dans un avion, conformez-vous aux instructions de la compagnie aérienne.
- N'utilisez pas le produit à proximité d'appareils à commande automatique, comme des portes automatiques ou des alarmes incendie. Les ondes radio peuvent affecter les appareils électroniques et provoquer des accidents suite à un dysfonctionnement.
- Ne démontez pas, ne modifiez pas ou n'essayez pas de réparer le produit pour éviter tout risque d'électrocution, de dysfonctionnement ou d'incendie.
- Ne soumettez pas le produit à un choc violent pour éviter tout risque d'électrocution, de dysfonctionnement ou d'incendie.
- Ne manipulez pas le produit avec les mains mouillées pour éviter tout risque d'électrocution ou de blessure.
- Déconnectez le produit s'il commence à présenter des dysfonctionnements, à émettre de la fumée, une odeur, de la chaleur, des bruits indésirables ou à présenter d'autres signes de dommage. Le cas échéant, prenez contact avec votre revendeur local Audio-Technica.
- Ne mouillez pas le produit pour éviter tout risque d'électrocution ou de dysfonctionnement.
- N'introduisez pas de corps étrangers comme des matériaux combustibles, du métal ou un liquide dans le produit.
- Ne recouvrez pas le produit avec un chiffon car cela entraînerait un risque d'incendie ou de blessure suite à une surchauffe.
- Respectez les lois en vigueur concernant l'utilisation de téléphones mobiles et casques si vous utilisez le casque en conduisant.
- N'utilisez pas le produit dans des endroits où l'incapacité à entendre les sons ambiants présente un risque grave (tels qu'un passage à niveau, une gare ferroviaire et des chantiers).
- Pour éviter d'endommager votre ouïe, n'augmentez pas trop le volume. L'écoute prolongée de sons forts peut provoquer une perte auditive temporaire ou permanente.
- Cessez d'utiliser le produit en cas d'irritation cutanée découlant d'un contact direct avec celui-ci.
- Prenez garde de ne pas vous pincer entre la coque et le bras du produit.

Mises en garde relative à la batterie rechargeable

Le produit est doté d'une batterie rechargeable (batterie Lithium-Polymère (LiPo)).

- Si le liquide de batterie pénètre dans vos yeux, ne les frottez pas. Rincez abondamment à l'eau claire, l'eau du robinet par exemple, et consultez immédiatement un médecin.
- En cas de fuite du liquide de batterie, ne le touchez pas les mains nues. Si le liquide reste à l'intérieur du produit, cela peut provoquer un dysfonctionnement. En cas de fuite du liquide de batterie, prenez contact avec votre revendeur local Audio-Technica.
 - Si le liquide pénètre dans votre bouche, rincez-vous abondamment la bouche à l'eau claire, l'eau du robinet par exemple, et consultez immédiatement un médecin.
 - Si le liquide entre en contact avec votre peau ou vos vêtements, lavez immédiatement la zone affectée avec de l'eau. En cas d'irritation cutanée, consultez un médecin.
- Ne jamais chauffer, démonter ou modifier la batterie, ni la jeter au feu car cela risque de causer une fuite, une génération de chaleur ou une explosion.
- N'essayez pas de percer la batterie avec un clou, de la frapper avec un marteau ou de marcher dessus car cela risque de causer une génération de chaleur, des dommages ou un incendie.
- Ne lâchez pas le produit, ni ne le soumettez à un choc violent car cela risque de causer une fuite, une génération de chaleur ou une explosion.
- Ne mouillez pas la batterie car cela risque de causer une génération de chaleur, des dommages ou un incendie.
- Abstenez-vous d'utiliser, laisser ou ranger la batterie dans les endroits suivants :
 - Zone exposée à un ensoleillement direct ou à des températures ou une humidité élevée(s)
 - À l'intérieur d'une voiture sous un soleil de plomb
 - Près de sources de chaleur ou d'appareils de chauffageIl existe un risque de fuite, d'émission de chaleur, d'explosion et de dégradation des performances.
- La recharge ne doit être faite qu'avec le câble USB fourni pour éviter un dysfonctionnement ou un incendie.
- Après avoir utilisé l'appareil, pensez à l'éteindre. Les fuites sont souvent dues à la décharge de la batterie si l'appareil n'est pas éteint.
- L'utilisateur ne peut pas remplacer lui-même la batterie interne rechargeable de ce produit. Il se peut que la batterie ait atteint la fin de sa vie utile si la durée d'utilisation raccourcit considérablement même si la batterie est complètement chargée. Si tel est le cas, la batterie doit être réparée. Contactez votre revendeur local Audio-Technica pour les détails de la réparation.
- Lors de l'élimination du produit, la batterie rechargeable intégrée doit être mise au rebut de manière appropriée. Contactez votre revendeur local Audio-Technica pour savoir comment éliminer correctement la batterie.

Consignes de sécurité

À l'attention des clients aux États-Unis

Avis de la FCC

Avertissement

Cet appareil est conforme à la Partie 15 du règlement de la FCC. Son fonctionnement est soumis aux deux conditions suivantes : (1) Cet appareil ne doit pas causer d'interférence nocive et (2) cet appareil doit accepter les interférences reçues, y compris les interférences pouvant provoquer un fonctionnement indésirable.

Mise en garde

Vous êtes averti que tout changement ou modification non expressément approuvé dans ce manuel est susceptible d'annuler votre droit d'utilisation de cet appareil.

Remarque : Cet appareil a fait l'objet de tests afin de vérifier sa conformité avec les limites relatives aux appareils numériques de classe B, conformément à la partie 15 du règlement de la FCC. Ces limites ont pour vocation d'offrir une protection raisonnable contre les interférences nocives en installation résidentielle. Cet appareil génère, utilise et peut émettre des fréquences radioélectriques et provoquer, en cas d'installation et d'utilisation non conformes aux instructions, des interférences préjudiciables à la réception des signaux radio. Toutefois, il n'y a pas de garantie que des interférences ne se produiront pas dans une installation particulière. Si l'appareil provoque des interférences préjudiciables à la réception radio ou télévisée, ce qui peut être déterminé en éteignant et allumant l'appareil, l'utilisateur est invité à essayer d'y remédier en prenant une ou plusieurs des mesures suivantes :

- Réorienter ou déplacer l'antenne réceptrice.
- Augmenter la séparation entre l'appareil et le récepteur.
- Brancher l'appareil sur une prise, sur un circuit différent de celui auquel est raccordé le récepteur.
- Demander de l'aide au revendeur ou à un technicien radio/TV qualifié.

Déclaration d'exposition aux radiofréquences

Ce transmetteur ne doit pas être placé ou opéré en conjonction avec tout autre transmetteur ou antenne utilisé dans d'autres systèmes. Cet appareil est conforme aux limites d'exposition concernant l'exposition aux radiations établies par la FCC dans un environnement non contrôlé et satisfait les directives d'exposition aux radiofréquences (RF) de la FCC. Cet équipement présentant de très faibles niveaux d'énergie de radiofréquence, il est considéré conforme sans tester le débit d'absorption spécifique (DAS).

À l'attention des clients au Canada

Déclaration IC

CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)

Cet appareil est conforme à la norme INDUSTRIE CANADA CNR247.

Son fonctionnement est soumis aux conditions suivantes :

(1) cet appareil ne doit pas causer d'interférence nocive et (2) cet appareil doit accepter les interférences reçues, y compris les interférences pouvant provoquer un fonctionnement indésirable.

En vertu des règlements d'Industrie Canada, cet émetteur radio peut uniquement fonctionner avec une antenne de type et de gain maximum (ou moindre) approuvés pour l'émetteur par Industrie Canada. Pour éviter que d'éventuelles interférences radio n'affectent d'autres utilisateurs, le type d'antenne et son gain doivent être choisis de sorte que la puissance isotrope rayonnée équivalente (PIRE) ne soit pas supérieure aux limites permises pour une communication réussie.

Cet appareil est conforme aux limites d'exposition aux rayonnements RSS-102 établies pour un environnement non contrôlé.

F
R

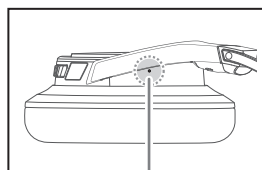
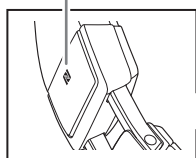
Remarques concernant l'utilisation

- Veuillez à lire le manuel de l'utilisateur de l'appareil connecté avant toute utilisation.
- Audio-Technica ne pourra en aucun cas être tenu responsable des pertes de données dans le cas peu probable de leur survenue pendant l'utilisation du produit.
- Dans les transports ou d'autres lieux publics, veuillez à baisser le volume afin de ne pas déranger les autres personnes.
- Baissez le volume au maximum sur votre appareil avant de connecter le produit.
- Si vous utilisez le produit dans une atmosphère sèche, vous pouvez ressentir des picotements dans les oreilles. Ceci est dû à l'électricité statique accumulée sur votre corps et non à un dysfonctionnement du produit.
- Ne soumettez pas le produit à un impact fort.
- Ne laissez pas le produit exposé à l'ensoleillement direct, près d'appareils générant de la chaleur ou dans un endroit chaud, humide ou poussiéreux. Ne laissez pas non plus le casque exposé aux liquides et aux éclaboussures.
- Si vous utilisez longtemps le produit, il peut se décolorer en raison de la lumière ultraviolette (particulièrement sous un ensoleillement direct) et de l'usure.
- N'exposez pas le produit à une contrainte ou une pression excessive, cela pourrait entraîner une déformation.
- Utilisez uniquement le câble fourni. Les performances ne peuvent pas être garanties en cas d'utilisation d'un autre câble.
- Veuillez à tenir le câble fourni par la fiche lorsque vous le connectez ou déconnectez. Le câble fourni peut se couper ou un accident peut se produire si vous tirez sur le câble lui-même.
- Si vous n'utilisez pas le câble fourni, déconnectez-le du produit.
- Si vous n'utilisez pas le produit, rangez-le dans l'étui/la pochette de protection fourni(e).
- N'exercez pas une pression excessive sur la fiche du câble fourni lorsque vous connectez ou utilisez le câble. Vous pourriez endommager l'ordinateur ou la fiche.
- Veuillez à éteindre l'ordinateur avant de connecter ou de déconnecter le câble fourni. Vous pourriez sinon provoquer un dysfonctionnement de l'ordinateur.
- Si l'ordinateur ne fonctionne pas correctement, ou en cas d'autre problème lorsque le produit est connecté à l'ordinateur, éteignez l'ordinateur et reconnectez le produit. Si le problème persiste, prenez contact avec votre revendeur local Audio-Technica. Vous pourriez endommager l'ordinateur si vous continuez à l'utiliser.
- Le produit ne prend pas en charge l'audio qui est protégé par DRM (gestion des droits numériques), par exemple des diffusions numériques terrestres.
- Ce produit peut être utilisé pour parler au téléphone uniquement si vous utilisez un réseau de téléphone mobile. La prise en charge d'applications de téléphonie utilisant un réseau de données mobiles n'est pas garantie.
- Si vous utilisez le produit près d'un appareil électronique ou d'un émetteur (comme un téléphone mobile), il se peut que vous entendiez du bruit. Dans ce cas, éloignez le produit de l'appareil électronique ou de l'émetteur.
- Si vous utilisez le produit près d'une antenne de télévision ou radio, du bruit peut être vu ou entendu dans le signal de la télévision ou de la radio. Dans ce cas, éloignez le produit de l'antenne de télévision ou radio.
- Pour protéger la batterie rechargeable intégrée, chargez-la au moins une fois tous les 6 mois. S'il s'écoule trop de temps entre les recharges, la durée de vie de la batterie rechargeable peut être réduite, ou la batterie rechargeable risque de ne plus pouvoir être rechargée.
- Utilisez le contrôleur tactile avec votre doigt. Si vous appuyez sur le contrôleur tactile avec un stylo, un crayon ou autre objet pointu, vous risquez de ne pas obtenir le résultat escompté, et de rayer ou endommager le contrôleur.
- N'appuyez pas sur le contrôleur tactile avec la pointe d'un ongle. Vous pourriez casser votre ongle ou vous blesser.
- Si vous appuyez sur le contrôleur tactile à répétition, soulevez votre doigt à quelques millimètres du contrôleur tactile avant chaque pression. Si vous ne soulevez pas votre doigt du contrôleur tactile entre chaque pression, il se peut que les pressions ne soient pas reconnues.
- Si le contrôleur tactile ne répond pas à vos pressions ou ne répond pas comme prévu, vérifiez qu'il n'est pas en contact avec un doigt, une partie de votre main ou un vêtement. De plus, le contrôleur tactile peut ne pas répondre comme prévu lorsque vous portez des gants, lorsque le bout de vos doigts est sec ou lorsque la surface du contrôleur tactile est sale.

Noms des pièces et fonctions

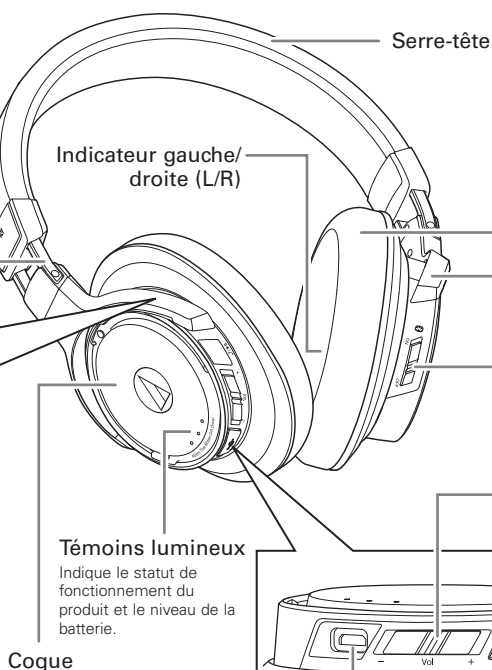
Marque N

Indique l'emplacement de détection NFC.



Bouton de réinitialisation

Utilisez ce bouton pour réinitialiser le produit s'il ne fonctionne pas correctement.



Témoins lumineux

Indique le statut de fonctionnement du produit et le niveau de la batterie.

Coque

Serre-tête

Coussinet d'oreille

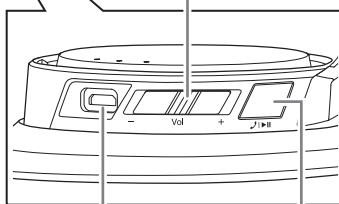
Bras

Bouton d'alimentation

Permet la mise sous/hors tension.

Contrôleur de volume

Permet de régler le volume lorsque vous le faites glisser vers + et -.



Connecteur USB*

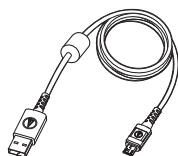
Permet de recharger le produit en le connectant à un ordinateur au moyen du câble USB fourni. Il permet en outre de lire des fichiers audio en cas de connexion à un ordinateur.

*Il est muni d'un cache.

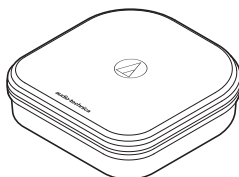
Contrôleur tactile

Vous permet de lancer ou suspendre la lecture de musique et de vidéos, et d'effectuer des opérations d'appel téléphonique.

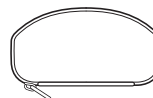
■ Accessoires fournis



• Câble USB (2,0 m)



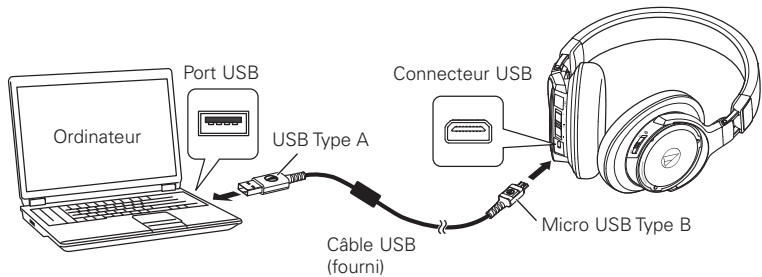
• Étui



• Pochette de protection (pour ranger les câbles)

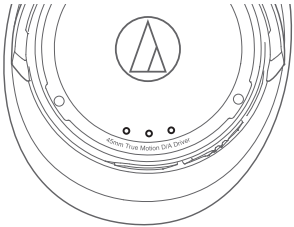
Recharge de la batterie

- Chargez complètement la batterie lors de la première utilisation.
- Si la batterie rechargeable est proche de s'épuiser, le produit émet 2 ensembles de 2 bips par le casque, et un témoin lumineux clignote en rouge. Lorsque vous entendez ces bips, rechargez la batterie.
- Il faut environ 4 heures pour charger complètement la batterie. (Cette durée peut varier selon les conditions d'utilisation.)



1. Ouvrez le cache du connecteur USB.
2. Connectez le câble USB fourni (côté micro USB type B) au connecteur USB.
 - Le câble USB fourni est exclusivement conçu pour être utilisé avec le produit. Le bon fonctionnement de ce câble avec d'autres produits ne peut pas être garanti.
3. Branchez le câble USB fourni (côté USB type A) sur l'ordinateur pour commencer la charge.
Pendant la charge, les 3 témoins lumineux s'allument comme suit pour indiquer le niveau de la batterie.

État de charge de la batterie	Témoins lumineux ● Rouge ○ Blanc ● Éteint		
	Indication du témoin	Schéma lumineux	
Moins de 30 %	● ● ●	Clignote	
30 à 60 %	● ● ●	Seul le témoin central clignote	
60 à 100 %	● ● ●	Seul le témoin de gauche clignote	
Charge terminée	● ● ●	S'allume	
Erreur de charge	● ● ●	Clignote rapidement	



- Les erreurs de charge sont provoquées par un dysfonctionnement de la batterie. Débranchez le produit de l'ordinateur puis contactez votre revendeur local Audio-Technica.
4. Une fois la charge terminée, déconnectez le câble USB fourni (côté USB type A) de l'ordinateur.
 5. Déconnectez le câble USB fourni (côté micro USB type B) du connecteur USB et fermez bien le cache.

Connexion via la technologie sans fil *Bluetooth*®

À propos de l'appairage

Pour connecter le produit à un dispositif *Bluetooth*, le produit doit s'appairer (s'enregistrer) avec l'appareil. Une fois appairés, il n'est pas nécessaire de les appairer à nouveau.

Toutefois, il vous faudra les appairer à nouveau dans les cas suivants :

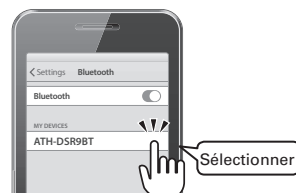
- Si le produit est supprimé de l'historique de connexion du dispositif *Bluetooth*.
- Si le produit est confié au SAV pour réparation.
- Si le produit est appairé à 9 appareils ou plus.

(Le produit peut être appairé à un maximum de 8 appareils. Si vous l'appairez à un nouvel appareil après l'avoir appairé à 8 appareils, les informations d'appairage pour l'appareil ayant la plus ancienne date de connexion seront écrasées par les informations du nouvel appareil.)

F
R

Appairage d'un dispositif *Bluetooth*

- Lisez le manuel de l'utilisateur du dispositif *Bluetooth*.
 - Placez le dispositif *Bluetooth* à une distance d'un mètre du produit pour effectuer correctement l'appairage.
 - Pour vérifier l'avancement du processus d'appairage, portez le produit pendant que vous effectuez cette procédure et écoutez le son.
1. Avec le produit hors tension, faites glisser le bouton d'alimentation sur la position « ON ».
 - Pour plus d'informations sur les indications d'appairage des témoins lumineux (recherche d'appareils), reportez-vous à la section « Indications des témoins lumineux » (p.12).
 - Le produit émet un bip lorsque l'appairage démarre.
 2. Utilisez votre dispositif *Bluetooth* pour lancer la procédure d'appairage et rechercher le produit. Lorsque votre dispositif *Bluetooth* trouve le produit, « ATH-DSR9BT » s'affiche sur le dispositif.
 - Pour des informations sur le fonctionnement du dispositif *Bluetooth*, consultez son manuel de l'utilisateur.
 3. Sélectionnez « ATH-DSR9BT » pour appairer le produit et votre dispositif *Bluetooth*.
 - Certains appareils peuvent demander la saisie d'un code. Dans ce cas, tapez « 0000 ». Le code peut aussi être appelé code PIN, numéro PIN, NIP ou mot de passe.
 - Le produit émet un bip une fois l'appairage terminé.



Connexion via la technologie sans fil *Bluetooth*

Utilisation de NFC lors de l'appairage

NFC (Near Field Communication) est une technologie permettant la communication sans fil à courte distance entre différents appareils, comme des téléphones mobiles et des balises IC. Il permet à deux appareils de communiquer lorsque vous les mettez simplement en contact l'un avec l'autre. Vous pouvez utiliser NFC pour appairer votre dispositif *Bluetooth* avec ce produit.

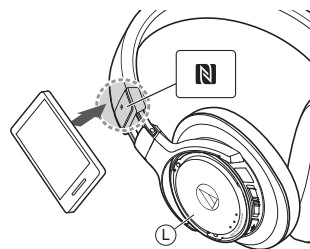
Appareils compatibles : Dispositifs *Bluetooth* compatibles NFC

Système d'exploitation compatible : Android

Appairage d'un dispositif *Bluetooth* compatible NFC

Pour vérifier l'avancement du processus d'appairage, portez le produit pendant que vous effectuez cette procédure et écoutez le son.

1. Activez la fonction NFC sur votre appareil compatible NFC.
 - Reportez-vous au manuel de l'utilisateur de l'appareil compatible NFC si nécessaire.
2. Avec le produit hors tension, faites glisser le bouton d'alimentation sur la position « ON ».
3. Mettez votre appareil compatible NFC en contact avec la marque N sur le produit (voir figure à droite), puis utilisez votre appareil compatible NFC pour terminer le processus d'appairage.
 - Pour connaître l'emplacement de l'antenne NFC de votre appareil compatible NFC, ou savoir comment terminer la connexion entre le produit et vos appareils, reportez-vous au manuel de l'utilisateur de l'appareil.
 - Le produit émet un bip une fois l'appairage terminé.



Déconnexion d'un appareil

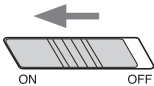
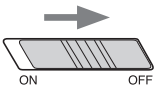
Remettez votre dispositif *Bluetooth* compatible NFC en contact avec la partie juste au-dessus de la marque N sur le produit pour déconnecter le produit du dispositif.

Utilisation du produit

Le produit peut utiliser la technologie sans fil *Bluetooth* pour se connecter à votre dispositif et lire de la musique, recevoir des appels téléphoniques, etc. Utilisez le produit selon l'objectif recherché. Veuillez noter qu'Audio-Technica ne saurait garantir le bon fonctionnement avec tous les dispositifs *Bluetooth* connectés.

Alimentation

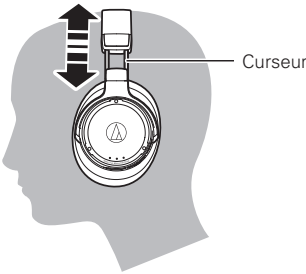
Faites glisser le bouton d'alimentation sur la position « ON » ou « OFF » .

Alimentation	Utilisation du bouton d'alimentation	Témoins lumineux ● Rouge ○ Blanc ○ Éteint		
		Indication du témoin	État de charge de la batterie	Schéma lumineux
ON*		  	Niveau de la batterie faible	Clignote toutes les 5 secondes
		  	Moins de 30 %	Les 3 témoins lumineux s'allument tous pendant 3 secondes, puis les témoins s'allument pour indiquer que le produit est en cours d'appairage.
		  	30 à 60 %	
		  	60 à 100 %	
OFF*		  	Pendant que les 3 témoins lumineux clignotent, chacun s'éteint en partant de la gauche vers la droite.	

* Si vous portez le produit sur vous, vous entendrez un bip indiquant si le produit s'allume ou s'éteint.

Porter le produit

Placez le produit sur vos oreilles avec le côté marqué « L » sur votre oreille gauche et le côté marqué « R » sur votre oreille droite, puis réglez la longueur du serre-tête en faisant glisser le curseur réglable de sorte que les coussinets d'oreille recouvrent complètement vos oreilles.



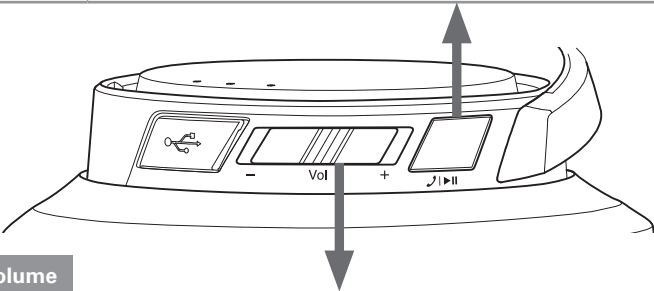
F
R

Utilisation du produit

Écouter des fichiers audio

- Pour la connexion initiale, appairez le produit et votre appareil en utilisant la technologie sans fil *Bluetooth* ou *NFC*. Si vous avez déjà appairé le produit et votre dispositif *Bluetooth*, mettez le produit sous tension, puis activez la connexion sur votre dispositif *Bluetooth*.
 - Utilisez votre dispositif *Bluetooth* pour démarrer la lecture, en vous reportant au manuel de l'utilisateur si nécessaire.
- Vous pouvez effectuer les opérations suivantes à l'aide du produit.

Contrôleur tactile	
Appuyer (1 brève pression)	Lance ou suspend la lecture de la musique et des vidéos.*1
Appuyer deux fois (2 brèves pressions)	Affiche le niveau de la batterie. Les témoins lumineux s'allument de la même manière lorsque l'appareil est sous tension.(p.8)
Appuyer longuement (1 pression longue, d'environ 4 secondes)	Selon l'appareil connecté, active la fonction de reconnaissance vocale d'un appareil (par exemple Siri pour les appareils iOS compatibles).



Contrôleur de volume		
	Glisser court	Augmente le volume par incrément de 1.*2
	Glisser long (2 secondes environ)	Lit la piste suivante.*1
	Glisser court	Diminue le volume par incrément de 1.*2
	Glisser long (2 secondes environ)	Lit la piste précédente.*1

*1 Certaines commandes peuvent ne pas être disponibles pour la lecture de musique et de vidéos sur certains smartphones.

*2 Un bip est émis à chaque fois que vous faites glisser le contrôle de volume. Un bip faible est émis lorsque le volume est à son niveau maximum ou minimum.

- Le contrôle de volume sur certains appareils peut ne pas fonctionner correctement avec le produit.

Utilisation du produit

Codecs compatibles

Le produit est compatible avec les codecs Qualcomm® aptX™ HD audio (appelé ci-après « aptX HD »), Qualcomm® aptX™ audio (appelé ci-après « aptX »), AAC et SBC. Le codec approprié sera déterminé automatiquement par le dispositif *Bluetooth* pendant le processus d'appairage.

Les témoins lumineux s'allumeront également pour indiquer le codec utilisé pour la lecture audio.

Codec de lecture	Témoins lumineux  Blanc  Bleu  Violet  Éteint			
	Indication du témoin	Schéma lumineux		
aptX HD	  	Clignote toutes les 3 secondes		
aptX	  			
AAC	  			
SBC	  			

Si le son est coupé alors que vous écoutez de la musique en utilisant le codec aptX HD, vous pourrez sans doute corriger le problème en passant à un mode incompatible avec le codec aptX HD. Le codec (aptX, AAC, SBC) utilisé après ce changement varie selon l'appareil connecté.

- **Passez à un mode incompatible avec le codec aptX HD :**
 1. L'appareil hors tension, faites glisser le bouton d'alimentation vers « ON » tout maintenant le contrôle de volume vers « - ».
 2. Affichez le niveau de la batterie en faisant glisser le bouton d'alimentation sur « ON » ou en appuyant deux fois sur le contrôleur tactile.
 - Vérifiez que le témoin lumineux correct s'allume en bleu.
- **Passez en mode normal (le mode compatible avec le codec aptX HD) :**
 1. L'appareil hors tension, faites glisser le bouton d'alimentation vers « ON » tout maintenant le contrôle de volume vers « + ».
 2. Affichez le niveau de la batterie en faisant glisser le bouton d'alimentation sur « ON » ou en appuyant deux fois sur le contrôleur tactile.
 - Vérifiez que le témoin lumineux correct s'allume en blanc (affichage de témoin lumineux normal).

Utilisation du produit

Répondre à un appel

- Si votre dispositif *Bluetooth* prend en charge les fonctions téléphoniques, vous pouvez utiliser le produit pour parler au téléphone.
- Lorsque votre dispositif *Bluetooth* reçoit un appel, le produit émet une sonnerie.
- Si vous recevez un appel alors que vous êtes en train d'écouter de la musique, la lecture de la musique est suspendue. Une fois l'appel terminé, la lecture de la musique redémarre. ^{*1}

Quand	Opération	Fonction
Réception d'un appel	Appuyer sur le contrôleur tactile	Répond à l'appel.
	Pression longue (2 secondes environ) sur le contrôleur tactile	Rejette l'appel.
Parler lors d'un appel	Appuyer deux fois sur le contrôleur tactile	Met fin à l'appel.
	Pression longue (2 secondes environ) sur le contrôleur tactile	À chaque pression longue (2 secondes environ) sur le contrôleur tactile, vous basculez l'appel sur votre dispositif <i>Bluetooth</i> ou sur le produit. ^{*2}
	Faire glisser le contrôleur de volume	Règle le volume de l'appel (+ ou -).

^{*1} Selon votre dispositif *Bluetooth*, il se peut que la lecture de la musique ne redémarre pas.

^{*2} Lorsque vous entendez un bip, relâchez le contrôleur tactile.

- Les contrôles d'appel téléphonique expliqués ci-dessus peuvent ne pas être disponibles sur certains smartphones.

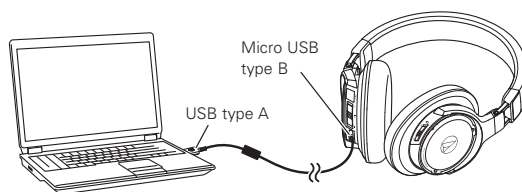
Fonction d'extinction automatique

Le produit s'éteint automatiquement au bout de 5 minutes s'il n'est pas connecté à un appareil sous tension.

Écouter de la musique via une connexion USB

Vous pouvez connecter le produit à un ordinateur et écouter de la musique d'une qualité allant jusqu'à 96 kHz/24 bits via un programme de lecture audio pendant que le produit est en cours de charge.

- Lisez le manuel de l'utilisateur de l'ordinateur.
- Même si l'ordinateur répond aux exigences indiquées dans « Caractéristiques techniques pour la connexion d'un ordinateur » (p.15), ces fonctions peuvent ne pas être opérationnelles selon le matériel et le logiciel de l'ordinateur.



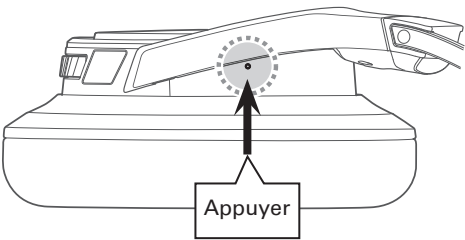
1. Connectez le câble USB fourni (côté micro USB type B) au connecteur USB du produit.
2. Branchez le câble USB fourni (côté USB type A) sur le port USB de l'ordinateur.
3. Allumez l'ordinateur.
4. Configurez l'ordinateur selon vos besoins.
 - Reportez-vous à la section « Manuel d'installation (Paramètres de l'ordinateur) » disponible sur le site Audio-Technica dans chaque pays/région (http://www.audio-technica.com/world_map/) et configurez l'ordinateur connecté en fonction de son système d'exploitation.
5. Reportez-vous à la section « Porter le produit » (p.8) et placez le produit sur votre tête.
6. Utilisez le programme de lecture de musique de votre ordinateur pour commencer à lire la musique.
 - Réglez le volume comme nécessaire à l'aide du produit, de votre ordinateur ou de votre programme de lecture de musique.
 - Le bouton d'alimentation du produit et le contrôleur tactile sont désactivés lorsque le produit est connecté à un ordinateur.
 - Le produit ne peut pas être utilisé comme casque lorsqu'il est connecté à un ordinateur.

Utilisation du produit

Fonction de réinitialisation

Si le produit ne fonctionne pas correctement ou en cas d'autres dysfonctionnements, appuyer sur le bouton de réinitialisation devrait résoudre le problème rencontré. Si le problème persiste, prenez contact avec votre revendeur local Audio-Technica. Appuyer sur le bouton de réinitialisation ne modifie pas vos paramètres (informations d'appairage, réglage du volume, etc.).

- N'utilisez pas d'outils en métal excessivement durs ou d'outils très pointus, et n'appuyez pas sur le bouton de réinitialisation avec une force excessive. Vous risqueriez de provoquer un dysfonctionnement.



FR

Indications du témoin lumineux

Les témoins lumineux du produit indiquent le statut du produit comme expliqué ci-dessous. Pour des informations sur les indications de statut de la batterie (charge) des témoins lumineux, voir la section « Recharge de la batterie » (p.5) . Pour des informations sur la manière dont les témoins lumineux indiquent le codec, voir la section « Codecs compatibles » (p.10) dans « Écouter des fichiers audio ».

Statut	Témoins lumineux ● Blanc ● Bleu ● Éteint	
	Indication du témoin	Schéma lumineux
Appairage (recherche de dispositifs)	● ● ●	Chaque témoin s'allume en partant de la droite vers la gauche → Chaque témoin s'éteint→ Chaque témoin s'allume de la gauche vers la droite → Tous les témoins s'éteignent → Le schéma se répète
En attente de connexion	● ● ●	Clignote toutes les 3 secondes
Connexion en cours	● ● ●	Chaque témoin s'allume en partant de la droite vers la gauche → Tous les témoins s'éteignent pendant 3 secondes→ Chaque témoin s'allume de la gauche vers la droite → Tous les témoins s'éteignent pendant 3 secondes → Le schéma se répète
Réception d'un appel	● ● ●	Clignote
Parler lors d'un appel	● ● ●	Clignote toutes les 3 secondes

Nettoyage

Prenez l'habitude de nettoyer régulièrement le produit pour lui assurer une longue durée de vie. N'utilisez pas d'alcool, de diluant à peinture ou d'autres solvants pour le nettoyage.

- Pour nettoyer le produit, essuyez-le avec un chiffon sec.
 - Essuyez toute trace de transpiration et autres saletés sur le câble avec un chiffon sec immédiatement après utilisation. Si vous ne nettoyez pas le câble, il risque de se détériorer et de durcir avec le temps, et de provoquer des dysfonctionnements.
 - Essuyez la fiche USB du câble avec un chiffon sec si elle est sale. Des saletés accumulées sur la fiche USB peuvent entraîner une coupure du son et générer du bruit.
 - Essuyez les coussinets d'oreille et le serre-tête avec un chiffon sec s'ils sont sales. De la transpiration ou de l'eau sur les coussinets d'oreille ou sur le serre-tête peut entraîner une décoloration. Essuyez-les avec un chiffon sec et laissez-les sécher à l'ombre.
- Si vous envisagez de ne pas utiliser le produit pendant une période prolongée, rangez-le dans un endroit bien ventilé à l'abri des températures élevées et de l'humidité.
 - Les coussinets d'oreille sont des consommables. Ils se dégraderont dans le temps suite à l'utilisation et au stockage. Remplacez-les donc dès que nécessaire. Pour des informations sur le remplacement des coussinets d'oreille ou d'autres pièces, ou pour en savoir plus sur les pièces réparables, contactez votre revendeur local Audio-Technica.

Guide de dépannage

Problème	Solution
Aucune alimentation.	Chargez le produit.
Appairage impossible.	- Confirmez que le dispositif <i>Bluetooth</i> communique à l'aide de Ver. 2.1+EDR ou supérieur. - Placez le produit et le dispositif <i>Bluetooth</i> à 1 mètre l'un de l'autre. - Réglez les profils pour le dispositif <i>Bluetooth</i>. Pour connaître les procédures de réglage des profils, reportez-vous au manuel de l'utilisateur du dispositif <i>Bluetooth</i>.
Pas de son / Son faible.	- Mettez le produit et le dispositif <i>Bluetooth</i> sous tension. - Augmentez le volume du produit et du dispositif <i>Bluetooth</i>. - Si le dispositif <i>Bluetooth</i> est réglé sur la connexion HFP/HSP, basculez sur la connexion A2DP. - Éliminez les obstacles entre le produit et le dispositif <i>Bluetooth</i> et rapprochez-les l'un de l'autre. - Commutez la sortie du dispositif <i>Bluetooth</i> sur la connexion <i>Bluetooth</i>.
Aucun son n'est émis pendant la connexion USB / Son faible.	- Assurez-vous que les paramètres de sortie audio de l'ordinateur sont corrects. - Augmentez le volume du produit, de votre ordinateur ou de votre programme de lecture de musique.
Le son est déformé / Du bruit est audible / Le son est coupé.	- Baissez le volume du produit et du dispositif <i>Bluetooth</i>. - Éloignez le produit des micro-ondes et autres appareils comme un routeur sans fil. - Éloignez le produit des téléviseurs, radios et appareils avec tuner intégré. Ces appareils peuvent également être affectés par le produit. - Désactivez les réglages de l'égaliseur du dispositif <i>Bluetooth</i>. - Éliminez les obstacles entre le produit et le dispositif <i>Bluetooth</i> et rapprochez-les l'un de l'autre.
Le son est coupé lorsque vous utilisez le codec aptX	Réglez les paramètres de votre dispositif <i>Bluetooth</i> pour désactiver le codec aptX.
Impossible d'entendre la voix du correspondant / La voix du correspondant est à un niveau trop faible.	- Mettez le produit et le dispositif <i>Bluetooth</i> sous tension. - Augmentez le volume du produit et du dispositif <i>Bluetooth</i>. - Si le produit est réglé sur la connexion A2DP, basculez sur la connexion HFP/HSP. - Commutez la sortie du dispositif <i>Bluetooth</i> sur la connexion <i>Bluetooth</i>.
Impossible d'apparier à l'aide de NFC.	- Assurez-vous que votre appareil est un dispositif <i>Bluetooth</i> compatible NFC. - Activez la fonction NFC sur votre dispositif <i>Bluetooth</i> compatible NFC. - Mettez le produit en contact avec votre dispositif <i>Bluetooth</i> compatible NFC sur le bon emplacement. - Selon le dispositif <i>Bluetooth</i> compatible NFC utilisé, la sensibilité NFC peut ne pas être assez puissante pour connecter le produit d'un simple contact. Dans ce cas, reportez-vous au manuel de l'utilisateur du dispositif <i>Bluetooth</i> compatible NFC. - Selon le dispositif <i>Bluetooth</i> compatible NFC utilisé, la réception NFC peut prendre du temps. Maintenez le produit et le dispositif <i>Bluetooth</i> compatible NFC en contact jusqu'à ce que la connexion soit établie. - Retirez le dispositif <i>Bluetooth</i> compatible NFC de son étui afin qu'il puisse communiquer via NFC.
Le contrôleur tactile ne fonctionne pas correctement.	Vérifiez que vous n'appuyez pas avec votre ongle et que l'extrémité de votre doigt n'est pas trop sèche, puis réessayez.
Le produit ne peut pas être chargé.	Assurez-vous que le câble USB fourni est bien connecté puis réessayez.

- Pour des informations sur le fonctionnement du dispositif *Bluetooth*, consultez son manuel de l'utilisateur.
- Si le problème persiste, réinitialisez le produit. Pour réinitialiser le produit, consultez la section « Fonction de réinitialisation » (p.12).

Caractéristiques techniques

Casque

Type	Dynamique fermé
Transducteur	45 mm
Sensibilité	97 dB/mW
Réponse en fréquences	5 à 45 000 Hz
Impédance	38 ohms
Prise d'entrée	Micro USB Type B

Microphone

Type	Condensateur à électret
Courbe de directivité	Omnidirectionnel
Sensibilité	-44 dB (1 V/Pa, à 1 kHz)
Réponse en fréquences	50 à 4 000 Hz

Caractéristiques techniques de la connexion *Bluetooth*

Système de communication	<i>Bluetooth</i> version 4.2
Sortie	Spécification <i>Bluetooth</i> classe de puissance 2
Portée maximale de communication	Ligne de visée : environ 10 mètres
Bande de fréquence	2,4 GHz (2,402 GHz à 2,480 GHz)
Procédé de modulation	FHSS
Profils <i>Bluetooth</i> compatibles	A2DP, AVRCP, HFP, HSP
Codecs pris en charge	Qualcomm® aptX™ HD audio, Qualcomm® aptX™ audio, AAC, SBC
Méthode de protection du contenu prise en charge	SCMS-T
Fréquences d'échantillonnage prises en charge	44.1 kHz, 48 kHz
Fréquences de bits prises en charge	16 bits, 24 bits*
Bande de transmission	20 à 20 000 Hz

*En cas d'utilisation du codec aptX HD

Caractéristiques techniques pour la connexion d'un ordinateur (environnement d'utilisation)

Ordinateur	Port USB intégré prenant en charge USB 2.0
Processeur	Processeur Intel Core 2 fonctionnant à 2,2 GHz ou plus, ou processeur AMD équivalent
RAM	2 Go ou plus pour un système d'exploitation 32 bits, 4 Go ou plus pour un système d'exploitation 64 bits
Systèmes d'exploitation pris en charge	Windows 7, Windows 8, Windows 8.1, Windows 10, Mac OS X El Capitan (10.11) • Visitez notre site Web pour les informations les plus récentes sur le produit.
Fréquences d'échantillonnage prises en charge	44.1 kHz, 48 kHz, 96 kHz
Fréquences de bits prises en charge	16 bits, 24 bits
Réponse en fréquences	5 à 45 000 Hz (pendant une lecture 24 bits, 96 kHz)

Caractéristiques techniques

Autre

Alimentation	Batterie Lithium-Polymère (LiPo) CC 3,7 V
Temps de charge	Environ 4 heures*
Autonomie	Durée de transmission continue (temps de lecture de musique) : Environ 15 heures* Durée de veille continue : Environ 1 000 heures*
Poids	Environ 315 g
Température de fonctionnement	5 °C à 40 °C
Accessoires fournis	• Câble USB (2,0 m , USB Type A, Micro USB Type B) • Étui • Pochette de protection (pour ranger les câbles)
Vendu séparément	• Coussinets d'oreille • Câble USB

* Les chiffres ci-dessus dépendent des conditions d'utilisation.

Le produit est susceptible d'être modifié sans préavis à des fins d'amélioration.

- La marque verbale et les logos *Bluetooth®* sont détenus par Bluetooth SIG, Inc. et ces marques sont utilisées sous licence par Audio-Technica Corporation. Toutes les autres marques de commerce sont la propriété de leurs détenteurs respectifs.
- Le logo « AAC » est une marque de commerce de Dolby Laboratories.
- Qualcomm est une marque commerciale de Qualcomm Incorporated, déposée aux États-Unis et dans d'autres pays, et utilisée sous autorisation.
aptX est une marque commerciale de Qualcomm Technologies International, Ltd., déposée aux États-Unis et dans d'autres pays, et utilisée sous autorisation.
- La marque N est une marque déposée ou non de NFC Forum, Inc. aux États-Unis et dans d'autres pays.
- Android™ est une marque de commerce de Google Inc.
- iOS est une marque de commerce déposée ou non de Cisco aux États-Unis et dans d'autres pays.
- Siri est une marque de commerce d'Apple Inc.

F
R

Einleitung

Vielen Dank für den Kauf dieses Audio-Technica-Produkts.
Lesen Sie diese Bedienungsanleitung vor Gebrauch des Produkts, um sicherzustellen, dass Sie es korrekt verwenden.
Bitte bewahren Sie die Anleitung für später anfallende Fragen auf.

Sicherheitsvorkehrungen

Vorsichtshinweise für das Produkt

- Verwenden Sie das Produkt nicht in der Nähe medizinischer Geräte. Funkwellen können Herzschrittmacher und medizinische elektronische Geräte stören. Verwenden Sie das Produkt nicht in medizinischen Einrichtungen.
- Wenn Sie das Produkt im Flugzeug verwenden, befolgen Sie die Anweisungen der Fluggesellschaft.
- Verwenden Sie das Produkt nicht in der Nähe von automatisch arbeitenden Vorrichtungen wie automatischen Türen und Feuermeldern. Funkwellen können die Funktion elektronischer Geräte stören und Unfälle verursachen.
- Zerlegen oder ändern Sie das Produkt nicht, und versuchen Sie auch nicht, es zu reparieren, um einen elektrischen Schlag, Funktionsstörungen oder einen Brand zu vermeiden.
- Setzen Sie das Produkt keinen starken Erschütterungen aus, um einen elektrischen Schlag, Funktionsstörungen oder einen Brand zu vermeiden.
- Benutzen Sie das Produkt nicht mit nassen Händen, um einen elektrischen Schlag oder eine Verletzung zu vermeiden.
- Trennen Sie das Produkt von einem Gerät, wenn das Produkt eine Fehlfunktion aufweist, Rauch oder Geruch austritt, Hitze oder unerwünschte Geräusche entstehen oder andere Zeichen der Beschädigung erkennbar werden. Wenden Sie sich in einem solchen Fall an Ihren örtlichen Audio-Technica-Händler.
- Lassen Sie das Produkt nicht nass werden, um einen elektrischen Schlag oder Funktionsstörungen zu vermeiden.
- Achten Sie darauf, dass keine Fremdkörper wie brennbare Materialien, Metallgegenstände oder Flüssigkeiten in das Produkt gelangen.
- Decken Sie das Produkt beim Gebrauch oder beim Aufladen nicht mit einem Tuch ab, um einen Brand oder eine Verletzung durch Überhitzung zu vermeiden.
- Wenn die Kopfhörer beim Lenken eines Fahrzeugs verwendet werden sollen, beachten Sie die betreffenden Gesetze zum Gebrauch von Mobiltelefonen und Kopfhörern.
- Benutzen Sie das Produkt nicht an Orten, wo die Nichtwahrnehmung von Umgebungsgläuschen eine ernste Gefahr darstellt (beispielsweise an Bahnübergängen, in Bahnhöfen und an Baustellen).
- Benutzen Sie die Kopfhörer niemals mit zu hoher Lautstärke, um Gehörschäden zu vermeiden. Werden die Ohren längere Zeit einem hohen Schallpegel ausgesetzt, kann dies zu zeitweiligem oder permanentem Hörverlust führen.
- Sollte der direkte Kontakt mit dem Produkt Hautreizungen verursachen, stellen Sie den Gebrauch unverzüglich ein.
- Seien Sie vorsichtig, damit Sie sich nicht zwischen Gehäuse und Bügel des Produkts einklemmen.

Vorsichtshinweise für den Akku

Das Produkt ist mit einem Akku (Lithium-Polymer-Akku) ausgestattet.

- Sollte Batterieflüssigkeit in die Augen geraten, diese nicht reiben. Spülen Sie die Augen ausgiebig mit sauberem Wasser wie Leitungswasser aus und ziehen Sie sofort einen Arzt hinzu.
- Sollte Batterieflüssigkeit auslaufen, berühren Sie diese nicht mit den bloßen Händen. Im Produkt verbleibende Flüssigkeit kann Funktionsstörungen verursachen. Wenn Batterieflüssigkeit ausläuft, wenden Sie sich an Ihren örtlichen Audio-Technica-Händler.
 - Sollte Flüssigkeit in den Mund geraten, spülen und gurgeln Sie ausgiebig mit sauberem Wasser wie Leitungswasser und ziehen Sie sofort einen Arzt hinzu.
 - Wenn Flüssigkeit auf die Haut oder ein Kleidungsstück gerät, waschen Sie die betroffene Stelle sofort mit Wasser. Sollte sich eine Hautreizung einstellen, suchen Sie einen Arzt auf.
- Der Akku darf nicht erhitzt, zerlegt, abgeändert oder durch Verbrennen entsorgt werden, um ein Auslaufen, eine Wärmeentwicklung oder ein Bersten zu vermeiden.
- Versuchen Sie nicht, mit einem Nagel ein Loch in den Akku zu bohren, schlagen Sie nicht mit einem Hammer auf den Akku und treten Sie auch nicht darauf, um eine Wärmeentwicklung, Beschädigung oder Entzündung zu vermeiden.
- Lassen Sie das Produkt nicht fallen und schützen Sie es vor starken Stößen und Schlägen, um ein Auslaufen, eine Wärmeentwicklung oder ein Bersten zu vermeiden.
- Lassen Sie den Akku nicht nass werden, um eine Wärmeentwicklung, ein Bersten oder eine Entzündung zu vermeiden.
- Der Akku darf nicht an einem der nachstehenden Orte verwendet, aufbewahrt oder gelagert werden:
 - Orte, die direktem Sonnenlicht oder hohen Temperatur- und Feuchtigkeitswerten ausgesetzt sind
 - In einem in der prallen Sonne geparkten Fahrzeug
 - In der Nähe von Wärmequellen wie HeizkörpernEs besteht ein Risiko des Auslaufens, der Wärmeentwicklung, der Explosion und verringerter Leistung.
- Laden Sie das Produkt ausschließlich mit dem im Lieferumfang enthaltenen USB-Kabel, um eine Funktionsstörung oder einen Brand zu vermeiden.
- Vergessen Sie nicht, das Gerät nach Gebrauch auszuschalten. Ein Auslaufen beruht oft auf Akkuentladung bei nicht ausgeschaltetem Gerät.
- Sie können den internen Akku dieses Produkts nicht selbst austauschen. Der Akku hat möglicherweise das Ende seiner Lebensdauer erreicht, wenn die Nutzungsdauer merklich kürzer wird, obwohl der Akku voll geladen wurde. In diesem Fall muss der Akku repariert werden. Wenden Sie sich an Ihren örtlichen Audio-Technica-Händler für Näheres zur Reparatur.
- Wenn das Produkt das Ende seiner Lebensdauer erreicht hat, ist auf korrekte Entsorgung des internen Akkus zu achten. Wenden Sie sich an Ihren örtlichen Audio-Technica-Händler, um zu erfahren, wie Sie den Akku umweltgerecht entsorgen können.

Sicherheitsvorkehrungen

Für Kunden in den USA

FCC-Hinweis

Warnung

Dieses Gerät entspricht Teil 15 der FCC-Vorschriften. Der Betrieb unterliegt den beiden folgenden Bedingungen: (1) Dieses Gerät darf keine Störungen verursachen, und (2) dieses Gerät muss empfangene Störungen tolerieren, auch wenn sie unerwünschte Auswirkungen auf den Betrieb haben.

Vorsicht

Sie werden davor gewarnt, dass jegliche nicht ausdrücklich in dieser Anleitung genehmigten Änderungen Ihre Berechtigung zum Betrieb dieses Gerätes ungültig machen könnten.

Hinweis: Dieses Gerät wurde getestet und entspricht den Grenzwerten für ein digitales Gerät der Klasse B, entsprechend Teil 15 der FCC-Vorschriften. Diese Vorschriften sind dazu bestimmt, einen angemessenen Schutz gegen Störungen in häuslichen Installationen zu bieten. Dieses Gerät erzeugt und verwendet Funkfrequenzenergie und kann solche ausstrahlen, wodurch es bei unsachgemäßer Installation und Bedienung zu Störungen des Funkverkehrs kommen kann. Es kann jedoch nicht garantiert werden, dass bei ordnungsgemäßer Installation keine Empfangsstörungen auftreten. Wenn das Gerät Störungen im Rundfunk- oder Fernsehempfang verursacht, was durch vorübergehendes Ausschalten des Geräts überprüft werden kann, versuchen Sie, die Störung durch eine oder mehrere der folgenden Maßnahmen zu beheben:

- Richten Sie die Empfangsantenne neu aus oder stellen Sie sie an einem anderen Ort auf.
- Erhöhen Sie den Abstand zwischen dem Gerät und dem Empfänger.
- Schließen Sie das Gerät und den Empfänger an getrennte Stromkreise an.
- Wenden Sie sich an den Händler oder einen erfahrenen Radio- und Fernsehtechniker für weitere Empfehlungen.

Erklärung zur HF-Exposition

Diese Sendeanlage darf nicht in Verbindung mit einer anderen Antenne oder einer anderen Sendeanlage betrieben werden. Dieses Gerät entspricht den FCC-Grenzwerten für Strahlenbelastung, die für eine nicht kontrollierte Umgebung festgelegt wurden und erfüllt die FCC-Richtlinien für die HF-Exposition. Dieses Gerät strahlt HF-Energie mit sehr niedrigem Pegel aus, der auch ohne Prüfungen der Speziellen Absorptionsrate (SAR) den Anforderungen entspricht.

Für Kunden in Kanada

IC-Strahlenbelastungserklärung

CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)

Dieses Gerät entspricht dem Standard INDUSTRY CANADA R.S.S. 247.

Der Betrieb unterliegt den folgenden Bedingungen: (1) Dieses Gerät darf keine Störungen verursachen, und (2) dieses Gerät muss empfangene Störungen tolerieren, auch wenn sie unerwünschte Auswirkungen auf den Betrieb haben.

Nach den Bestimmungen von Industry Canada darf diese Sendeanlage nur mit einer Antenne des Typs und der maximalen (oder geringeren) Verstärkung verwendet werden, die von Industry Canada für die Anlage bestätigt wurde. Um mögliche Störungen des Funkverkehrs anderer Nutzer zu verringern, muss die Art und Verstärkung der Antenne so gewählt werden, dass die Äquivalente Isotrope Strahlungsleistung (EIRP) nicht größer ist als für eine erfolgreiche Kommunikation notwendig.

Dieses Gerät entspricht den Strahlungsbelastungsgrenzen der RSS-102, die für eine nicht kontrollierte Umgebung festgelegt wurden.

D
E

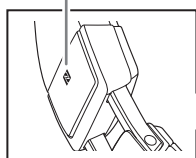
Hinweise zur Verwendung

- Lesen Sie auf jeden Fall vor der Verwendung die Bedienungsanleitung des verbundenen Geräts.
- Audio-Technica haftet in keiner Weise für den unwahrscheinlichen Fall irgendwelcher Datenverluste, die in Zusammenhang mit der Benutzung dieses Produktes entstehen.
- Halten Sie die Lautstärke in öffentlichen Verkehrsmitteln oder an anderen öffentlichen Orten niedrig, um andere Personen nicht zu stören.
- Regeln Sie die Lautstärke an Ihrem Gerät ganz herunter, bevor Sie das Produkt anschließen.
- Wenn Sie das Produkt in einer trockenen Umgebung benutzen, verspüren Sie möglicherweise ein Kribbeln in Ihren Ohren. Dies wird durch die in Ihrem Körper angesammelte statische Elektrizität verursacht und nicht durch eine Funktionsstörung des Produkts.
- Setzen Sie das Produkt keinen starken Stößen aus.
- Bewahren Sie das Produkt nicht in direktem Sonnenlicht, in der Nähe von Heizgeräten oder an heißen, feuchten oder staubigen Orten auf. Lassen Sie außerdem das Produkt nicht nass werden.
- Nach langem Gebrauch kann das Produkt Verfärbungen durch ultraviolettes Licht (insbesondere direktes Sonnenlicht) und Verschleiß aufweisen.
- Setzen Sie das Produkt keinen übermäßigen Belastungen oder Druck aus, wodurch es sich verformen könnte.
- Verwenden Sie nur das mitgelieferte Kabel. Die Leistung kann nicht garantiert werden, wenn ein anderes Kabel verwendet wird.
- Beim Anschließen und Abziehen des Kabels halten Sie dieses am Stecker und nicht am Kabel fest. Das beiliegende Kabel kann beschädigt werden oder es kann ein Unfall ausgelöst werden, wenn Sie statt am Stecker am Kabel ziehen.
- Wenn Sie das beiliegende Kabel nicht verwenden, trennen Sie es immer vom Produkt.
- Wenn Sie das Produkt nicht nutzen, bewahren Sie es in der beiliegenden Schutzhülle/Tasche auf.
- Wenden Sie keine übermäßige Kraft auf den Stecker des beiliegenden Kabels aus, wenn Sie dieses anschließen oder abziehen. Der Computer und/oder der Stecker könnten beschädigt werden.
- Schalten Sie in jedem Fall den Computer aus, bevor Sie das beiliegende Kabel anschließen oder abziehen, anderenfalls könnte der Computer eine Fehlfunktion zeigen.
- Wenn der Computer nicht richtig funktioniert oder wenn irgend ein anderes Problem auftritt, während das Produkt mit dem Computer verbunden ist, schalten Sie den Computer aus und schließen Sie das Produkt erneut an. Wenn das Problem fortbesteht, wenden Sie sich an Ihren örtlichen Audio-Technica-Händler. Der fortwährende Gebrauch des Computers könnte diesen beschädigen.
- Das Produkt unterstützt keine Audio-Daten, die durch DRM (Digital Rights Management) geschützt sind, z. B. digitale terrestrische Übertragungen.
- Dieses Produkt kann nur bei Nutzung eines Mobiltelefonnetzes zum Telefonieren verwendet werden. Die Unterstützung von Telefonie-Apps, die ein mobiles Datennetz nutzen, wird nicht garantiert.
- Wenn das Produkt in der Nähe eines elektronischen Geräts oder Senders (z. B. Mobiltelefon) verwendet wird, kann ein Rauschen zu hören sein. Vergrößern Sie in diesem Fall den Abstand zwischen dem Produkt und dem elektronischen Gerät oder Sender.
- Wenn das Produkt in der Nähe einer Fernseh- oder Radioantenne verwendet wird, kann im Fernseh- oder Radiosignal ein Rauschen zu sehen oder zu hören sein. Vergrößern Sie in diesem Fall den Abstand zwischen dem Produkt und der Fernseh- oder Radioantenne.
- Der integrierte Akku sollte zu seinem Schutz alle 6 Monate einmal frisch geladen werden. Wenn zwischen Ladevorgängen zu viel Zeit vergeht, verringert sich die Lebensdauer des integrierten Akkus, oder der aufladbare Akku lässt sich nicht mehr laden.
- Verwenden Sie einen Finger, um den Tap Controller zu bedienen. Durch Antippen oder Drücken des Tap Controllers mit einem Schreibgerät oder einem anderen spitzen Gegenstand wird nicht das gewünschte Ergebnis erzielt, und der Controller könnte verkratzt oder beschädigt werden.
- Tippen Sie nicht mit dem Fingernagel auf den Tap Controller. Der Fingernagel könnte abbrechen und es kann eine Verletzung auftreten.
- Wenn Sie den Tap Controller mehrmals antippen möchten, heben Sie vor jedem Tippen Ihren Finger einige Millimeter vom Tap Controller hoch. Wenn Sie Ihren Finger zwischen den Tippbewegungen nicht ausreichend anheben, wird das Tippen nicht immer erkannt.
- Wenn der Tap Controller nicht oder anders als erwartet auf Ihr Tippen reagiert, achten Sie darauf, dass nicht ein anderer Finger, ein Teil Ihrer Hand oder Teile Ihrer Kleidung den Tap Controller berühren. Der Tap Controller könnte auch dann nicht wie erwartet reagieren, wenn Sie Handschuhe tragen, wenn Ihre Fingerspitzen trocken sind, oder wenn die Oberfläche des Tap Controllers verschmutzt ist.

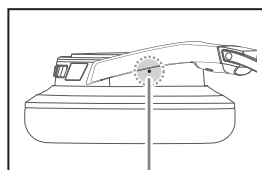
Teilebezeichnungen und Funktionen

N-Markierung

Kennzeichnet die Berührungsstelle für NFC-Erkennung.



Schieber



Reset-Taste

Verwenden Sie diese Taste, um das Produkt bei Fehlfunktion zurückzusetzen.

Links/Rechts-Markierung (L/R)

Anzeigen

Zeigen den Betriebsstatus und den Akkustand des Produkts an.

Gehäuse

Kopfbügel

Ohrpolster

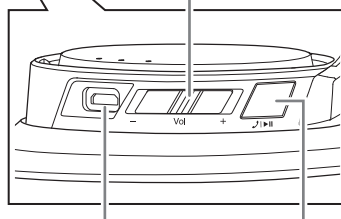
Bügel

Ein/Aus-Schalter

Zum Ein- und Ausschalten.

Lautstärkeregler

Stellt die Lautstärke ein, indem Sie ihn in Richtung + und – verschieben.



USB-Anschlussbuchse*

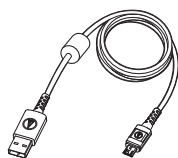
Sie können das Produkt laden, indem Sie es über das beiliegende USB-Kabel mit einem Computer verbinden. Außerdem können Sie hiermit bei Anschluss an einen Computer Audio wiedergeben.

*Es ist mit einer Abdeckung versehen.

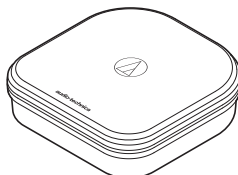
Tap Controller

Hiermit kann die Musik-/ Videowiedergabe pausiert und fortgesetzt werden, und es können Telefonanrufe angenommen oder getätigt werden.

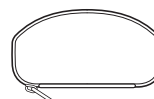
■ Mitgeliefertes Zubehör



• USB-Kabel (2,0 m)



• Schutzhülle

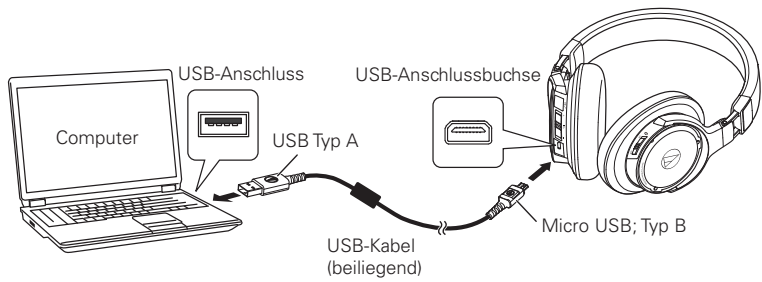


• Tasche (zur Kabelaufbewahrung)

DE

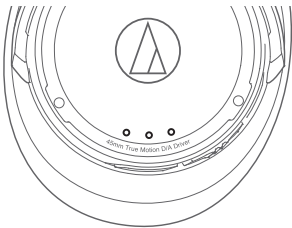
Laden des Akkus

- Laden Sie den Akku vor dem ersten Gebrauch vollständig auf.
- Wenn der Akku zur Neige geht, ertönen 2 x 2 Pieptöne über die Kopfhörer, und eine der Anzeigen blinkt rot. Sobald Sie diese Pieptöne hören, laden Sie den Akku auf.
- Es dauert etwa 4 Stunden, bis der Akku vollständig geladen ist. (Diese Zeitdauer variiert je nach den Betriebsbedingungen.)



1. Öffnen Sie die Abdeckung der USB-Anschlussbuchse.
2. Schließen Sie das beiliegende USB-Kabel (Ende mit Typ-B-Stecker; Micro USB) an der USB-Anschlussbuchse an.
 - Das beiliegende USB-Kabel ist ausschließlich für die Verwendung mit dem Produkt vorgesehen. Die Funktion dieses Kabels mit anderen Produkten kann nicht garantiert werden.
3. Schließen Sie das mitgelieferte USB-Kabel (Ende mit Typ-A-Stecker) an einen Computer an, um den Ladevorgang zu starten.
Während des Ladevorgangs leuchten die drei Anzeigen wie folgt, um die Akkurestladung anzuzeigen.

Akkurestladung	Anzeigen ● Rot ○ Weiß ○ Aus		
	Darstellung mit Hilfe der Anzeigen	Blink-/Leuchtschema	
Weniger als 30 %	○ ○ ○	Blinken	
30 bis 60 %	○ ○ ○	Nur die mittlere Anzeige blinkt	
60 bis 100 %	○ ○ ○	Nur die linke Anzeige blinkt	
Ladevorgang abgeschlossen	○ ○ ○	Leuchten	
Ladefehler	○ ○ ●	Blinkt schnell	



- Ladefehler treten bei Fehlfunktion des Akkus auf. Trennen Sie das Produkt vom Computer und wenden Sie sich an Ihren örtlichen Audio-Technica-Händler.
4. Wenn der Ladevorgang abgeschlossen ist, trennen Sie das beiliegende USB-Kabel (Ende mit Typ-A-Stecker) vom Computer.
 5. Ziehen Sie das beiliegende USB-Kabel (Ende mit Typ-B-Stecker; Micro USB) von der USB-Anschlussbuchse ab und schließen Sie die Abdeckung vollständig.

Verbindung über die kabellose **Bluetooth®**-Technologie

Anmerkungen zur Paarungsfunktion

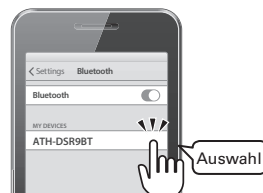
Zum Verbinden des Produkts mit einem *Bluetooth*-Gerät muss es zunächst mit dem anderen Gerät gepaart (und dort registriert) werden. Nach der Paarung ist keine erneute Paarung erforderlich. In den nachstehenden Fällen ist jedoch eine erneute Paarung notwendig:

- Wenn das Produkt aus der Verbindungshistorie des *Bluetooth*-Geräts gelöscht wird.
- Wenn das Produkt zur Reparatur gegeben wurde.
- Wenn das Produkt mit 9 oder mehr Geräten gepaart wird.

(Das Produkt kann mit maximal 8 Geräten gepaart werden. Nach der Paarung mit 8 Geräten werden beim jeweils nächsten Paarungsvorgang die Paarungsinformationen des chronologisch ältesten Geräts durch die Informationen des neuen Geräts überschrieben.)

Paaren von *Bluetooth*-Geräten

- Lesen Sie die Bedienungsanleitung des *Bluetooth*-Geräts.
 - Damit die Paarung einwandfrei arbeitet, darf das *Bluetooth*-Gerät nicht weiter als 1 Meter vom Produkt entfernt sein.
 - Um den Fortgang der Paarung verfolgen zu können, tragen Sie das Produkt, während Sie den Bedienvorgang ausführen, und hören Sie auf den Ton.
1. Stellen Sie den Ein/Aus-Schalter des ausgeschalteten Produkts auf „ON“ (Ein).
 - Für Informationen darüber, wie die Anzeigen den Paarungsvorgang anzeigen (Suche nach Geräten), lesen Sie „Anzeigefunktionen“ (S.12).
 - Das Produkt erzeugt einen Piepton, sobald die Paarung beginnt.
 2. Verwenden Sie Ihr *Bluetooth*-Gerät, um den Paarungsvorgang zu starten und nach dem Produkt zu suchen. Sobald Ihr *Bluetooth*-Gerät das Produkt findet, wird „ATH-DSR9BT“ am Gerät angezeigt.
 - Informationen zur Bedienung des *Bluetooth*-Geräts entnehmen Sie seiner Bedienungsanleitung.
 3. Wählen Sie „ATH-DSR9BT“, um das Produkt und Ihr *Bluetooth*-Gerät miteinander zu paaren.
 - Manche Geräte fordern zur Eingabe eines Passkey auf. Geben Sie in diesem Fall „0000“ ein. Andere Ausdrücke für Passkey sind Passcode, PIN-Code, PIN-Nummer oder Passwort.
 - Das Produkt erzeugt einen Piepton, sobald die Paarung abgeschlossen ist.



D
E

Verbinden über die kabellose *Bluetooth*-Technologie

Verwenden von NFC für die Paarung

NFC (Near Field Communication) ist eine Technologie, die eine kabellose Nahfeldkommunikation zwischen den verschiedensten Geräten wie Mobiltelefonen und IC-Tags ermöglicht. Sie ermöglicht eine Kommunikation durch einfaches Berühren der beiden Geräte. Sie können NFC verwenden, um Ihr *Bluetooth*-Gerät mit diesem Produkt zu paaren.

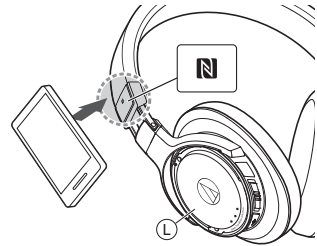
Kompatible Geräte: NFC-kompatible *Bluetooth*-Geräte

Kompatible BS: Android

Paaren mit einem NFC-kompatiblen *Bluetooth*-Gerät

Um den Fortgang der Paarung verfolgen zu können, tragen Sie das Produkt, während Sie den Bedienvorgang ausführen, und hören Sie auf den Ton.

1. Schalten Sie die NFC-Funktion Ihres NFC-kompatiblen Geräts ein.
 - Lesen Sie falls nötig die Bedienungsanleitung Ihres NFC-kompatiblen Geräts.
2. Stellen Sie den Ein/Aus-Schalter des ausgeschalteten Produkts auf „ON“ (Ein).
3. Berühren Sie Ihr NFC-kompatibles Gerät an der N-Markierung des Produkts (siehe Abbildung rechts), und bedienen Sie dann das NFC-kompatible Gerät, um den Paarungsvorgang abzuschließen.
 - Den Ort der NFC-Antenne Ihres NFC-kompatiblen Geräts sowie Informationen darüber, wie Sie die Verbindung zwischen dem Produkt und Ihren Geräten beenden können, lesen Sie nach in der Bedienungsanleitung Ihres Geräts.
 - Das Produkt erzeugt einen Piepton, sobald die Paarung abgeschlossen ist.



Trennen eines Geräts

Berühren Sie mit Ihrem NFC-kompatiblen *Bluetooth*-Gerät erneut den Punkt direkt über der N-Markierung am Produkt und trennen Sie dann die Verbindung am Gerät.

Bedienung am Produkt

Das Produkt kann die Funktechnologie *Bluetooth* nutzen, um sich mit Ihrem Gerät zu verbinden und Musik zu hören, Telefonanrufe zu tätigen usw. Verwenden Sie das Produkt wie gewünscht je nach Ihren Bedürfnissen. Beachten Sie, dass Audio-Technica keine Kompatibilität für den Betrieb mit verbundenen *Bluetooth*-Geräten garantieren kann.

Stromversorgung

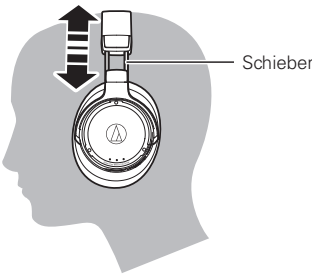
Stellen Sie den Ein/Aus-Schalter auf „ON“ oder „OFF“ (Ein/Aus).

Stromversorgung	Bedienung des Ein/ Aus-Schalters	Anzeigen  Rot  Weiß  Aus		
		Darstellung mit Hilfe der Anzeigen	Akkurestladung	Blink-/Leuchtschema
EIN*	 		Akkurestladung niedrig	Blinkt alle 5 Sekunden Alle drei Anzeigen leuchten 3 Sekunden lang, dann leuchten sie, um anzuzeigen, dass das Produkt im Paarungsvorgang begriffen ist.
			Weniger als 30 %	
			30 bis 60 %	
			60 bis 100 %	
AUS*	 		Während die drei Anzeigen blinken, werden sie von links nach rechts nacheinander ausgeschaltet.	

* Wenn Sie das Produkt tragen, hören Sie einen Piepton, der signalisiert, dass das Produkt ein- oder ausgeschaltet wird.

Aufsetzen

Setzen Sie das Produkt so auf, dass die Markierung „L“ über dem linken Ohr und die Markierung „R“ über dem rechten Ohr ist, und stellen Sie die Länge des Kopfbügels mit dem Schieber so ein, dass die Ohrpolster Ihre Ohren vollständig abdecken.



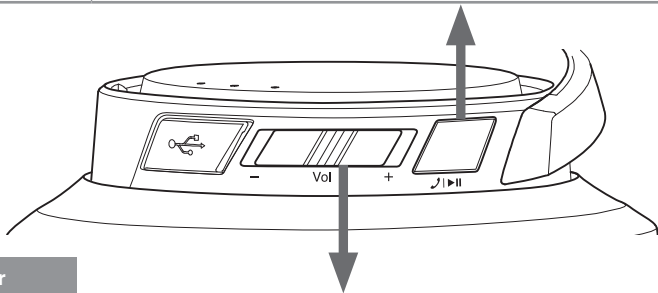
DE

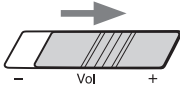
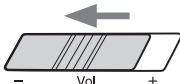
Bedienung am Produkt

Audio hören

- Für die allererste Verbindung paaren Sie das Produkt und Ihr Gerät über *Bluetooth* oder *NFC*. Wenn Sie das Produkt und das *Bluetooth*-Gerät bereits gepaart haben, schalten Sie das Produkt ein und aktivieren Sie die *Bluetooth*-Verbindung Ihres Geräts.
 - Starten Sie die Wiedergabe an Ihrem *Bluetooth*-Gerät. Beachten Sie hierfür ggf. seine Bedienungsanleitung.
- Sie können die folgenden Bedienvorgänge am Produkt ausführen.

Tap Controller	
Tippen (1 x kurz drücken)	Zum Abspielen und für Wiedergabepausen von Musik und Videos.* ¹
Doppeltippen (2 x kurz drücken)	Zeigt die Akkurestladung an. Die Anzeige leuchtet genau so wie beim Einschalten. (S.8)
Langer Tipp (1 x lang drücken, etwa 4 Sekunden)	Je nach verbundenem Gerät wird die Spracherkennungsfunktion des Geräts aufgerufen (z. B. Siri bei kompatiblen iOS-Geräten).



Lautstärkeregler		
	Kurzes Wischen	Erhöht die Lautstärke um 1 Pegelstufe.* ²
	Langes Wischen (etwa 2 Sekunden)	Startet die Wiedergabe des nächsten Titels.* ¹
	Kurzes Wischen	Verringert die Lautstärke um 1 Pegelstufe.* ²
	Langes Wischen (etwa 2 Sekunden)	Startet die Wiedergabe des vorherigen Titels.* ¹

*¹ Einige Bedienelemente sind bei bestimmten Smartphones nicht für die Audio- und Videowiedergabe verfügbar.

*² Bei jeder Betätigung des Lautstärkereglers ist ein Piepton zu hören. Ein tiefer Piepton ist zu hören, wenn die Lautstärke den maximalen oder minimalen Pegel erreicht hat.

- Die Lautstärkeregelung einiger Geräte funktioniert mit dem Produkt eventuell nicht richtig.

Bedienung am Produkt

Kompatible Codecs

Das Produkt ist kompatibel mit den Codecs Qualcomm® aptX™ HD Audio (im Folgenden „aptX HD“ genannt), Qualcomm® aptX™ Audio (im Folgenden „aptX“ genannt), AAC und SBC. Der passende Codec wird während des Paarungsvorgangs automatisch vom *Bluetooth*-Gerät ermittelt.

Die Anzeige leuchtet ebenfalls auf, um den für die Audio-Wiedergabe verwendeten Codec anzuzeigen.

Wiedergabe-Codec	Anzeigen  Weiß  Blau  Lila  Aus		
	Darstellung mit Hilfe der Anzeigen	Blink-/Leuchtschema	
aptX HD	  	Blinkt alle 3 Sekunden	
aptX	  		
AAC	  		
SBC	  		

Wenn beim Hören von Musik über den aptX-HD-Codec der Ton aussetzt, können Sie das Problem durch Umschalten auf einen Modus, der nicht mit dem aptX-HD-Codec kompatibel ist, beseitigen. Der nach dem Umschalten verwendete Codec (aptX, AAC, SBC) ist je nach angeschlossenem Gerät unterschiedlich.

- **Umschalten in einen Modus, der nicht mit dem aptX-HD-Codec kompatibel ist:**
 1. Halten Sie bei ausgeschaltetem Produkt den Lautstärkeregler in Richtung „-“, während Sie gleichzeitig den Ein/Aus-Schalter in die Stellung „ON“ schieben.
 2. Zeigen Sie die Akkurestladung an, indem Sie den Ein/Aus-Schalter auf „ON“ stellen oder den Tap Controller doppelt antippen.
 - Prüfen Sie, ob die rechte Anzeige blau leuchtet.
- **Umschalten in den normalen Modus (kompatibel mit dem aptX-HD-Codec):**
 1. Halten Sie bei ausgeschaltetem Produkt den Lautstärkeregler in Richtung „+“, während Sie gleichzeitig den Ein/Aus-Schalter in die Stellung „ON“ schieben.
 2. Zeigen Sie die Akkurestladung an, indem Sie den Ein/Aus-Schalter auf „ON“ stellen oder den Tap Controller doppelt antippen.
 - Prüfen Sie ob die rechte Anzeige weiß leuchtet (normale Farbe der Anzeige).

Bedienung am Produkt

Telefonieren

- Wenn Ihr *Bluetooth*-Gerät Telefonie unterstützt, können Sie das Produkt zum Telefonieren nutzen.
- Wenn Ihr *Bluetooth*-Gerät einen Telefonanruf erhält, ertönt ein Klingelton über das Produkt.
- Wenn ein Anruf erhalten wird, während Sie Musik hören, wird die Musikkwiedergabe auf Pause geschaltet. Wenn Sie den Anruf beendet haben, wird die Musikkwiedergabe fortgesetzt. *¹

Zeitpunkt	Bedienung	Funktion
Anruf erhalten	Tippen Sie auf den Tap Controller	Der Anruf wird entgegengenommen.
	Langer Tipp (etwa 2 Sekunden) auf dem Tap Controller	Der Anruf wird abgewiesen.
Telefongespräch	Doppeltippen auf den Tap Controller	Beendet den Anruf.
	Langer Tipp (etwa 2 Sekunden) auf dem Tap Controller	Bei jedem langen Tippen (etwa 2 Sekunden) auf den Tap Controller leiten Sie den Anruf auf Ihr <i>Bluetooth</i> -Gerät oder auf das Produkt um. * ²
	Wischen über den Lautstärkeregler	Stellt die Lautstärke für das Telefongespräch ein (+ oder -).

*¹ Je nach Ihrem *Bluetooth*-Gerät wird die Wiedergabe evtl. nicht fortgesetzt.

*² Lassen Sie den Tap Controller los, wenn ein Piepton zu hören ist.

- Die oben beschriebenen Telefonie-Bedienvorgänge sind für einige Smartphones evtl. nicht verfügbar.

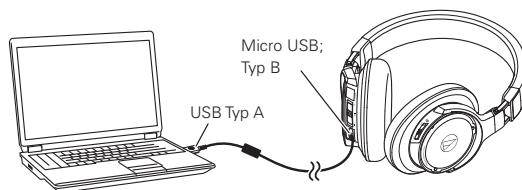
Autoabschaltfunktion

Das Produkt schaltet sich automatisch aus, wenn 5 Minuten lang keine Verbindung mit einem anderen Gerät vorliegt.

Musik hören bei aktiver USB-Verbindung

Sie können das Produkt mit einem Computer verbinden und über eine entsprechende App mit bis zu 96 kHz/24-Bit Musik hören, während das Produkt aufgeladen wird.

- Lesen Sie die Bedienungsanleitung des Computers.
- Auch dann, wenn der Computer die Anforderungen erfüllt, die unter „Technische Daten für den Anschluss an einen Computer“ (S.15) angegeben wurden, sind diese Funktionen je nach Hardware und Software des Computers nicht verfügbar.



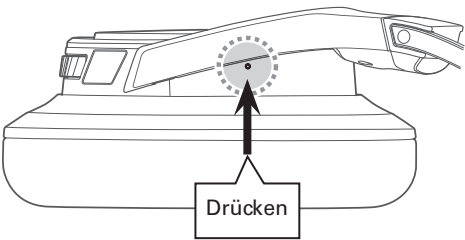
1. Schließen Sie das beiliegende USB-Kabel (Ende mit Typ-B-Stecker; Micro USB) an der USB-Anschlussbuchse des Produkts an.
2. Schließen Sie das mitgelieferte USB-Kabel (Ende mit Typ-A-Stecker) an einen Computer an.
3. Schalten Sie den Computer ein.
4. Konfigurieren Sie den Computer wie erforderlich.
 - Lesen Sie das „Setup Manual (Computer Settings)“ erhältlich auf der Website von Audio-Technica jedes Landes bzw. jeder Region (http://www.audio-technica.com/world_map/) und konfigurieren Sie den angeschlossenen Computer je nach Betriebssystem.
5. Lesen Sie „Aufsetzen“ (S.8) und setzen Sie das Produkt auf.
6. Verwenden Sie den Music Player Ihres Computers, um die Musikkwiedergabe zu starten.
 - Stellen Sie die Lautstärke am Produkt, am Computer oder in Ihrer Musikanwendung ein.
 - Der Ein/Aus-Schalter des Produkts und der Tap Controller sind deaktiviert, während das Produkt an einem Computer angeschlossen ist.
 - Das Produkt kann nicht als Headset verwendet werden, während es an einem Computer angeschlossen ist.

Bedienung am Produkt

Rücksetzfunktion

Wenn das Produkt nicht richtig funktioniert oder wenn andere Fehlfunktionen auftreten, sollten durch Drücken der Reset-Taste jegliche Probleme beseitigt werden können. Wenn das Problem fortbesteht, wenden Sie sich an Ihren örtlichen Audio-Technica-Händler. Durch Drücken der Reset-Taste werden Ihre Einstellungen (Paarungsinformationen, Lautstärkeeinstellung usw.) nicht geändert.

- Verwenden Sie keine übermäßig harten oder spitzen Metallwerkzeuge, und drücken Sie die Reset-Taste nicht zu stark. Dadurch kann es zu Funktionsstörungen kommen.



Anzeigefunktionen

DE

Die Anzeigen am Produkt zeigen seinen Zustand an, wie unten beschrieben. Informationen darüber, wie die Akkurestladung angezeigt wird, erhalten Sie unter „Laden des Akkus“ (S.5). Informationen darüber, wie der Codec angezeigt wird, erhalten Sie unter „Kompatible Codecs“ (S.10) im Abschnitt „Audio hören“.

Status	Anzeigen ● Weiß ● Blau ● Aus	
	Darstellung mit Hilfe der Anzeigen	Blink-/Leuchtschema
Paarung (Suche nach Geräten)	● ● ●	Anzeigen leuchten nacheinander von rechts nach links auf → Alle Anzeigen erlöschen → Anzeigen leuchten nacheinander von links nach rechts auf → Alle Anzeigen erlöschen → Blink-/Leuchtschema wiederholt sich
Warten auf Verbindung	● ● ●	Blinkt alle 3 Sekunden
Verbindung wird aufgebaut	● ● ●	Anzeigen leuchten nacheinander von rechts nach links auf → Alle Anzeigen erlöschen für 3 Sekunden → Anzeigen leuchten nacheinander von links nach rechts auf → Alle Anzeigen erlöschen für 3 Sekunden → Blink-/Leuchtschema wiederholt sich
Anruf erhalten	● ● ●	Blinken
Telefongespräch	● ● ●	Blinkt alle 3 Sekunden

Reinigung

Machen Sie es sich zur Gewohnheit, das Produkt regelmäßig zu säubern, damit Sie lange Zeit Freude an ihm haben. Verwenden Sie zum Säubern keine starken Reinigungsmittel wie Alkohol, Farbverdünner oder andere Lösungsmittel.

- Zur Reinigung wischen Sie das Produkt mit einem trockenen Tuch ab.
- Wischen Sie sofort nach Gebrauch mit einem trockenen Tuch Schweiß und andere Verschmutzungen vom Kabel ab. Die fortgesetzte Verwendung des mitgelieferten Kabels in nicht sauberem Zustand kann seinem Material schaden und es hart werden lassen, was Funktionsstörungen des Produkts zur Folge hat.
- Wischen Sie den USB-Stecker des Kabels mit einem trockenen Tuch ab, falls er verschmutzt ist. Wenn Sie den USB-Stecker nicht reinigen, können Aussetzer und Geräusche im Tonsignal die Folge sein.
- Wischen Sie die Ohrpolster und den Kopfbügel mit einem trockenen Tuch ab, falls diese verschmutzt sind. Schweiß oder Feuchtigkeit auf Ohrpolster und Kopfbügel können eine Verfärbung zur Folge haben. Wischen Sie diese Teile mit einem trockenen Tuch sauber und lassen Sie das Produkt im Schatten trocknen.

- Wenn das Produkt längere Zeit nicht benutzt wird, bewahren Sie es nicht unter hohen Temperaturen oder hoher Luftfeuchtigkeit auf.
- Ohrpolster sind Verschleißteile. Ihre Qualität nimmt mit der Zeit durch Gebrauch und Lagerung ab; ersetzen Sie sie daher, falls nötig. Für Einzelheiten zum Austausch von Ohrpolstern und anderen Teilen sowie Informationen über andere zu wartende Teile wenden Sie sich an Ihren örtlichen Audio-Technica-Händler.

Fehlersuche

Problem	Abhilfe
Einschalten nicht möglich.	• Laden Sie das Produkt.
Paarung nicht möglich.	• Prüfen Sie, ob das <i>Bluetooth</i>-Gerät mit Version 2.1+EDR oder höher kommuniziert. • Positionieren Sie das Produkt innerhalb von 1 m Abstand zum <i>Bluetooth</i>-Gerät. • Stellen Sie die Profile für das <i>Bluetooth</i>-Gerät ein. Für die Bedienvorgänge zur Einstellung von Profilen beachten Sie bitte die Bedienungsanleitung des <i>Bluetooth</i>-Geräts.
Keine / schwache Tonwiedergabe.	• Schalten Sie das Produkt und das <i>Bluetooth</i>-Gerät ein. • Heben Sie die Lautstärke am Produkt und am <i>Bluetooth</i>-Gerät an. • Wenn das <i>Bluetooth</i>-Gerät auf HFP/HSP-Verbindung eingestellt ist, schalten Sie auf A2DP-Verbindung um. • Entfernen Sie Hindernisse zwischen Produkt und <i>Bluetooth</i>-Gerät und bringen Sie beide näher zusammen. • Schalten Sie die Ausgabe des <i>Bluetooth</i>-Geräts auf <i>Bluetooth</i>-Verbindung um.
Keine / schwache Tonwiedergabe bei USB-Verbindung.	• Vergewissern Sie sich, dass die Audio-Ausgabe-Einstellungen des Computers richtig sind. • Heben Sie die Lautstärke am Produkt, am Computer oder in Ihrer Musikanwendung an.
Verzerrungen / Rauschen / Aussetzer	• Senken Sie die Lautstärke am Produkt und am <i>Bluetooth</i>-Gerät. • Halten Sie das Produkt von Mikrowellenherden und anderen Geräten wie WLAN-Routern usw. fern. • Halten Sie das Produkt von Fernsehgeräten, Radios und anderen Geräten mit Rundfunkempfängern fern. Diese Geräte können auch durch das Produkt beeinträchtigt werden. • Schalten Sie die Equalizer-Einstellungen des <i>Bluetooth</i>-Geräts aus. • Entfernen Sie Hindernisse zwischen Produkt und <i>Bluetooth</i>-Gerät und bringen Sie beide näher zusammen.
Der Ton setzt aus, wenn der aptX-Codec verwendet wird	• Stellen Sie das <i>Bluetooth</i>-Gerät so ein, dass der aptX-Codec nicht aktiv ist.
Die Stimme des Anrufers ist nicht / nur schwach zu hören.	• Schalten Sie das Produkt und das <i>Bluetooth</i>-Gerät ein. • Heben Sie die Lautstärke am Produkt und am <i>Bluetooth</i>-Gerät an. • Wenn das Produkt auf A2DP-Verbindung eingestellt ist, schalten Sie auf HFP/HSP-Verbindung um. • Schalten Sie die Ausgabe des <i>Bluetooth</i>-Geräts auf <i>Bluetooth</i>-Verbindung um.
Paarung über NFC nicht möglich.	• Achten Sie darauf, ein NFC-kompatibles <i>Bluetooth</i>-Gerät zu verwenden. • Schalten Sie die NFC-Funktion Ihres NFC-kompatiblen <i>Bluetooth</i>-Geräts ein. • Berühren Sie die richtige Stelle des NFC-kompatiblen <i>Bluetooth</i>-Geräts mit dem Produkt. • Je nach dem verwendeten NFC-kompatiblen <i>Bluetooth</i>-Gerät reicht möglicherweise die NFC-Empfindlichkeit nicht aus, um durch eine einzige Berührung eine Verbindung mit dem Produkt herzustellen. In diesem Fall lesen Sie die Bedienungsanleitung des NFC-kompatiblen <i>Bluetooth</i>-Geräts. • Je nach dem verwendeten NFC-kompatiblen <i>Bluetooth</i>-Gerät kann mehr Zeit für die NFC-Kommunikation erforderlich sein. Halten Sie die Berührung zwischen Produkt und NFC-kompatiblen <i>Bluetooth</i>-Gerät aufrecht, bis der Verbindungsaufbau abgeschlossen ist. • Nehmen Sie das NFC-kompatible <i>Bluetooth</i>-Gerät aus der Verpackung/Schutzhülle, so dass es über NFC kommunizieren kann.
Der Tap Controller funktioniert nicht richtig.	• Achten Sie darauf, den Controller nicht mit Ihren Fingernägeln zu berühren, und dass Ihre Fingerspitzen nicht zu trocken sind, und versuchen Sie es noch einmal.
Das Produkt kann nicht geladen werden.	• Achten Sie darauf, dass das USB-Kabel fest angeschlossen ist und versuchen Sie es dann noch einmal.

- Näheres zur Bedienung Ihres *Bluetooth*-Geräts entnehmen Sie seiner Bedienungsanleitung.
- Sollte das Problem weiterhin bestehen, setzen Sie das Produkt zurück. Zum Zurücksetzen des Produkts lesen Sie den Abschnitt „Rücksetzfunktion“ (S. 12).

Technische Daten

Kopfhörer

Typ	Geschlossen, dynamisch
Treiber	45 mm
Empfindlichkeit	97 dB/mW
Frequenzgang	5 bis 45.000 Hz
Impedanz	38 Ohm
Eingangsbuchse	Micro USB; Typ B

Mikrofon

Typ	Elektret-Kondensator
Richtcharakteristik	Omnidirektional
Empfindlichkeit	-44 dB (1 V/Pa bei 1 kHz)
Frequenzgang	50 bis 4000 Hz

Technische Daten für die Bluetooth-Verbindung

Kommunikationssystem	Bluetooth Version 4.2
Ausgang	Bluetooth Spezifikation Leistungsklasse 2
Maximale Kommunikationsreichweite	Sichtlinie – ca. 10 m
Frequenzband	2,4 GHz (2,402 GHz bis 2,480 GHz)
Modulationsverfahren	FHSS
Unterstützte Bluetooth-Profile	A2DP, AVRCP, HFP, HSP
Unterstützte Codecs	Qualcomm® aptX™-HD-Audio, Qualcomm® aptX™-Audio, AAC, SBC
Unterstütztes Inhaltsschutzverfahren	SCMS-T
Unterstützte Sampling-Raten	44,1 kHz bis 48 kHz
Unterstützte Bit-Raten	16-Bit, 24-Bit*
Übertragungsband	20 bis 20.000 Hz

*Bei Verwendung des aptX-HD-Codecs

Technische Daten für den Anschluss an einen Computer (Betriebsumgebung)

Computer	Integrierter USB-Anschluss mit USB-2.0-Unterstützung
CPU	Intel Core 2 Prozessor mit 2,2 GHz oder schneller, oder gleichwertiger AMD-Prozessor
RAM	2 GB oder mehr für 32-Bit-BS, 4 GB oder mehr für 64-Bit-BS
Unterstützte Betriebssysteme	Windows 7, Windows 8, Windows 8.1, Windows 10, Mac OS X El Capitan (10.11) • Besuchen Sie unsere Website für neueste Informationen über das Produkt.
Unterstützte Sampling-Raten	44,1 kHz, 48 kHz, 96 kHz
Unterstützte Bit-Raten	16-Bit, 24-Bit
Frequenzgang	5 bis 45.000 Hz (bei Wiedergabe mit 24-Bit, 96 kHz)

Technische Daten

Sonstiges

Stromversorgung	Lithium-Polymer-Akku, DC 3,7 V
Ladezeit	Ca. 4 Stunden*
Betriebszeit	Dauerübertragung (Musikwiedergabe): Ca. 15 Stunden* Durchgehend im Standby: Ca. 1.000 Stunden*
Gewicht	Ca. 315 g
Betriebstemperatur	5°C bis 40°C
Mitgeliefertes Zubehör	• USB-Kabel (2,0 m , USB Typ A, Micro USB Typ B) • Schutzhülle • Tasche (zur Kabelaufbewahrung)
Separat erhältlich	• Ohrpolster • USB-Kabel

* Die obigen Angaben sind vom Betriebszustand abhängig.

Änderungen an technischen Daten bleiben zum Zwecke der Produktverbesserung ohne vorherige Ankündigung vorbehalten.

DE

- Die *Bluetooth®*-Wortmarke und -Logos sind Eigentum von Bluetooth SIG, Inc., und die Nutzung dieser Marken durch Audio-Technica Corporation erfolgt unter Lizenz. Alle anderen Markenzeichen sind Eigentum der jeweiligen Inhaber.
- Das Logo „AAC“ ist ein Markenzeichen der Dolby Laboratories.
- Qualcomm ist ein Warenzeichen der Qualcomm Incorporated, registriert in den USA und anderen Ländern, verwendet mit Genehmigung. aptX ist ein Warenzeichen der Qualcomm Incorporated, registriert in den USA und anderen Ländern, verwendet mit Genehmigung.
- Die N-Markierung ist ein Markenzeichen oder eingetragenes Markenzeichen von NFC Forum, Inc. in den Vereinigten Staaten und anderen Ländern.
- Android™ ist ein Warenzeichen von Google Inc.
- iOS ist ein Markenzeichen oder eingetragenes Markenzeichen von Cisco in den USA und anderen Ländern.
- Siri ist ein Markenzeichen von Apple Inc.

Introduzione

Grazie per aver scelto questo prodotto Audio-Technica.

Prima dell'uso, leggere attentamente il presente manuale dell'utente per assicurarsi di utilizzare correttamente il prodotto. Conservare il manuale per qualsiasi riferimento futuro.

Precauzioni di sicurezza

Precauzioni nell'utilizzo del prodotto

- Non utilizzare il prodotto in prossimità di apparecchiature mediche. Le onde radio possono avere effetti sui pacemaker cardiaci e sulle apparecchiature elettromedicali. Non utilizzare il prodotto all'interno di strutture mediche.
- Per l'utilizzo su aeromobili, seguire le istruzioni ivi fornite.
- Non utilizzare il prodotto in prossimità di dispositivi di controllo automatico come porte automatiche o allarmi antincendio. Le onde radio possono avere effetti sulle apparecchiature elettroniche e provocare incidenti dovuti a malfunzionamento.
- Non smontare, modificare o tentare di riparare il prodotto per evitare scosse elettriche, malfunzionamenti o incendi.
- Evitare di esporre il prodotto a forti urti che potrebbero causare scariche elettriche, malfunzionamenti o incendi.
- Non manipolare il prodotto con le mani bagnate, in quanto sussiste il rischio di scosse elettriche o lesioni.
- Scollegare il prodotto dal dispositivo collegato qualora si verifichi un malfunzionamento che produca fumo, odori inusuali, calore eccessivo, rumori e qualsiasi altro segno che indichi un guasto. In tal caso, contattare il rivenditore autorizzato Audio-Technica locale.
- Non lasciare che il prodotto si bagni, poiché sussiste il rischio di scosse elettriche o malfunzionamenti.
- Non introdurre all'interno del prodotto corpi estranei quali materiali combustibili, metalli o liquidi.
- Per evitare incendi o lesioni da surriscaldamento, non coprire il prodotto con un panno.
- Attenersi alle leggi in vigore relative all'utilizzo dei telefoni cellulari e delle cuffie se si utilizzano le cuffie durante la guida.
- Non utilizzare il prodotto in luoghi in cui l'impossibilità di udire i suoni ambientali rappresenti un serio rischio (ad esempio quando ci si trova in prossimità di un attraversamento ferroviario, in stazioni ferroviarie o cantieri edili).
- Per evitare danni all'udito, non alzare eccessivamente il volume. L'ascolto di suoni a volume troppo elevato per un periodo prolungato potrebbe causare una perdita dell'udito temporanea o permanente.
- Interrompere l'uso se insorgono irritazioni cutanee dovute al contatto diretto con il prodotto.
- Prestare attenzione per evitare di pizzicarsi tra l'alloggiamento e il braccio del prodotto.

Precauzioni per la batteria ricaricabile

Il prodotto è munito di una batteria ricaricabile (batteria ai polimeri di litio).

- Se il fluido della batteria penetra negli occhi, non sfregarli. Sciacquarli accuratamente con acqua pulita, ad esempio acqua del rubinetto, e consultare immediatamente un medico.
- Se il fluido della batteria fuoriesce, non toccarlo a mani nude. Se il fluido resta all'interno del prodotto, potrebbe causare malfunzionamenti. Se il fluido della batteria fuoriesce, contattare il rivenditore autorizzato Audio-Technica locale.
 - Se il fluido penetra in bocca, sciacquare con acqua pulita, ad esempio acqua del rubinetto, e consultare immediatamente un medico.
 - Se la pelle o gli indumenti entrano in contatto con il fluido, lavare immediatamente le parti interessate con acqua. Se insorge un'irritazione cutanea, consultare un medico.
- Non scaldare, smontare, modificare la batteria, né smaltirla bruciandola, per evitare perdite, generazione di calore o esplosioni.
- Non tentare di forare con un chiodo, martellare o calpestare la batteria per evitare generazione di calore, danni o accensione.
- Non far cadere il prodotto né sottoporlo a forti impatti per evitare perdite, generazione di calore o esplosioni.
- Non bagnare la batteria per evitare la generazione di calore, esplosioni o accensione.
- Non utilizzare, lasciare o conservare la batteria nei seguenti luoghi:
 - Ambienti esposti alla luce diretta del sole o a temperature elevate e umidità
 - Interni di un'automobile sotto il sole cocente
 - In prossimità di fonti di calore quali diffusori d'aria caldaEsiste il rischio di perdite, generazione di calore, esplosione e riduzione delle prestazioni.
- Per evitare malfunzionamenti o incendi, ricaricare solo con il cavo USB incluso.
- Assicurarsi di spegnere il dispositivo dopo averlo utilizzato. Le perdite spesso si verificano a causa dell'esaurimento della batteria conseguente a un mancato spegnimento del dispositivo.
- La batteria ricaricabile interna di questo prodotto non può essere sostituita dall'utente. La batteria potrebbe aver raggiunto la fine della sua durata utile se il tempo di utilizzo diventa significativamente minore anche dopo una carica completa. In questo caso, la batteria deve essere riparata. Contattare il rivenditore autorizzato Audio-Technica locale per la procedura di riparazione.
- Quando il prodotto è smaltito, è necessario scartare correttamente la batteria ricaricabile incorporata. Contattare il rivenditore autorizzato Audio-Technica locale per i dettagli su come smaltire adeguatamente la batteria.

Precauzioni di sicurezza

Per gli utenti USA

Avviso FCC

Avvertenza

Questo dispositivo è conforme alla Sezione 15 della normativa FCC. Il suo funzionamento è soggetto alle seguenti due condizioni: (1) Il dispositivo non deve causare interferenze nocive e, (2) il dispositivo deve accettare le interferenze ricevute, incluse quelle che potrebbero causarne un funzionamento non corretto.

Attenzione

Qualsiasi modifica apportata al prodotto dall'utente non espressamente approvata o descritta nel presente manuale può invalidarne i diritti d'uso.

Nota: Questo dispositivo è stato testato e trovato conforme ai limiti stabiliti per i dispositivi digitali di Classe B, in base a quanto descritto nella Sezione 15 della normativa FCC. Questi limiti sono stati stabiliti per offrire un ragionevole grado di protezione contro le interferenze nocive in aree residenziali. Questo dispositivo genera, utilizza e può emettere energia sotto forma di radio frequenze e, se non installato secondo le istruzioni, potrebbe causare interferenze nocive alle comunicazioni radio. Non vi è, tuttavia, alcuna garanzia che tali interferenze non si verifichino in particolari situazioni. Nel caso in cui il dispositivo dovesse interferire con la ricezione di segnali radio o televisivi, il che può essere accertato spegnendo e riaccendendo l'unità, l'utente è invitato ad adottare una o più delle seguenti contromisure:

- Riorientare o spostare l'antenna ricevente.
- Incrementare la distanza tra il dispositivo e l'apparecchio ricevitore.
- Collegare il dispositivo a una presa di corrente diversa da quella a cui è stato connesso l'apparecchio ricevente.
- Consultare il rivenditore e/o un tecnico specializzato radio/TV per assistenza.

Dichiarazione relativa all'esposizione alle RF

Il presente trasmettitore non deve essere posizionato o utilizzato insieme ad altre antenne o trasmettitori impiegati in altri sistemi. Il presente dispositivo è conforme ai limiti stabiliti per l'esposizione alle radiazioni di RF (Radio Frequenza) in ambiente non controllato secondo quanto indicato dalla normativa FCC, rispettandone di base le linee guida fissate. Il presente dispositivo emette energia sotto forma di RF a livelli molto bassi, tali da non dover richiedere il test sul tasso di assorbimento specifico (SAR).

Per utenti del Canada

Dichiarazione IC

CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)

Il presente dispositivo è conforme alla norma INDUSTRY CANADA R.S.S. 247.

Il suo funzionamento è soggetto alle seguenti condizioni: (1) Il dispositivo non deve causare interferenze nocive e, (2) il dispositivo deve accettare le interferenze ricevute, incluse quelle che potrebbero causarne un funzionamento non corretto.

In base a quanto stabilito dalle norme canadesi, il presente trasmettitore radio deve essere utilizzato con un'antenna del tipo e dal guadagno massimo (o inferiore) approvata da Industry Canada. Per ridurre le potenziali interferenze ad altri utenti, si raccomanda di scegliere un'antenna con un guadagno tale che la potenza isotropica irradiata equivalente (e.i.r.p.) non superi quella strettamente necessaria alla comunicazione.

Questo dispositivo è conforme ai limiti stabiliti dalle specifiche RSS-102 relative all'esposizione alle radiazioni in ambienti non controllati.



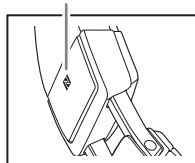
Note sull'utilizzo

- Prima dell'utilizzo, assicurarsi di aver letto il manuale dell'utente relativo al dispositivo collegato.
- Audio-Technica non sarà responsabile in alcun modo di eventuali perdite di dati, nell'improbabile caso in cui queste ultime si verificino durante l'utilizzo del prodotto.
- Sui mezzi pubblici o in altri luoghi pubblici, tenere il volume basso per evitare di disturbare gli altri.
- Abbassare il volume del dispositivo al minimo prima di collegare il prodotto.
- Quando si utilizza il prodotto in un ambiente secco, si potrebbe avvertire un formicolio alle orecchie. Ciò è dovuto all'elettricità statica accumulata sul corpo, non a un malfunzionamento del prodotto.
- Evitare di sottoporre il prodotto a forti impatti.
- Non conservare il prodotto alla luce diretta del sole, in prossimità di dispositivi in grado di generare calore o in ambienti caldi, umidi o polverosi. Inoltre, evitare che il prodotto entri a contatto con l'acqua.
- Quando il prodotto viene utilizzato per un periodo prolungato, può scolorirsi a causa della luce ultravioletta (soprattutto la luce diretta del sole) e dell'usura.
- Non esporre il prodotto a eccessivo stress strutturale né sottoporlo a pressione, in quanto ciò potrebbe causare deformazioni.
- Utilizzare esclusivamente il cavo incluso. L'utilizzo di altri cavi potrebbe impedirne il corretto funzionamento.
- Assicurarsi di afferrare lo spinotto quando si inserisce o si scollega il cavo incluso. In caso contrario, ossia tirando il cavo, è possibile danneggiare le connessioni interne o causare incidenti.
- Scollegare il cavo incluso quando non si intende utilizzare il prodotto.
- Riporre il prodotto nell'apposita custodia/sacca quando non lo si intende utilizzare.
- Non sottoporre a eccessivo stress lo spinotto del cavo incluso quando lo si collega o durante l'utilizzo del cavo. Esiste il rischio di danneggiare il computer e lo spinotto.
- Assicurarsi di spegnere il computer prima di collegare o scollegare il cavo incluso; in caso contrario è possibile causare un malfunzionamento del computer.
- Se il computer non funziona correttamente o se si verificano altri problemi mentre il prodotto è a questo connesso, spegnere il computer e ricollegare il prodotto. Se il problema dovesse persistere, contattare il rivenditore autorizzato Audio-Technica locale. Continuando a utilizzare il computer potrebbero verificarsi dei danni all'elaboratore.
- Il prodotto non è compatibile con audio protetto dalla normativa DRM (Digital Rights Management), come ad esempio le trasmissioni del digitale terrestre.
- Il prodotto può essere utilizzato per le chiamate telefoniche solo sfruttando le reti cellulari. Non è garantita la compatibilità con le app telefoniche che funzionano utilizzando la rete dati.
- Se si utilizza il prodotto in prossimità di un dispositivo elettronico o di un trasmettitore (ad esempio un telefono cellulare), è possibile che si generino delle interferenze. In questo caso, allontanare il prodotto dal dispositivo elettronico o dal trasmettitore.
- Se si utilizza il prodotto in prossimità di un'antenna TV o radio, è possibile che tali apparecchi generino interferenze. In questo caso, allontanare il prodotto dall'antenna TV o radio.
- Per proteggere la batteria ricaricabile incorporata, ricaricarla almeno una volta ogni 6 mesi. Lasciando passare troppo tempo tra una ricarica e l'altra, il ciclo di vita della batteria ricaricabile potrebbe ridursi, oppure la batteria ricaricabile potrebbe non ricaricarsi più.
- Premere il tasto di controllo utilizzando un dito. Il tasto di controllo potrebbe non rispondere a pressioni effettuate con una penna, una matita o altro oggetto appuntito; inoltre, ciò potrebbe causare graffi e danni alla superficie del tasto stesso.
- Evitare di premere il tasto di controllo con la sola unghia del dito, in quanto ciò potrebbe causare la rottura dell'unghia e lesioni.
- Nel caso di utilizzo ripetuto del tasto di controllo, sollevare il dito di qualche millimetro prima di ogni pressione. Tenendo il dito sempre a contatto, il tasto di controllo potrebbe non riconoscere le singole pressioni e non rispondere adeguatamente.
- Nel caso in cui il tasto di controllo non risponda correttamente alle diverse pressioni, assicurarsi che nessun altro dito, parte della mano o di un indumento sia a contatto col tasto. Inoltre, il tasto di controllo potrebbe non rispondere come previsto nel caso in cui si stia indossando un guanto, oppure quando la punta delle dita è estremamente asciutta o la superficie del tasto è sporca.

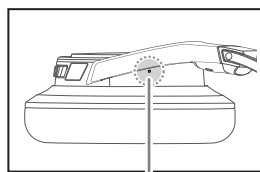
Nomi e funzioni dei componenti

N-Mark

Mostra la posizione per la rilevazione NFC.



Cursore



Pulsante di ripristino

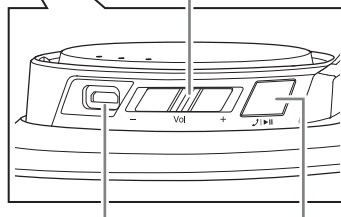
Da utilizzare per ripristinare le impostazioni del prodotto in caso di un malfunzionamento.

Alloggiamento

Indicatore di sinistra/
destra (L/R)

Indicatori

Consentono di visualizzare lo stato operativo del prodotto e la carica della batteria.



Archetto

Padiglione

Braccio

Interruttore di alimentazione

Consente di accendere e spegnere il prodotto.

Controllo di volume

Aumenta o diminuisce il volume quando lo si fa scorrere rispettivamente verso + e -.

Jack di collegamento USB*

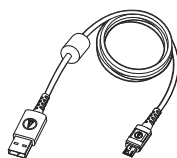
Permette di ricaricare il prodotto collegandolo a un computer tramite il cavo USB incluso. Inoltre, permette di ascoltare audio riprodotto dal computer.

*È dotato di un piccolo coperchio.

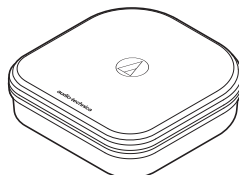
Tasto di controllo

Permette di riprodurre o porre in pausa la musica e i video, e di effettuare chiamate telefoniche.

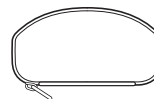
Accessori inclusi



• Cavo USB (2,0 m)



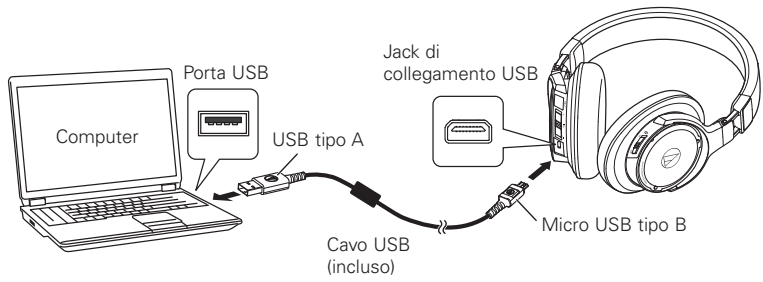
• Custodia



• Sacca (per i cavi)

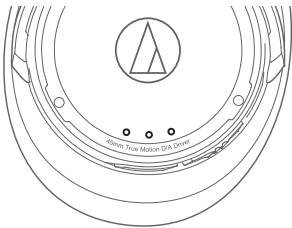
Ricarica della batteria

- Caricare completamente la batteria quando si utilizza il prodotto per la prima volta.
- In prossimità dell'esaurimento della batteria ricaricabile, il prodotto emette due serie di due avvisi acustici attraverso le cuffie, oltre a far lampeggiare in rosso un indicatore. Quando ciò si verifica, ricaricare la batteria.
- La ricarica completa della batteria richiede circa 4 ore (durata che può variare in base alle condizioni di esercizio).



1. Aprire la presa del jack connettore USB.
2. Collegare il cavo USB incluso (lato micro USB tipo B), al jack connettore USB.
 - Il cavo USB incluso deve essere utilizzato esclusivamente con questo prodotto. Non è garantita la compatibilità di questo cavo con altri prodotti.
3. Collegare il cavo USB incluso (lato USB tipo A) al computer per iniziare la ricarica.
Durante la ricarica, i tre indicatori si illuminano per segnalare il livello di carica della batteria.

Stato di carica della batteria	Indicatore ● Rosso ● Bianco ● Spento		
	Stato indicatore		Illuminazione
Inferiore al 30%	●	●	Lampeggiante
Dal 30 al 60%	●	●	Solo l'indicatore centrale lampeggia
Dal 60 al 100%	●	●	Solo l'indicatore sinistro lampeggia
Ricarica completata	●	●	Illuminati
Errore di ricarica	●	●	Lampeggiamento rapido



- Gli errori di ricarica sono causati da un malfunzionamento della batteria. Scollegare il prodotto dal computer e contattare il rivenditore autorizzato Audio-Technica locale.
4. Al completamento della ricarica, scollegare il cavo USB (lato USB tipo A) dal computer.
 5. Scollegare il cavo USB incluso (lato micro USB tipo B) dal jack connettore USB e richiudere la presa.

Connessione tramite tecnologia wireless *Bluetooth®*

Informazioni sull'associazione

Per collegare il prodotto a un dispositivo *Bluetooth*, è necessario prima effettuare l'associazione (ossia la registrazione). Una volta eseguita l'associazione, non è necessario ripetere l'operazione. Tuttavia, sarà necessario eseguire nuovamente l'associazione nei seguenti casi:

- Se il prodotto viene eliminato dalla cronologia di collegamento del dispositivo *Bluetooth*.
- Se il prodotto viene mandato in assistenza per la riparazione.
- Se il prodotto è associato a 9 o più dispositivi.

(Il prodotto può essere associato al massimo a 8 dispositivi; quando si associa il nono dispositivo, le informazioni di associazione per il dispositivo con la più data di collegamento meno recente saranno sovrascritte dalle informazioni per il nuovo dispositivo).

Associazione di un dispositivo *Bluetooth*

- Leggere il manuale dell'utente per il dispositivo *Bluetooth*.
 - Posizionare il dispositivo *Bluetooth* a una distanza massima di 1 m dal prodotto per effettuare correttamente l'associazione.
 - Per confermare l'avanzamento del processo di associazione, indossare il prodotto durante la procedura e prestare attenzione ai segnali acustici.
1. Con il prodotto spento, far scorrere l'interruttore di alimentazione in posizione "ON".
 - Per maggiori informazioni sull'illuminazione degli indicatori relativamente all'associazione (ricerca di dispositivi), fare riferimento a "Visualizzazione dell'indicatore" (p.12).
 - Il prodotto emette un segnale acustico all'inizio dell'associazione.
 2. Utilizzare il dispositivo *Bluetooth* per avviare il processo di associazione e la ricerca del prodotto. Sul dispositivo *Bluetooth* verrà visualizzato "ATH-DSR9BT" non appena questo avrà riconosciuto il dispositivo.
 - Per informazioni sul dispositivo *Bluetooth*, fare riferimento al rispettivo manuale dell'utente.
 3. Selezionare "ATH-DSR9BT" per associare il prodotto al dispositivo *Bluetooth*.
 - Alcuni dispositivi potrebbero richiedere una chiave di accesso. In tal caso, inserire "0000". La chiave di accesso potrebbe essere chiamata anche codice di accesso, codice PIN, numero PIN o password.
 - Il prodotto emette un segnale acustico al completamento dell'associazione.



Connessione tramite tecnologia wireless *Bluetooth*

Utilizzo della tecnologia NFC durante l'associazione

NFC (Near Field Communication, Comunicazione in prossimità) è una tecnologia che consente la comunicazione wireless a corto raggio tra vari dispositivi, come telefoni cellulari ed etichette IC. Questa tecnologia consente la comunicazione di due dispositivi semplicemente grazie al contatto. È possibile utilizzare la tecnologia NFC per associare il prodotto a un dispositivo *Bluetooth*.

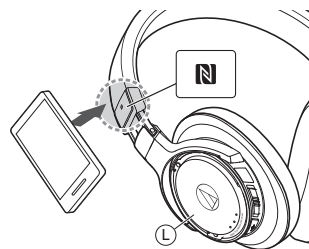
Dispositivi compatibili: Dispositivi *Bluetooth* compatibili con la tecnologia NFC

OS compatibili: Android

Associazione con dispositivi *Bluetooth* compatibili con la tecnologia NFC

Per confermare l'avanzamento del processo di associazione, indossare il prodotto durante la procedura e prestare attenzione ai segnali acustici.

1. Abilitare la tecnologia NFC sul dispositivo compatibile.
 - Se necessario, fare riferimento al manuale dell'utente del dispositivo compatibile con NFC.
2. Con il prodotto spento, far scorrere l'interruttore di alimentazione in posizione "ON".
3. Far toccare il dispositivo compatibile con NFC con l'icona N-Mark sul prodotto (vedere figura a destra), quindi utilizzare il dispositivo compatibile con NFC per completare la procedura di associazione.
 - Per conoscere la posizione dell'antenna del dispositivo compatibile con NFC, o su come terminare il collegamento tra il prodotto e il dispositivo, fare riferimento al manuale dell'utente del dispositivo.
 - Il prodotto emette un segnale acustico al completamento dell'associazione.



Scollegamento di un dispositivo

Per scollegare il prodotto dal dispositivo, far toccare nuovamente il dispositivo *Bluetooth* compatibile con la parte appena sopra l'icona N-Mark.

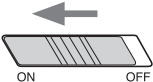
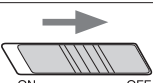
Utilizzo del prodotto

Il prodotto può utilizzare la tecnologia wireless *Bluetooth* per collegarsi a un dispositivo e riprodurre musica o effettuare chiamate telefoniche, ecc. Utilizzare il prodotto in base alle proprie esigenze.

Audio-Technica non può garantire la piena compatibilità con i dispositivi *Bluetooth* connessi.

Alimentazione elettrica

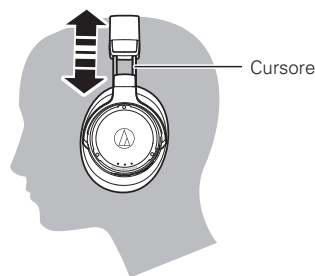
Far scorrere l'interruttore di alimentazione in posizione "ON" o "OFF".

Alimentazione elettrica	Funzionamento dell'interruttore di alimentazione	Indicatore  Rosso  Bianco  Spento		
		Stato indicatore	Stato di carica della batteria	Illuminazione
ON*		  	Livello batteria basso	Lampeggia ogni 5 secondi
		  	Inferiore al 30%	Tutti e 3 gli indicatori si illuminano per 3 secondi, quindi rimangono accesi per indicare che il prodotto è in fase di “associazione”.
		  	Dal 30 al 60%	
		  	Dal 60 al 100%	
OFF*		  	Durante il lampeggiamento, ognuno dei 3 indicatori si spegne, da sinistra verso destra.	

* Se si sta indossando il prodotto, sarà possibile udire un segnale acustico a ogni spegnimento o accensione.

Come indossare il prodotto

Posizionare il prodotto in modo tale che il lato contrassegnato da "L" ricada sull'orecchio sinistro e il lato "R" su quello destro, e adattare la lunghezza dell'archetto facendo scivolare il cursore regolabile come mostrato in figura, in modo che i padiglioni coprano completamente le orecchie.



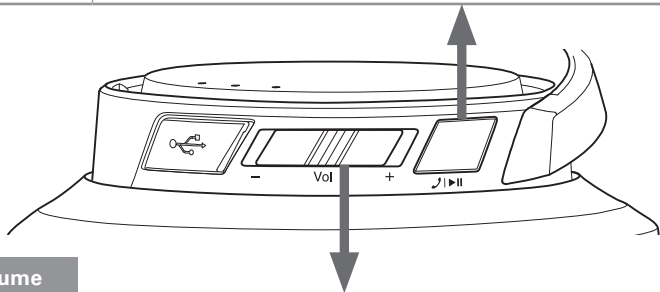
Utilizzo del prodotto

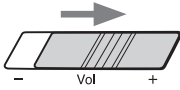
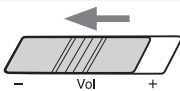
Ascolto di audio

- Per la prima connessione, associare il prodotto e il dispositivo utilizzando la tecnologia wireless *Bluetooth* oppure *NFC*. Se si è già provveduto ad associare il prodotto e il dispositivo *Bluetooth*, accendere il prodotto e attivare la connessione *Bluetooth* del dispositivo.
- Utilizzare il dispositivo *Bluetooth* per avviare la riproduzione, facendo riferimento al rispettivo manuale dell'utente se necessario.

Con il prodotto è possibile eseguire le seguenti operazioni.

Tasto di controllo	
Pressione (una breve pressione)	Riproduce o mette in pausa musica e video. *1
Doppia pressione (due brevi pressioni)	Visualizza il livello di carica della batteria. Gli indicatori si illuminano allo stesso modo di quando si accende il prodotto. (p.8)
Pressione lunga (una pressione prolungata di almeno 4 secondi)	In base al dispositivo collegato, attiva la funzione di riconoscimento vocale del dispositivo (come ad esempio Siri per i dispositivi con iOS).



Controllo di volume		
	Scorrimento breve	Incrementa il volume di un livello. *2
	Scorrimento lungo (circa 2 secondi)	Riproduce la traccia successiva. *1
	Scorrimento breve	Decrementa il volume di un livello. *2
	Scorrimento lungo (circa 2 secondi)	Riproduce la traccia precedente. *1

*1 Su alcuni smartphone potrebbe non essere possibile utilizzare alcuni comandi di riproduzione per musica e video.

*2 A ogni scorrimento del controllo di volume viene emesso un segnale acustico. Una volta giunti al volume massimo o minimo, viene emesso un segnale acustico a bassa frequenza.

- Il controllo di volume di alcuni dispositivi potrebbe non avere effetto sul prodotto.

Utilizzo del prodotto

Codec compatibili

Il prodotto è compatibile con gli standard di compressione e decompressione (codec) audio Qualcomm® aptX™ HD (di seguito indicato come “aptX HD”), Qualcomm® aptX™ (di seguito indicato come “aptX”), AAC ed SBC. Il codec appropriato viene determinato automaticamente dal dispositivo *Bluetooth* durante il processo di associazione.

L'indicatore inoltre si illumina per indicare il codec utilizzato ai fini della riproduzione audio.

Codec riproduzione	Indicatore  Bianco  Blu  Viola  Spento			
	Stato indicatore		Illuminazione	
aptX HD				Lampeggia ogni 3 secondi
aptX				
AAC				
SBC				

Nel caso in cui l'audio si interrompa durante l'ascolto della musica con il codec aptX HD, potrebbe essere possibile ovviare al problema passando a un codec incompatibile con lo standard aptX HD. Il codec (aptX, AAC, SBC) utilizzato dopo il passaggio può essere diverso, e ciò in base al dispositivo collegato.



- **Per passare a un codec incompatibile con il codec aptX HD:**
 1. Con il prodotto spento, tenere spinto il controllo di volume verso “-” e contemporaneamente far scorrere l'interruttore di alimentazione verso “ON”.
 2. Per visualizzare il livello di carica della batteria, far scorrere l'interruttore alimentazione in posizione “ON”, oppure premere due volte il tasto di controllo.
 - Verificare che l'indicatore di destra si illumini in blu.
- **Per passare alla modalità normale (compatibile con il codec aptX HD):**
 1. Con il prodotto spento, tenere spinto il controllo di volume verso “+” e contemporaneamente far scorrere l'interruttore di alimentazione verso “ON”.
 2. Per visualizzare il livello di carica della batteria, far scorrere l'interruttore alimentazione in posizione “ON”, oppure premere due volte il tasto di controllo.
 - Verificare che l'indicatore di destra si illumini in bianco (visualizzazione normale dell'indicatore).

Utilizzo del prodotto

Utilizzo con un telefono

- Il prodotto può essere utilizzato per le chiamate telefoniche, a condizione che il dispositivo *Bluetooth* sia compatibile con tali funzioni.
- Al ricevimento di una chiamata da parte del dispositivo *Bluetooth*, il prodotto riproduce una suoneria.
- Se la chiamata è ricevuta durante l'ascolto di musica, la riproduzione di questa viene temporaneamente messa in pausa. La riproduzione musicale è quindi ripristinata al termine della chiamata. ^{*1}

Quando	Operazione	Funzionamento
Ricezione di una chiamata	Premere il tasto di controllo	Risponde alla chiamata.
	Pressione lunga (circa 2 secondi) del tasto di controllo	Rifiuta la chiamata.
Durante la chiamata	Doppia pressione del tasto di controllo	Termina la chiamata.
	Pressione lunga (circa 2 secondi) del tasto di controllo	A ogni pressione prolungata (circa 2 secondi) del tasto di controllo, la chiamata passa dal dispositivo <i>Bluetooth</i> al prodotto, e viceversa. ^{*2}
	Scorrimento del controllo volume	Regola il volume (+ o -) della chiamata.

^{*1} Alcuni dispositivi *Bluetooth* potrebbero non ripristinare automaticamente la riproduzione musicale.

^{*2} Quando si sente il segnale acustico, rilasciare il tasto di controllo.

- I controlli relativi alla chiamata telefonica sopra descritti potrebbero non essere disponibili su alcuni smartphone.

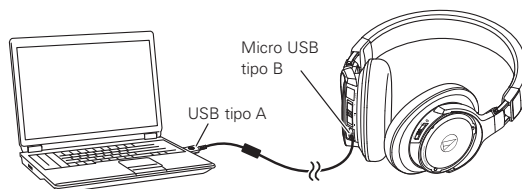
Funzione di spegnimento automatico

Il prodotto si spegne automaticamente dopo 5 minuti di mancato collegamento a un dispositivo acceso.

Ascolto della musica durante un collegamento USB

Durante il collegamento a un computer è possibile sia ricaricare il prodotto sia ascoltare audio riprodotto dal computer con una risoluzione massima di 96 kHz/24 bit.

- Leggere il manuale dell'utente per il computer.
- Anche nel caso in cui le caratteristiche del computer corrispondano a quelle richieste nell'elenco "Specifiche tecniche per il collegamento di un computer" (p.15), alcune di queste funzioni potrebbero non essere disponibili, e ciò in base alle caratteristiche hardware e software del computer stesso.



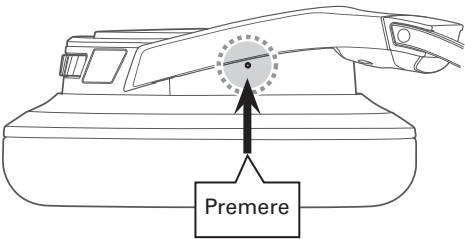
1. Collegare il cavo USB incluso (lato micro USB tipo B) al jack connettore USB del prodotto.
2. Collegare il cavo USB incluso (lato USB tipo A) alla porta USB del computer.
3. Accendere il computer.
4. Configurare il computer in base alle proprie esigenze.
 - Fare riferimento a "Manuale di Configurazione (Impostazioni del Computer)" disponibile sul sito internet Audio-Technica in ciascun paese/regione (http://www.audio-technica.com/world_map/) e configurare il computer collegato in base al rispettivo sistema operativo.
5. Fare riferimento a "Come indossare il prodotto" (p.8) e posizionare il prodotto sulla testa.
6. Utilizzare un programma del computer per riprodurre la musica.
 - Regolare il volume di ascolto agendo sul prodotto, sul computer o sul programma che consente di riprodurre la musica.
 - Durante il collegamento a un computer, l'interruttore di alimentazione e il tasto di controllo del prodotto sono disabilitati.
 - Il prodotto non può essere utilizzato come headset mentre è collegato a un computer.

Utilizzo del prodotto

Funzione di ripristino

Se il prodotto non dovesse funzionare correttamente o se dovessero verificarsi malfunzionamenti, premendo il pulsante di ripristino dovrebbe essere possibile risolvere qualsiasi problema. Se il problema dovesse persistere, contattare il rivenditore autorizzato Audio-Technica locale. La pressione del pulsante di ripristino non modifica le impostazioni dell'utente (informazioni sulle associazioni, impostazione del volume, ecc.).

- Evitare l'utilizzo di strumenti metallici molto duri o troppo appuntiti, né premere il pulsante di ripristino con eccessiva forza. In caso contrario potrebbero verificarsi malfunzionamenti.



Visualizzazione dell'indicatore

Lo stato del prodotto è mostrato dagli indicatori come di seguito descritto. Per informazioni sullo stato degli indicatori relative alla carica della batteria, consultare "Ricarica della batteria" (p.5). Per informazioni sullo stato degli indicatori relative ai codec, consultare "Codec compatibili" (p.10) nel paragrafo "Ascolto di audio".

Stato	Indicatore Bianco Blu Spento	
	Stato indicatore	Illuminazione
Associazione (ricerca di dispositivi)		Gli indicatori si illuminano uno dopo l'altro da destra verso sinistra → Tutti gli indicatori spenti → Gli indicatori si illuminano uno dopo l'altro da sinistra verso destra → Tutti gli indicatori spenti → Il pattern si ripete
Attesa del collegamento		Lampeggia ogni 3 secondi
Collegamento		Gli indicatori si illuminano uno dopo l'altro da destra verso sinistra → Tutti gli indicatori rimangono spenti per 3 secondi → Gli indicatori si illuminano uno dopo l'altro da sinistra verso destra → Tutti gli indicatori rimangono spenti per 3 secondi → La sequenza si ripete
Ricezione di una chiamata		Lampeggiante
Durante la chiamata		Lampeggia ogni 3 secondi

I
T

Pulizia

Pulire regolarmente il prodotto per garantirne una lunga durata. Per la pulizia, non utilizzare alcool, diluenti o altri solventi.

- Pulire il prodotto utilizzando un panno asciutto.
- Asportare i residui di sudore e altra sporcizia dal cavo utilizzando un panno asciutto subito dopo l'uso. La mancata pulizia del cavo può causare, col passare del tempo, fenomeni di usura e indurimento, che potrebbero provocarne il malfunzionamento.
- Pulire lo spinotto del cavo USB con un panno morbido, qualora sia sporco. La mancata pulizia dello spinotto USB può causare la perdita di segnale e la generazione di rumore.
- Pulire i padiglioni e l'archetto con un panno morbido, qualora siano sporchi. La presenza di residui di sudore o acqua sui padiglioni o l'archetto può causarne lo scolorimento. Pulire con un panno asciutto e far asciugare all'ombra.

- Se non si intende utilizzare il prodotto per un periodo di tempo prolungato, riporlo in un ambiente ben ventilato e al riparo da alte temperature e umidità.
- I padiglioni sono elementi usurabili, e col tempo e l'uso possono deteriorarsi; sostituirli non appena ciò si rende necessario. Per informazioni sulla sostituzione dei padiglioni o di altre parti, o per informazioni su altri elementi riparabili, contattare il rivenditore autorizzato Audio-Technica locale.

Risoluzione dei problemi

Problema	Soluzione
L'alimentazione è assente.	Ricaricare il prodotto.
Impossibile effettuare l'associazione.	- Verificare che il dispositivo <i>Bluetooth</i> comunichi utilizzando lo standard di trasmissione Ver. 2.1+EDR o versioni successive. - Posizionare il prodotto e il dispositivo <i>Bluetooth</i> entro un metro di distanza. - Impostare i profili per il dispositivo <i>Bluetooth</i>. Per la procedura su come impostare i profili, fare riferimento al manuale dell'utente del dispositivo <i>Bluetooth</i>.
Il suono è assente/debole.	- Accendere il prodotto e il dispositivo <i>Bluetooth</i>. - Alzare il volume del prodotto e del dispositivo <i>Bluetooth</i>. - Se il dispositivo <i>Bluetooth</i> è impostato sul collegamento HFP/HSP, passare al collegamento A2DP. - Rimuovere eventuali ostacoli tra il prodotto e il dispositivo <i>Bluetooth</i>, e avvicinarli. - Selezionare per l'uscita del dispositivo <i>Bluetooth</i> il collegamento <i>Bluetooth</i>.
Il suono è assente durante il collegamento USB/Il suono è debole.	- Assicurarsi che le impostazioni di uscita audio del computer siano corrette. - Alzare il volume di ascolto agendo sul prodotto, sul computer o sul programma che consente di riprodurre la musica.
Il suono è distorto/Si verificano interferenze/Il suono si interrompe.	- Abbassare il volume del prodotto e del dispositivo <i>Bluetooth</i>. - Tenere fuori a microonde e altri dispositivi, quali router wireless, lontani dal prodotto. - Tenere TV, radio e dispositivi con sintonizzatori integrati lontani dal prodotto. Questi dispositivi possono a loro volta essere disturbati dal prodotto. - Disattivare le impostazioni dell'equalizzatore del dispositivo <i>Bluetooth</i>. - Rimuovere eventuali ostacoli tra il prodotto e il dispositivo <i>Bluetooth</i>, e avvicinarli.
Il suono si interrompe quando si utilizza il codec aptX	Agire sulle impostazioni del dispositivo <i>Bluetooth</i> per disabilitare il codec aptX.
Impossibile udire la chiamata/La voce del chiamante è troppo bassa.	- Accendere il prodotto e il dispositivo <i>Bluetooth</i>. - Alzare il volume del prodotto e del dispositivo <i>Bluetooth</i>. - Se il prodotto è impostato sul collegamento A2DP, passare al collegamento HFS/HSP. - Selezionare per l'uscita del dispositivo <i>Bluetooth</i> il collegamento <i>Bluetooth</i>.
Impossibile eseguire l'associazione tramite NFC.	- Assicurarsi che il dispositivo sia compatibile con entrambe le tecnologie NFC e <i>Bluetooth</i>. - Abilitare la trasmissione NFC sul dispositivo <i>Bluetooth</i>. - Toccare il prodotto nella posizione corretta del dispositivo <i>Bluetooth</i> compatibile con NFC. - In base al dispositivo <i>Bluetooth</i> compatibile con la NFC che si utilizza, la sensibilità NFC potrebbe non essere abbastanza forte da far collegare il prodotto con un unico tocco. In questo caso, fare riferimento al manuale dell'utente del dispositivo <i>Bluetooth</i> compatibile con la NFC. - In base al dispositivo <i>Bluetooth</i> compatibile con la NFC che si utilizza, la ricezione tramite NFC potrebbe richiedere del tempo. Tenere in contatto il prodotto e il dispositivo <i>Bluetooth</i> compatibile con la NFC finché il collegamento non è completato. - Rimuovere il dispositivo <i>Bluetooth</i> compatibile con la NFC dalla propria custodia per facilitare la comunicazione tramite NFC.
Il tasto di controllo non funziona correttamente.	Assicurarsi di premere il tasto con l'unghia o che la punta del dito non sia troppo asciutta, quindi provare nuovamente.
Non è possibile ricaricare il prodotto.	Assicurarsi che il cavo USB incluso sia collegato in modo corretto, quindi provare nuovamente.

- Per informazioni su come utilizzare il dispositivo *Bluetooth*, fare riferimento al rispettivo manuale dell'utente.
- Se il problema persiste, ripristinare il prodotto. Per informazioni su come ripristinare il prodotto, consultare il paragrafo "Funzione di ripristino" (p.12).

Specifiche tecniche

Cuffie

Tipo	Dinamica chiusa
Driver	45 mm
Sensibilità	97 dB/mW
Risposta in frequenza	da 5 a 45.000 Hz
Impedenza	38 Ohm
Jack di ingresso	Micro USB tipo B

Microfono

Tipo	Condensatore a elettrete
Schema polare	Omnidirezionale
Sensibilità	-44 dB (1 V/Pa, a 1 kHz)
Risposta in frequenza	da 50 a 4.000 Hz

Specifiche tecniche per il collegamento *Bluetooth*

Sistema di comunicazione	<i>Bluetooth</i> versione 4.2
Uscita	<i>Bluetooth</i> Specification Power Class 2
Distanza massima di comunicazione	Visibilità diretta: circa 10 m
Banda di frequenza	2,4 GHz (da 2,402 GHz a 2,480 GHz)
Metodo di modulazione	FHSS
Profili <i>Bluetooth</i> compatibili	A2DP, AVRCP, HFP, HSP
Codec compatibili	Qualcomm® aptX™ HD audio, Qualcomm® aptX™ audio, AAC, SBC
Metodo di protezione del contenuto supportato	SCMS-T
Frequenze di campionamento compatibili	44,1 kHz e 48 kHz
Risoluzioni in bit compatibili	16 bit, 24 bit*
Banda di trasmissione	da 20 a 20.000 Hz
	*Con il codec aptX HD

Specifiche tecniche per il collegamento di un computer (ambiente operativo)

Computer	Porta USB integrata compatibile con lo standard USB 2.0
CPU	Processore Intel Core 2 da 2,2 GHz o superiore, oppure processore AMD equivalente
RAM	2 GB o maggiore per OS a 32 bit, 4 GB o maggiore per OS a 64 bit
Sistemi operativi compatibili	Windows 7, Windows 8, Windows 8.1, Windows 10, Mac OS X El Capitan (10.11) • Per le ultime novità sul prodotto, si raccomanda di visitare il sito internet ufficiale.
Frequenze di campionamento compatibili	44,1 kHz, 48 kHz, 96 kHz
Risoluzioni in bit compatibili	16 bit, 24 bit
Risposta in frequenza	da 5 a 45.000 Hz (durante la riproduzione di audio a 24 bit, 96 kHz)

Specifiche tecniche

Altro

Alimentazione elettrica	Batteria ai polimeri di litio da 3,7 V CC
Tempo di ricarica	Circa 4 ore*
Tempo di funzionamento	Durata di trasmissione continua (riproduzione di musica): Circa 15 ore* Autonomia in standby continuo: Circa 1.000 ore*
Peso	Circa 315 g
Temperatura operativa	da 5°C a 40°C
Accessori inclusi	• Cavo USB (2,0 m , USB tipo A, Micro USB tipo B) • Custodia • Sacca (per i cavi)
Venduti separatamente	• Padiglioni • Cavo USB

* Le cifre indicate sopra variano a seconda delle condizioni operative.

Ai fini del miglioramento del prodotto, quest'ultimo è soggetto a modifiche senza preavviso.

- Il marchio e i logo del termine *Bluetooth®* sono di proprietà di Bluetooth SIG, Inc., e qualsiasi utilizzo di tali marchi da parte di Audio-Technica Corporation è soggetto a licenza. Tutti gli altri marchi sono di proprietà dei rispettivi proprietari.
- Il logo "AAC" è un marchio di Dolby Laboratories.
- Qualcomm è un marchio di Qualcomm Incorporated, registrato negli Stati Uniti e in altri Paesi, utilizzato su permesso.
- aptX è un marchio di Qualcomm Technologies International, Ltd., registrato negli Stati Uniti e in altri paesi, utilizzato su permesso.
- N-Mark è un marchio o marchio registrato di NFC Forum, Inc. negli Stati Uniti e in altri Paesi.
- Android™ è un marchio di Google Inc.
- iOS è un marchio o marchio registrato di Cisco negli Stati Uniti e in altri Paesi.
- Siri è un marchio di Apple Inc.

I
T

Introducción

Le agradecemos la compra de este producto de Audio-Technica.
Antes de utilizarlo, lea este manual de usuario para asegurarse de que lo utilizará correctamente.
Conserve este manual para consultarlo en un futuro.

Advertencias de seguridad

Precauciones para el producto

- No utilice el producto cerca de equipos médicos. Las ondas de radio pueden afectar a los marcapasos y a los equipos médicos electrónicos. No utilice el producto en instalaciones médicas.
- Si utiliza el producto en un avión, siga las indicaciones del personal de la línea aérea.
- No utilice el producto cerca de dispositivos de control automático, como puertas automáticas y alarmas contra incendios. Las ondas de radio pueden afectar a los equipos electrónicos y provocar accidentes debido a los fallos de funcionamiento.
- No desmonte, modifique ni intente reparar el producto, con el fin de evitar descargas eléctricas, fallos de funcionamiento o incendios.
- No someta el producto a impactos fuertes, para evitar descargas eléctricas, fallos de funcionamiento o incendios.
- No manipule el producto con las manos mojadas, para evitar descargas eléctricas o lesiones físicas.
- Desconecte el producto de un dispositivo si empieza a funcionar incorrectamente, si emite humo, olores, calor, ruidos anormales o si muestra cualquier otro síntoma de avería. En tales casos, póngase en contacto con su distribuidor de Audio-Technica local.
- No permita que el producto se moje, para evitar descargas eléctricas o fallos de funcionamiento.
- No introduzca sustancias extrañas, como materiales combustibles, objetos metálicos o líquidos, en el producto.
- No cubra el producto con un paño para evitar incendios o lesiones por sobrecalentamiento.
- Siga la legislación aplicable al uso del teléfono móvil y los auriculares si utiliza auriculares mientras conduce.
- No utilice el producto en entornos en los que la imposibilidad de escuchar el sonido ambiente genere un riesgo grave (como cruces ferroviarios, estaciones de tren y zonas en construcción).
- No escuche a volúmenes demasiado elevados, para evitar daños en su capacidad auditiva. Escuchar un sonido demasiado alto durante un periodo de tiempo prolongado podría provocar pérdidas de audición temporales o permanentes.
- Deje de usar el producto si sufre irritación cutánea debido al contacto directo con el mismo.
- Evite los pellizcos provocados por la unión de la carcasa y el brazo del producto.

Precauciones relativas a la batería recargable

Este producto está equipado con una batería recargable (batería de polímero de litio).

- Si el fluido de la batería entra en contacto con los ojos, no se los frote. Enjuáguelos abundantemente con agua limpia, como agua del grifo, y póngase en contacto con un médico inmediatamente.
- Si se producen fugas de fluido de la batería, no toque el fluido con las manos descubiertas. Si el fluido permanece en el interior del producto, pueden producirse fallos de funcionamiento. Si se produce una fuga del fluido de la batería, póngase en contacto con su distribuidor de Audio-Technica local.
 - Si el fluido entra en contacto con su boca, haga gárgaras abundantemente con agua limpia, como agua del grifo, y póngase en contacto con un médico inmediatamente.
 - Si su piel o la ropa entran en contacto con el fluido, lave inmediatamente la piel o la ropa afectadas con agua. Si sufre irritación cutánea, póngase en contacto con un médico.
- Nunca caliente, desmonte ni modifique la batería, ni tampoco la arroje al fuego, para evitar fugas, generación de calor o explosiones.
- No intente perforar la batería con un clavo, no la golpee con un martillo ni la pise, para evitar la generación de calor, desperfectos o incendios.
- No arroje el producto ni lo someta a impactos fuertes para evitar fugas, generación de calor o explosiones.
- No humedezca la batería para evitar la generación de calor, explosiones o incendios.
- No utilice, coloque ni guarde la batería en los siguientes lugares:
 - Áreas expuestas a la luz solar directa o a altas temperaturas y humedad
 - En el interior de un coche, bajo el sol abrasador
 - Cerca de fuentes de calor como acumuladores de calorExiste riesgo de fugas, generación de calor, explosiones y disminución del rendimiento.
- Cargar solo con el cable USB incluido para evitar fallos de funcionamiento o incendios.
- Asegúrese de apagar el dispositivo después de usarlo. Las fugas suelen producirse porque la batería se agota al no haber desactivado el dispositivo.
- El usuario no puede sustituir la batería recargable interna de este producto. La batería puede haber alcanzado el final de su vida útil si el tiempo de uso pasa a ser significativamente menor incluso después de haberla cargado totalmente. En este caso, la batería deberá repararse. Consulte los detalles de la reparación con su distribuidor de Audio-Technica local.
- Al deshacerse del producto, la batería recargable integrada se debe desechar de una forma adecuada. Póngase en contacto con su distribuidor de Audio-Technica local para que le indique las instrucciones correctas para desechar la batería.

Advertencia de seguridad

Para los clientes de los Estados Unidos Aviso de la FCC

Advertencia

Este dispositivo cumple con la sección 15 de las Reglas de la FCC. El funcionamiento está sujeto a las dos condiciones siguientes: (1) Este dispositivo no debe provocar interferencias dañinas, y (2) este dispositivo debe aceptar todas las interferencias recibidas, incluidas aquellas que pudieran provocar un funcionamiento no deseado.

Precaución

Tenga en cuenta que los cambios o modificaciones no autorizados de forma expresa en este manual pueden anular la autorización de uso del equipo.

Nota: Este equipo ha sido sometido a pruebas y se ha constatado que cumple con los límites de un dispositivo digital de Clase B según lo expuesto en la sección 15 de las Reglas de la FCC. Estos límites están diseñados para proporcionar una protección razonable contra interferencias dañinas en una instalación residencial. Este equipo genera, utiliza y puede irradiar energía de radiofrecuencia y, si no se instala y utiliza según las instrucciones, puede provocar interferencias dañinas para las comunicaciones de radio. Sin embargo, no hay garantía de que no se produzcan interferencias en una instalación particular. Si este equipo provoca interferencias dañinas para la recepción de la señal de radio o televisión, situación que puede determinarse apagando y encendiendo el equipo, se recomienda al usuario que intente corregir la interferencia adoptando una o más de las siguientes medidas:

- Reoriente la antena receptora o cámbiela de lugar.
- Aumente la separación entre el equipo y el aparato receptor.
- Conecte el equipo a una toma de corriente de un circuito distinto al que está conectado el receptor.
- Solicite ayuda al distribuidor o a un técnico de radio o televisión especializado.

Declaración de exposición a radiofrecuencia

Este transmisor no debe utilizarse junto con la antena ni el transmisor que se utilicen en otros sistemas, ni tampoco colocarse cerca de tales elementos. Este dispositivo cumple con los límites de exposición a radiación impuestos por la FCC para un entorno no controlado, y cumple con las directrices de exposición a radiofrecuencia (RF) de la FCC. Este equipo genera niveles de exposición a la radiación muy bajos que se consideran compatibles sin necesidad de realizar pruebas de la tasa de absorción específica (SAR).

Para clientes de Canadá Declaración del Ministerio de Industria

CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)

Este dispositivo cumple con las normas del MINISTERIO DE INDUSTRIA DE CANADÁ R.S.S. 247.

El funcionamiento está sujeto a las condiciones siguientes: (1) Este dispositivo no debe provocar interferencias dañinas y (2) este dispositivo debe aceptar todas las interferencias recibidas, incluidas aquellas que pudieran provocar un funcionamiento no deseado.

Según las normas del Ministerio de Industria de Canadá, este transmisor de radio solo puede funcionar con una antena de un tipo y una ganancia máxima (o inferior) aprobados para el transmisor por parte del Ministerio de Industria de Canadá. Para reducir las posibles interferencias para otros usuarios, el tipo de antena y su ganancia se deben elegir de forma que la potencia isotrópica radiada equivalente no sea superior a la necesaria para que la comunicación se realice correctamente.

Este dispositivo cumple con los límites de exposición a la radiación RSS-102 para un entorno no controlado.

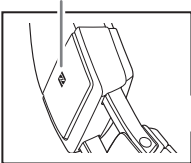
Notas sobre el uso

- Lea el manual de usuario del dispositivo conectado antes de utilizarlo.
- Audio-Technica se exime de toda la responsabilidad derivada de la pérdida de datos en el poco probable caso de que dichas pérdidas se produzcan durante el uso del producto.
- En medios de transporte público y en otros lugares públicos, mantenga el volumen a un nivel bajo para no molestar al resto de personas.
- Reduzca al mínimo el volumen del dispositivo antes de conectar el producto.
- Cuando utilice el producto en un entorno seco podría experimentar una sensación de hormigueo en las orejas. Esta sensación está provocada por la electricidad estática acumulada en su cuerpo, no por un fallo de funcionamiento del producto.
- No someta el producto a golpes fuertes.
- No guarde el producto bajo la luz solar directa, cerca de dispositivos de calefacción ni en lugares calurosos, húmedos o polvorientos. Igualmente, el producto no debe mojarse.
- Cuando el producto se usa durante un periodo de tiempo prolongado, puede decolorarse debido a la luz ultravioleta (especialmente la luz solar directa) y el desgaste.
- No someta el producto a tensiones o presiones excesivas, ya que podría deformarlo.
- Utilice únicamente el cable incluido. Si se utiliza otro cable, el rendimiento puede no ser el deseado.
- Sujete siempre el conector cuando conecte y desconecte el cable incluido. El cable incluido podría quedar cortado o podría producirse un accidente si se tira del cable en sí.
- Si no utiliza el cable incluido, desconéctelo del producto.
- Cuando no esté utilizando el producto, guárdelo en la funda/bolsa incluida.
- No aplique una tensión excesiva al conector del cable incluido cuando lo conecte o utilice. Podría dañar el ordenador y el conector.
- Desactive siempre el ordenador antes de conectar o desconectar el cable incluido, ya que de lo contrario podría no funcionar correctamente.
- Si el ordenador no funciona correctamente, o si se observa cualquier otro problema mientras el producto está conectado al ordenador, desactive el ordenador y vuelva a conectar el producto. Si el problema continúa, póngase en contacto con su distribuidor de Audio-Technica local. Si continúa utilizando el ordenador podría averiarlo.
- El producto no es compatible con audio protegido por DRM (gestión de derechos digitales), como el de las emisiones digitales terrestres.
- Este producto puede utilizarse para hablar por teléfono sólo si se utiliza una red de telefonía móvil. No puede garantizarse la compatibilidad con aplicaciones de telefonía que utilizan una red de datos móvil.
- Si utiliza el producto cerca de un dispositivo electrónico o de un transmisor (como un teléfono móvil), es posible que se escuchen ruidos. En este caso, aleje el producto del dispositivo electrónico o del transmisor.
- Si utiliza el producto cerca de una antena de radio o televisión, puede generarse ruido en la señal de televisor o de radio. En este caso, aleje el producto de la antena de radio o televisión.
- Para proteger la batería recargable, cárguela al menos una vez cada seis meses. Si deja transcurrir demasiado tiempo entre carga y carga, es posible que se reduzca la vida útil de la batería recargable o incluso que no pueda volver a cargarse.
- El controlador táctil debe utilizarse con los dedos. Si toca o pulsa el controlador táctil con un bolígrafo, lápiz u otro objeto puntiagudo es posible que no consiga el resultado deseado, y además puede rayarlo o dañarlo.
- No toque el controlador táctil con la punta de las uñas. Podría partirse la uña y lesionarse.
- Si debe tocar el controlador táctil varias veces seguidas, levante el dedo unos milímetros antes de cada pulsación. Si no levanta el dedo del controlador táctil entre cada pulsación, es posible que no se detecten las pulsaciones.
- Si el controlador táctil no responde a las pulsaciones o responde de manera diferente a la esperada, compruebe que no esté tocando el controlador con otro dedo, parte de la mano o una prenda de ropa. Igualmente, es posible que el controlador táctil no responda de la manera esperada si utiliza guantes, si tiene las puntas de los dedos muy secas o si la superficie del controlador está sucia.

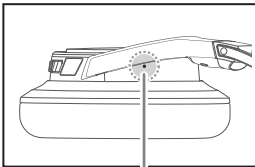
Nombres de las piezas y funciones

Marca N

Muestra la ubicación para la detección del NFC.

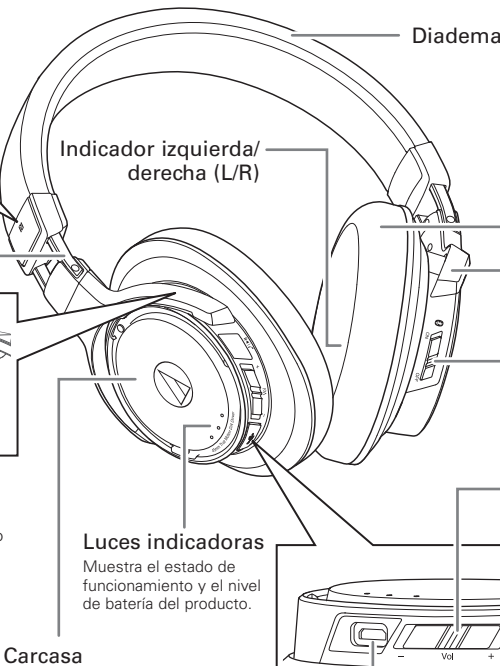


Elemento deslizante



Botón de reinicio

Utilice este botón para reiniciar el producto si no funciona correctamente.



Luces indicadoras

Muestra el estado de funcionamiento y el nivel de batería del producto.

Almohadilla

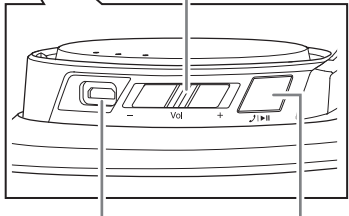
Brazo

Interruptor de alimentación

Enciende y apaga el dispositivo.

Controlador de volumen

Ajusta el volumen deslizándolo hacia las posiciones + y -.



Toma del conector USB*

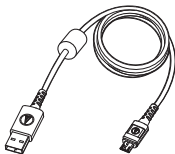
Permite cargar el producto conectándolo a un ordenador mediante el cable USB incluido. Además, le permite reproducir audio cuando está conectado a un ordenador.

*Incluye una tapa.

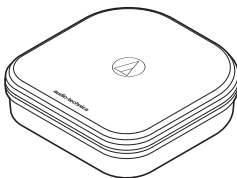
Controlador táctil

Permite reproducir o pausar música y videos, así como realizar llamadas telefónicas.

Accesorios incluidos



• Cable USB (2 m)



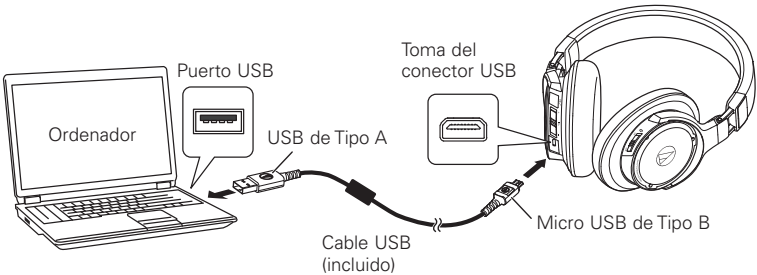
• Funda



• Bolsa (para guardar los cables)

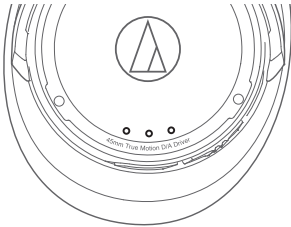
Cargar la batería

- Cargue la batería por completo antes de usar los auriculares por primera vez.
- Cuando la batería recargable se está agotando, el producto emitirá 2 conjuntos de 2 pitidos a través de los auriculares, y una luz indicadora parpadeará en rojo. Cargue la batería cuando escuche estos pitidos.
- La batería tarda unas 4 horas en cargarse por completo. (Este tiempo puede variar en función de las condiciones de uso).



1. Abra la tapa de la toma del conector USB.
2. Conecte el cable USB incluido (el extremo micro USB de Tipo B) a la toma del conector USB.
 - El cable USB incluido está diseñado para utilizarse exclusivamente con el producto. No se puede garantizar el funcionamiento de este cable con otros productos.
3. Conecte el cable USB incluido (el extremo USB de Tipo A) al ordenador para iniciar la carga.
Durante la carga, las 3 luces indicadoras se iluminan de la siguiente manera para indicar el nivel de la batería.

Estado de carga de la batería	Luces indicadoras ● Roja ● Blanca ● Apagada		
	Visualización de la luz	Patrón de la luz	
Menos del 30 %	● ● ●	Parpadea	
Del 30 al 60 %	● ● ●	Solo parpadea la luz central	
Del 60 al 100 %	● ● ●	Solo parpadea la luz izquierda	
Carga completada	● ● ●	Iluminada	
Error de carga	● ● ●	Parpadea rápidamente	



- Los errores de carga se deben a un funcionamiento incorrecto de la batería. Desconecte el producto del ordenador y póngase en contacto con su distribuidor de Audio-Technica local.
4. Una vez finalizada la carga, desconecte el cable USB incluido (el extremo USB de Tipo A) del ordenador.
 5. Desconecte el cable USB incluido (el extremo micro USB de Tipo B) de la toma del conector USB y cierre la tapa firmemente.

Conectar mediante la tecnología inalámbrica *Bluetooth®*

Acerca del emparejamiento

Para conectar el producto a un dispositivo *Bluetooth*, el producto debe emparejarse (registrarse) con el dispositivo. Una vez que estén emparejados, no tendrá que volver a emparejarlos de nuevo.

Sin embargo, tendrá que realizar el emparejamiento de nuevo en los siguientes casos:

- Si el producto se elimina del historial de conexión del dispositivo *Bluetooth*.
- Si el producto se envía para su reparación.
- Si el producto se empareja con nueve o más dispositivos.

(El producto puede emparejarse con un máximo de ocho dispositivos. Cuando realice el emparejamiento con un nuevo dispositivo después de emparejarlo con ocho dispositivos, se sobrescribirá la información de emparejamiento del dispositivo que presente la fecha de conexión más antigua con la información del nuevo dispositivo).

Emparejar un dispositivo *Bluetooth*

- Lea el manual de usuario del dispositivo *Bluetooth*.
 - Coloque el dispositivo *Bluetooth* a una distancia máxima de 1 m del producto para realizar el emparejamiento correctamente.
 - Para confirmar el progreso del proceso de emparejamiento, utilice el producto mientras realiza este procedimiento y escuche el sonido.
1. Comenzando con el producto apagado, deslice el interruptor principal hasta la posición "ON".
 - Para obtener información acerca de cómo las luces indicadoras indican el emparejamiento (búsqueda de dispositivos), consulte "Visualización de la luz indicadora" (p.12).
 - El producto emite un pitido cuando se inicia el emparejamiento.
 2. Utilice el dispositivo *Bluetooth* para comenzar el proceso de emparejamiento y buscar el producto. Cuando el dispositivo *Bluetooth* encuentra el producto, se muestra "ATH-DSR9BT" en el dispositivo.
 - Para más información acerca del uso del dispositivo *Bluetooth*, consulte el manual de usuario del dispositivo.
 3. Seleccione "ATH-DSR9BT" para emparejar el producto con el dispositivo *Bluetooth*.
 - Algunos dispositivos pueden solicitar una clave de acceso. En caso de ser así, introduzca "0000". La clave de acceso también recibe el nombre de código de acceso, código PIN, número PIN o contraseña.
 - El producto emite un pitido cuando se completa el emparejamiento.



Conectar mediante la tecnología inalámbrica *Bluetooth*

Utilizar NFC durante el emparejamiento

NFC (Comunicación de campo cercano) es una tecnología que permite la comunicación inalámbrica de corto alcance entre varios dispositivos, como teléfonos móviles y IC tags. Permite que dos dispositivos se comuniquen entre sí simplemente poniéndolos en contacto. Puede utilizar NFC para emparejar el dispositivo *Bluetooth* con este producto.

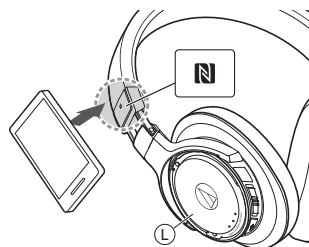
Dispositivos compatibles: Dispositivos *Bluetooth* compatibles con NFC

SO compatible: Android

Emparejar un dispositivo *Bluetooth* compatible con NFC

Para confirmar el progreso del proceso de emparejamiento, utilice el producto mientras realiza este procedimiento y escuche el sonido.

1. Active la función NFC de su dispositivo compatible con NFC.
 - Si fuera necesario, consulte el manual de usuario de su dispositivo compatible con NFC.
2. Comenzando con el producto apagado, deslice el interruptor principal hasta la posición "ON".
3. Ponga en contacto el dispositivo compatible con NFC con la marca N del producto (consulte la imagen de la derecha), y luego utilice el dispositivo compatible con NFC para completar el proceso de emparejamiento.
 - Consulte el manual de usuario del dispositivo si desea conocer la ubicación de la antena NFC de su dispositivo compatible con NFC, o si desea saber cómo puede terminar la conexión entre el producto y sus dispositivos.
 - El producto emite un pitido cuando se completa el emparejamiento.



Desconectar un dispositivo

Vuelva a tocar con su dispositivo *Bluetooth* compatible con NFC sobre la parte que se encuentra justo encima de la marca N del producto para desconectar el producto de su dispositivo.